

第4章 公民館等に関するアンケート調査

(小山市 公民館等の利用状況・交通手段など把握のためのアンケート調査)

1. 調査目的

全国的な人口減少や更なる少子高齢化の進展等により、本市においても市歳入の減少や社会保障費等の増加が見込まれるなど、市内の公民館・出張所・市民交流センター（以下、公民館等とする。）を含めた公共施設等の運営・維持管理に対応するための財源を確保することが厳しくなることが想定される。

このため、公民館等の利用状況・交通手段などに対する市民の皆様のご意見をお伺いし、これからの公民館等における市民サービスのあり方を検討するための基礎資料として活用するため、「公民館等に関するアンケート調査」を実施した。

2. 調査方法

次の方法により調査を実施した。

○調査実施時期

調査票の発送	令和5年11月末
郵送回収（投函締切日）	令和5年12月18日（月）

○調査方法

調査対象	無作為抽出した市民3,000人
配付・回収	返信用封筒による郵送回収及びウェブによる回答回収

○調査票セット（調査対象者への配付物）

- 1) 依頼状（A4判1ページ）
- 2) 調査票（A4判4ページ）
- 3) 返信用封筒（長3サイズ封筒） →返信先：小山市役所理財部資産経営課

3. 回収結果

○回収数・回収率

1,143 票・38.1% (郵送回収：909 票、ウェブ回収：234 票)

【地区別回収数・回収率】

- ・地区別配付数と「居住エリア」の回答から、回収率を整理すると次のとおりとなる。
- ・回収率が最も高い地区は「中地区」で55.6%、これに「穂積地区」の49.3%、「絹地区」の42.5%、「豊田地区」の41.7%と続く。

	配付数 A	回収数 B	回収率 B/A
1.中央地区	1,738	205	36.8%
2.東地区		121	
3.城南地区		167	
4.大谷地区		146	
5.間々田地区	527	208	39.5%
6.生井地区	29	10	34.5%
7.寒川地区	22	7	31.8%
8.中地区	36	20	55.6%
9.穂積地区	71	35	49.3%
10.豊田地区	132	55	41.7%
11.桑地区	372	127	34.1%
12.絹地区	73	31	42.5%
無回答		11	
計	3,000	1,143	38.1%

※回収数は、アンケートの「居住エリア」に対する回答内容から集計している。

【年代別回収数・回収率】

- ・年代別配付数と「年代」の回答から、回収率を整理すると次のとおりとなる。
- ・回収率が最も高い年代は「70 歳代」の53.8%であり、50 歳代以上の年代で回収率が4割を超えているのに対して、「20 歳代」では19.0%、「30 歳代」では26.0%と他の年代に比べて低く、概ね年齢が高くなるほど回収率が高くなる傾向となった。

	配付数 A	回収数 B	回収率 B/A
20歳代	395	75	19.0%
30歳代	462	120	26.0%
40歳代	542	191	35.2%
50歳代	542	219	40.4%
60歳代	429	211	49.2%
70歳代	420	226	53.8%
80歳以上	210	91	43.3%
無回答		10	
計	3,000	1,143	38.1%

※回収数は、アンケートの「年代」に対する回答内容から集計している。

4. 調査結果

調査結果は次のとおり。

※1) 中央公民館は公民館機能のみ、小山東出張所が行政サービス（出張所）機能のみを提供していることに注意が必要である。

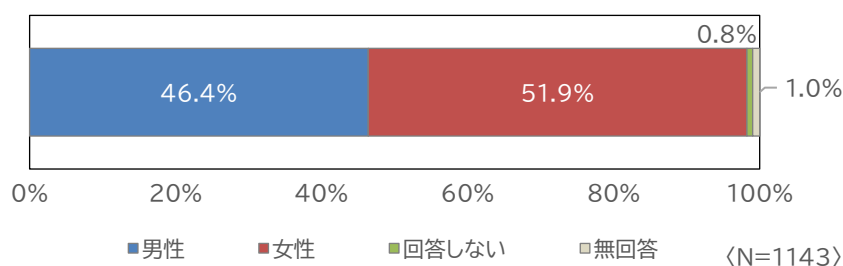
※2) 各グラフの集計結果は小数点以下第2位を四捨五入しているため内訳の合計が100%にならない場合がある。

(1) 回答者属性 【問1】

① 性別	…「男性」46.4%、「女性」51.9%
② 年代	…「30 歳代」10.5%、「40 歳代」16.7%、「50 歳代」19.2%、「60 歳代」18.5%、「70 歳代」が 19.8%
③ 職業	…「会社員・公務員」35.7%、「パート・アルバイト」13.9%、「主婦・主夫」13.6%、「無職」25.4%
④ 通勤地・通学地	…「市内」26.4%、「県内」11.7%、「県外」11.1%、「自宅」18.3%、「なし」22.6%
⑤ 市内居住年数	…「10 年以上」80.3%、「3 年以上10年未満」11.7%、「3 年未満」7.0%
⑥ 居住エリア	…「間々田地区」18.2%、「中央地区」17.9%、「城南地区」14.6%、「大谷地区」12.8%、「桑地区」11.1%、「東地区」10.6%
⑦ 家族構成	…「二世世代(親・子)」41.8%、「夫婦のみ」27.2%、「ひとり暮らし」19.2%、「三世世代(親・子・孫)」8.2%

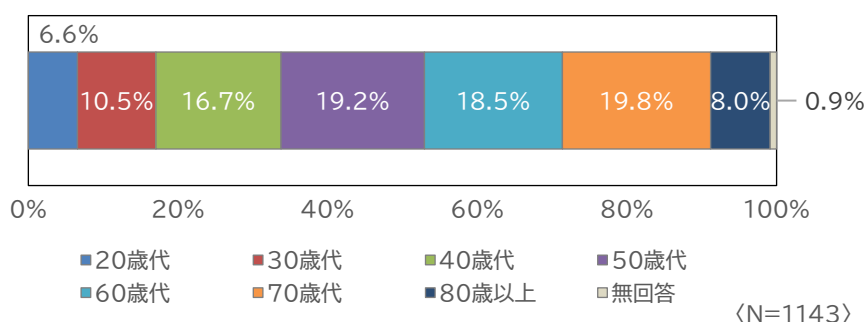
① 性別

・「女性」が 51.8%で最も多く、「男性」が 46.4%、「回答しない」が 0.8%であった。



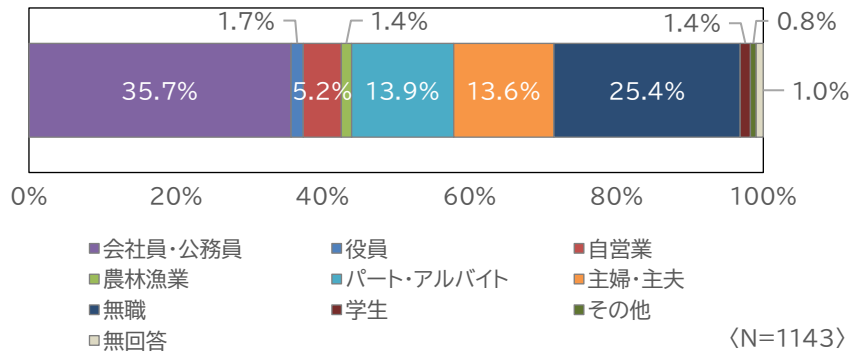
② 年代

・「70 歳代」が 19.8%で最も多く、「50 歳代」の 19.2%、「60 歳代」の 18.5%、「40 歳代」の 16.7%、「30 歳代」の 10.5%、「80 歳代」の 8.0%、「20 歳代」の 6.6%と続いている。



③ 職業

・「会社員・公務員」が 35.7%で最も多く、「無職」の 25.4%、「パート・アルバイト」の 13.9%、「主婦・主夫」の 13.6%、「自営業」の 5.2%、「役員」の 1.7%、「農林漁業」「学生」の 1.4%と続いている。

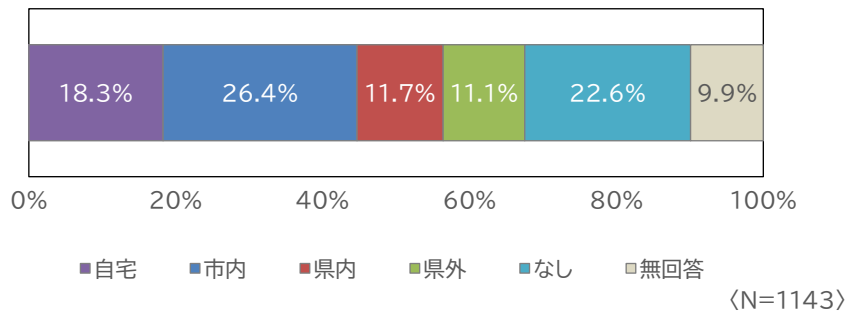


「その他(9)」の回答

運転手、准看護師、製造、業務委託、シルバー、年金生活、福祉施設へ通所、無回答 (2)

④ 通勤地・通学地

・「市内」が 26.4%で最も多く、「県内」が 11.7%、「県外」の 11.1%であった。なお、「自宅」は 18.3%、「なし」は 22.6%であった。



「県内(134)」の回答

※%は 134 に対する割合

栃木市 (36、26.9%)、宇都宮市 (26、19.4%)、下野市 (26、19.4%)、野木町 (13、9.7%)、佐野市 (5、3.7%)、真岡市と上三川町、壬生町 (各 4、3.0%)、足利市 (2、1.5%)、鹿沼市と市貝町、芳賀町 (各 1、0.7%)、無回答 (10、7.5%)
他に「足利市・佐野市」との回答が 1 件あり。

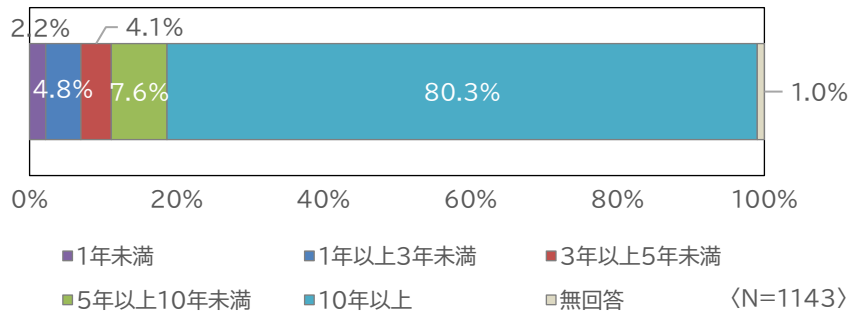
「県外(127)」の回答

※%は 127 に対する割合

茨城県が計 59 (46.5%)：古河市 (19)、結城市 (17)、筑西市 (4)、下妻市 (3)、常総市と境町 (2)、日立市と土浦市、石岡市、笠間市、つくば市、ひたちなか市、桜川市、東海村、八千代町、五霞町 (各 1) 他に「茨城県」との回答が 2 件あり。
東京都が計 37 (29.1%)：港区と品川区 (3)、千代田区と新宿区、渋谷区 (2)、墨田区と世田谷区、豊島区、北区、練馬区、武蔵野市 (1) 他に「東京都」との回答が 19 件あり。
埼玉県が計 15 (11.8%)：さいたま市 (7)、杉戸町 (2)、行田市と加須市、越谷市、戸田市、久喜市 (1) 他に「埼玉県」との回答が 1 件あり。
群馬県が計 4 (3.1%)：館林市 (2)、大泉町 (1) 他に「群馬県」との回答が 1 件あり。
その他として、北海道函館市、青森県八戸市、千葉県我孫子市、神奈川県横浜市、滋賀県近江八幡市が各 1 件、無回答が 7 件。

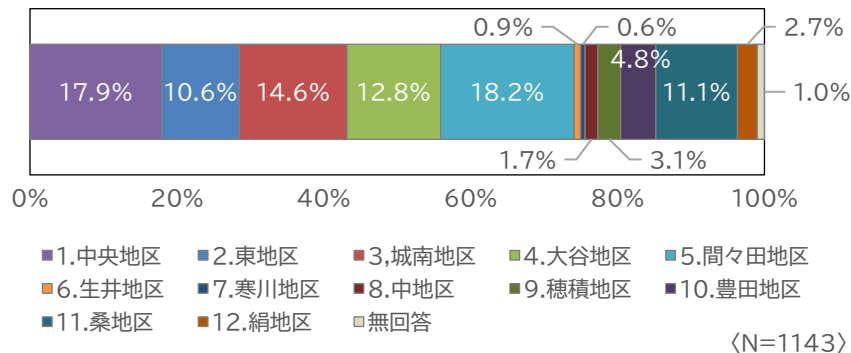
⑤ 市内居住年数

・「10年以上」が80.3%で最も多く、「5年以上10年未満」の7.6%、「1年以上3年未満」の4.8%、「3年以上5年未満」の4.1%、「1年未満」の2.2%と続いている。



⑥ 居住エリア

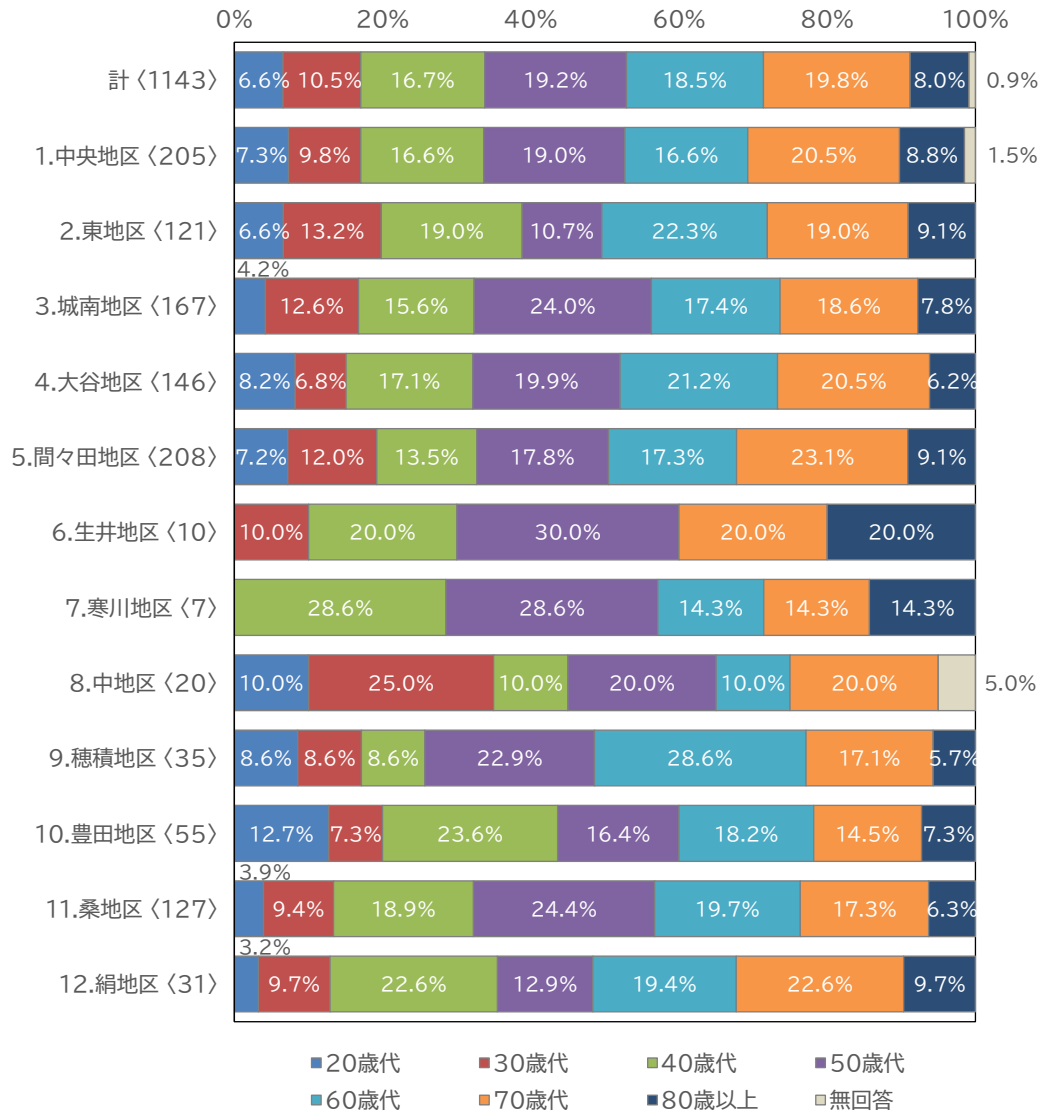
・「5. 間々田地区」が18.2%で最も多く、「1. 中央地区」の17.9%、「3. 城南地区」の14.6%、「4. 大谷地区」の12.8%、「11. 桑地区」の11.1%、「2. 東地区」の10.6%と続いている。



「1.中央地区(205)」の内訳	「2.東地区(121)」の内訳	「3.城南地区(167)」の内訳
若木町1~3丁目 (18)	城東1~7丁目 (27)	東城南1~5丁目 (31)
花垣町1・2丁目 (9)	中久喜1~5丁目 (12)	西城南1~7丁目 (26)
本郷町1~3丁目 (5)	犬塚1~8丁目 (27)	駅南町1~6丁目 (22)
城山町1~3丁目 (3)	大字泉崎 (0)	三峯1・2丁目 (5)
中央町1~3丁目 (4)	大字犬塚 (7)	神山1・2丁目 (1)
宮本町1~3丁目 (4)	大字土塔 (17)	大字小山 (8)
八幡町1・2丁目 (6)	大字中久喜 (4)	大字神鳥谷 (5)
天神町1・2丁目 (10)		大字塚崎 (1)
神明町1・2丁目 (4)	無回答 (27)	無回答 (68)
神鳥谷1~6丁目 (9)		
栗宮1・2丁目 (5)		
駅東通り1~3丁目 (35)		
城北1~5丁目 (18)		
大字稲葉郷 (0)		
大字小山 (6)		
大字神鳥谷 (4)		
大字外城 (5)		
無回答 (56)		
※ 他に「神鳥谷」が (4)		

- ・居住エリア別年代をみると、7. 寒川地区で「20 歳代」と「30 歳代」の回答者はおらず、6. 生井地区でも「20 歳代」の回答者はいなかった。

〔居住エリア別・年代〕



※居住エリアの「無回答(11)」はグラフ化していないため、各地区の合計が計と一致しない。

〈N=1143〉

■「2020(令和2)年国勢調査人口」と「本アンケートの回答者属性」の居住エリア比較

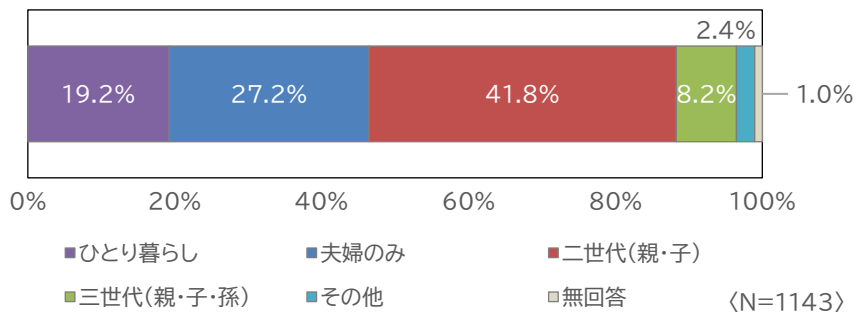
「2020(令和2)年国勢調査」の地区別人口割合と「本アンケートの回答者」の居住エリア別回答割合を比較すると、「2.東地区」でやや差がみられるものの、本アンケート調査は概ね本市の人口分布に沿った回答が得られていると思われる。

	2020(令和2)年国勢調査人口		公民館等アンケート回答者属性		A-B
	計	割合(A)	計	割合(B)	
1.中央地区	28,625	17.2%	205	18.1%	-0.93ポイント
2.東地区	24,976	15.0%	121	10.7%	4.30ポイント
3.城南地区	24,539	14.7%	167	14.8%	-0.03ポイント
4.大谷地区	18,335	11.0%	146	12.9%	-1.90ポイント
5.間々田地区	28,461	17.1%	208	18.4%	-1.30ポイント
6.生井地区	1,722	1.0%	10	0.9%	0.15ポイント
7.寒川地区	1,331	0.8%	7	0.6%	0.18ポイント
8.中地区	2,181	1.3%	20	1.8%	-0.46ポイント
9.穂積地区	4,088	2.5%	35	3.1%	-0.64ポイント
10.豊田地区	7,194	4.3%	55	4.9%	-0.54ポイント
11.桑地区	20,860	12.5%	127	11.2%	1.30ポイント
12.絹地区	4,354	2.6%	31	2.7%	-0.13ポイント
計	166,666	100.0%	1132	100.0%	

総回収数1143:無回答(11)を除く

⑦ 家族構成

・「二世代(親・子)」が41.8%で最も多く、「夫婦のみ」の27.2%、「ひとり暮らし」の19.2%、「三世代(親・子・孫)」の8.2%と続いている。



「その他(28)」の回答

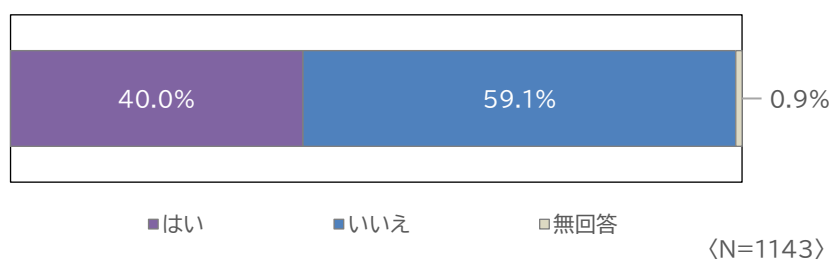
4世代(祖母・親・子など)、祖父母と子(子・祖父母、祖母と孫、孫・妻)、兄弟(弟と二人、実弟の家に同居など)、婚約者、同居人(恋人と2人暮らし、彼氏と同棲、友人+1人など)、寮、昼間一人・朝と夜三世代、無回答(12)

(2) 市役所本庁舎の利用状況 【問2】

- 住民票の発行等の行政手続きを利用する際に市役所本庁舎を利用している方が4割、利用していない方が約6割となっている。
- 年代別にみると、「20歳代」、「30歳代」の若い層で利用している割合が高くなっている。
- 居住エリア別にみると、「中央地区」のほか、「穂積地区」と「豊田地区」で利用している割合が高く、「寒川地区」と「生井地区」で利用している割合が低い。

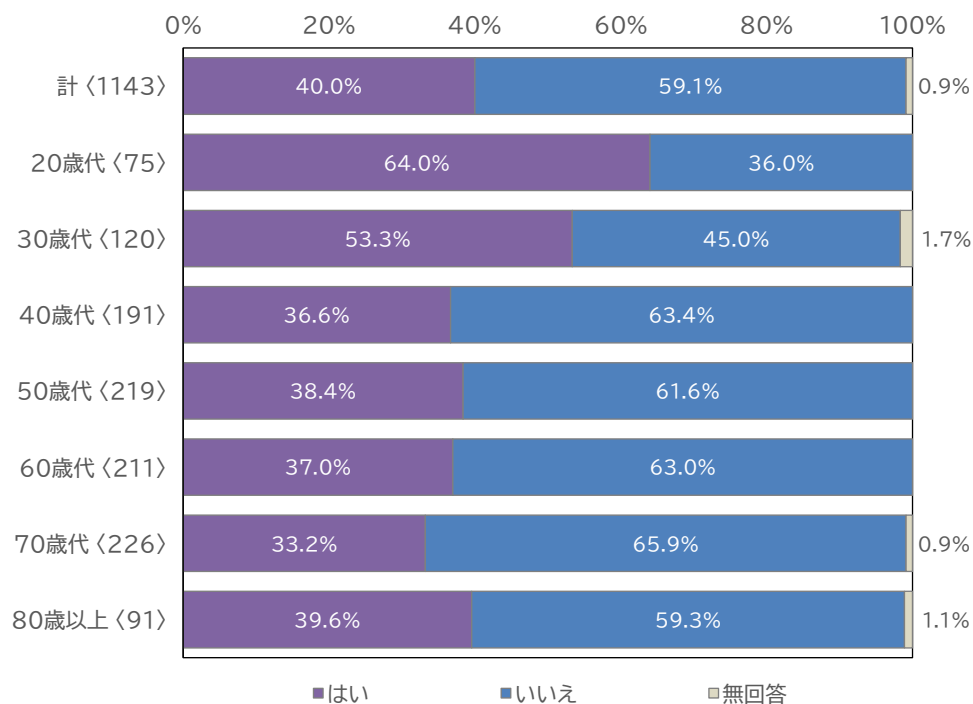
・「はい」が40.0%、「いいえ」が59.1%となっており、「いいえ」のほうが多くなっている。

【問2】 住民票の発行等の行政手続きを利用する際の市役所本庁舎の利用有無



・これを年代別にみると、「はい」の割合が最も高いのは20歳代で64.0%となっており、30歳代でも53.3%と過半数の方が利用していると答えている。

【年代別・市役所本庁舎の利用有無】

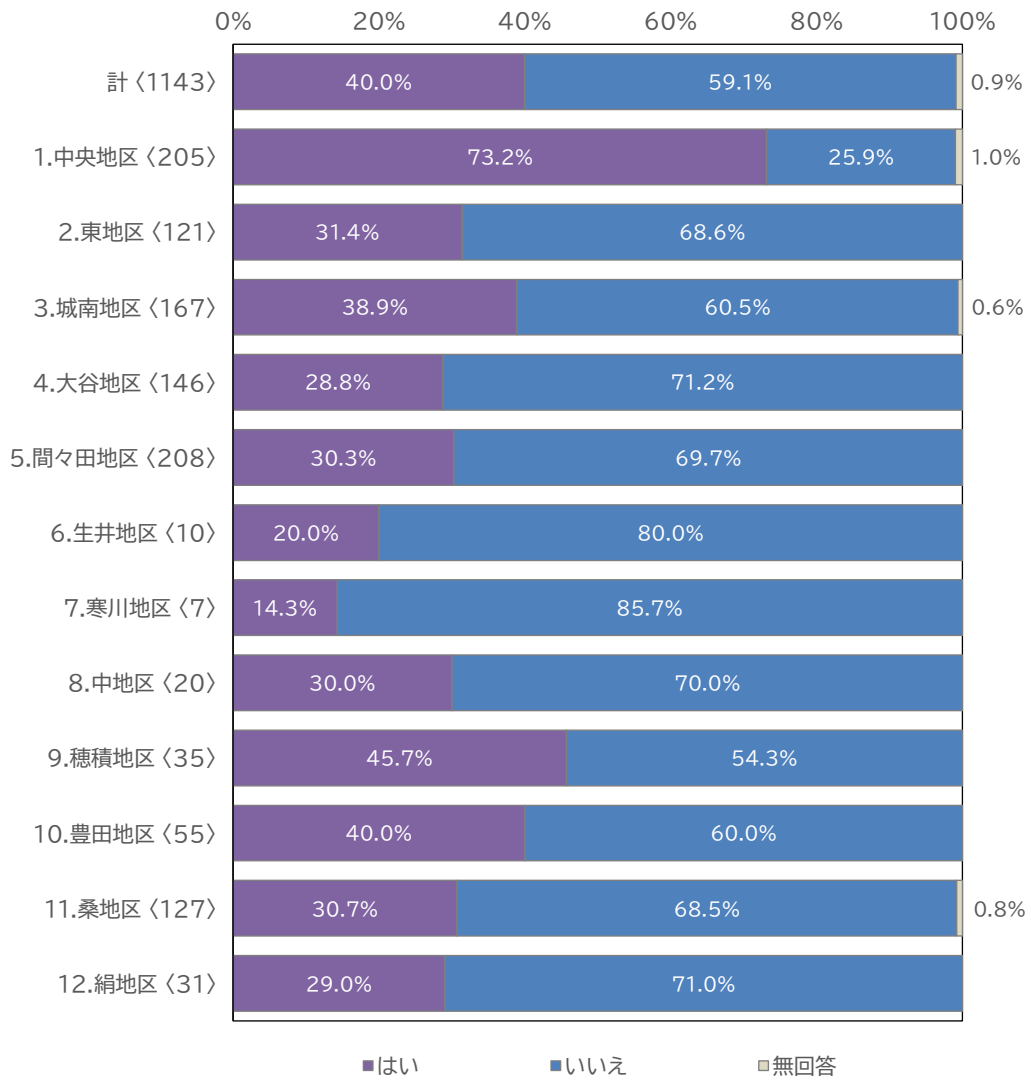


※年代の「無回答(10)」はグラフ化していないため、各地区の合計が計と一致しない。

(N=1143)

- ・居住エリア別にみると、市役所本庁舎が立地する 1. 中央地区で「はい」の割合が 73.2%と最も高いほか、9. 穂積地区と 10. 豊田地区で「はい」の割合が約 4 割を占めている（9. 穂積地区で 45.7%、10. 豊田地区で 40.0%）。一方、7. 寒川地区と 6. 生井地区における「はい」の割合は 2 割以下となっている（7. 寒川地区で 14.3%、6. 生井地区で 20.0%）。

〔居住エリア別・市役所本庁舎の利用有無〕



※居住エリアの「無回答(11)」はグラフ化していないため、各地区の合計が計と一致しない。

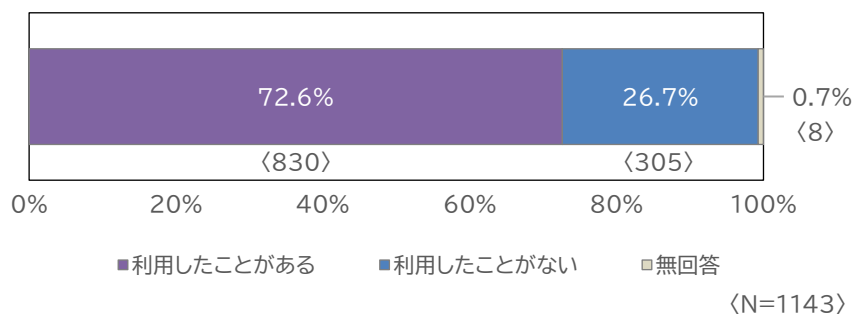
〈N=1143〉

(3) 公民館等の利用状況 【問3・問4】

- 市内の公民館等を利用している方が約4分の3、利用していない方が約4分の1となっている。
- 年代別にみると、「40歳代」以上の世代では7～8割の方が利用しているのに対して、「30歳代」では約6割、「20歳代」では約半数の利用にとどまっている。

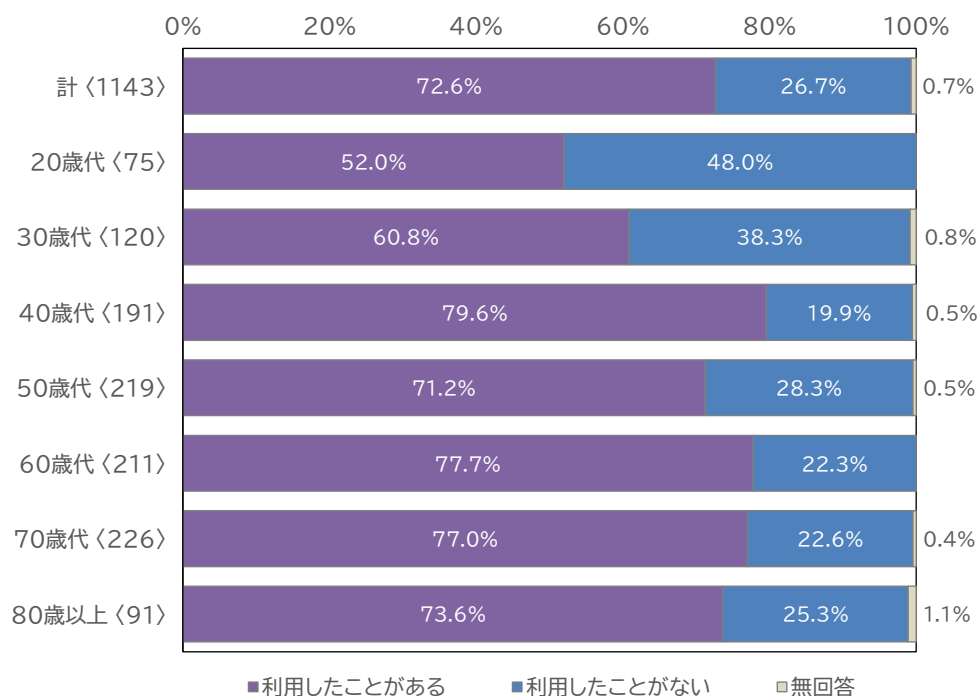
・「利用したことがある」が72.6%、「利用したことがない」が26.7%となっている。

【問3】 市内12の公民館・出張所・市民交流センター(以下、公民館等とする)の利用状況



・これを年代別にみると、「利用したことがある」の割合は40歳代以上で7～8割で推移しているのに対して、30歳代では60.8%、20歳代では52.0%となっており、若い世代が利用している割合が低くなっている。

【年代別・公民館等の利用有無】



※年代の「無回答(10)」はグラフ化していないため、各地区の合計が計と一致しない。

〈N=1143〉

- 最も利用する公民館等として利用割合が多い施設は「③小山城南市民交流センター(22.0%)」であり、「⑤間々田市民交流センター(18.1%)」、「②小山東出張所(13.9%)」、「⑩桑市民交流センター(12.4%)」、「①中央公民館(11.4%)」と続いている。
- 居住エリア別に最も利用する公民館等をみると、約7割の方が居住エリアに立地する公民館等を利用している。「1.中央地区」と「4.大谷地区」では居住エリア外の公民館等を利用している割合が高くなっており、両地区ともに、「②小山東出張所」や「③小山城南市民交流センター」を利用している方の割合が高くなっている。

- ・最も利用する公民館等では、「③小山城南市民交流センター」が22.0%で最も多く、「⑤間々田市民交流センター(18.1%)」、「②小山東出張所(13.9%)」、「⑩桑市民交流センター(12.4%)」、「①中央公民館(11.4%)」と続いている。
- ・居住エリア別にみると、70.0%が地区内の公民館等を利用しているが、「1.中央地区」と「4.大谷地区」では、「②小山東出張所(1.中央地区で18.8%、4.大谷地区で19.7%)」や「③小山城南市民交流センター(同13.9%、30.3%)」を利用している割合が高くなっている。

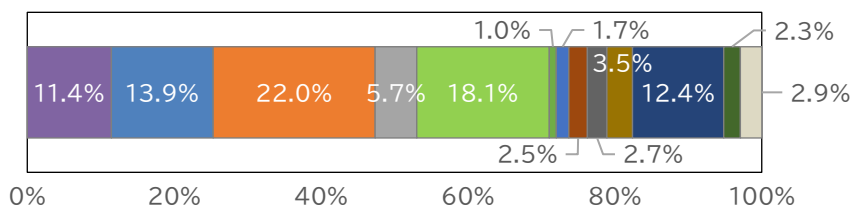
- 次に利用する公民館等として利用割合が最も多い施設は「①中央公民館(30.0%)」であり、「③小山城南市民交流センター(27.5%)」が続いている。
- 居住エリア別に次に利用する公民館等をみると、「③小山城南市民交流センター」や「①中央公民館」、「⑤間々田市民交流センター」を利用している方の割合が高くなっている。

- ・次に利用する公民館等では、「①中央公民館」が30.0%で最も多く、「③小山城南市民交流センター(27.5%)」、「②小山東出張所(9.2%)」、「④大谷公民館(8.1%)」、「⑩桑市民交流センター(7.6%)」と続いている。
- ・居住エリア別にみると、「③小山城南市民交流センター(5.間々田地区で39.2%、1.中央地区で38.9%など)」や「①中央公民館(11.桑地区で60.5%、8.中地区・9.穂積地区で42.9%、5.間々田地区で42.3%など)」、「⑤間々田市民交流センター(6.生井地区で50.0%、8.中地区で42.9%、7.寒川地区で33.3%など)」を次に利用している公民館等として挙げる方の割合が高くなっている。

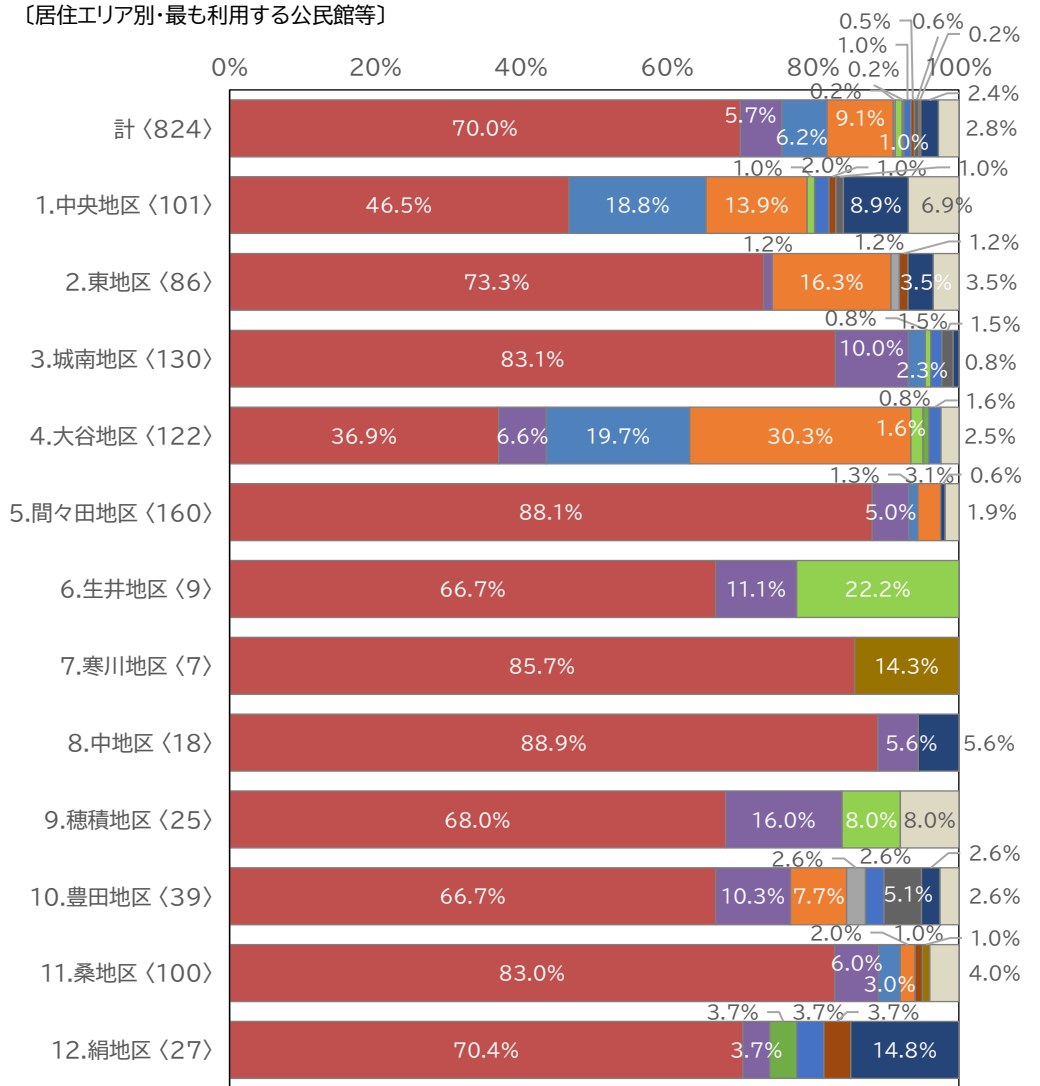
- 最も利用する公民館等と次に利用する公民館等を合計すると、最も利用割合が多い施設は「③小山城南市民交流センター(23.9%)」であり、「①中央公民館(17.8%)」、「⑤間々田市民交流センター(14.3%)」、「②小山東出張所(12.3%)」、「⑩桑市民交流センター(10.8%)」と続いている。
- 居住エリア別に利用する公民館等(最も利用する公民館等と次に利用する公民館等の合計)をみると、「1.中央地区」と「4.大谷地区」、「9.穂積地区」では居住エリア外の公民館等を利用している割合が高い。「1.中央地区」と「4.大谷地区」では「③小山城南市民交流センター」を、「9.穂積地区」では「①中央公民館」を利用している方の割合が高くなっている。

- ・〈最も利用する公民館等〉と〈次に利用する公民館で等〉の合計をみると、「③小山城南市民交流センター」が 23.9%で最も多く、「①中央公民館（17.8%）」、「⑤間々田市民交流センター（14.3%）」、「②小山東出張所（12.3%）」、「⑩桑市民交流センター（10.8%）」と続いている。
- ・居住エリア別にみると、「1. 中央地区」では、地区内の公民館である「①中央公民館（36.8%）」に次いで「③小山城南市民交流センター（22.6%）」を、「4. 大谷地区」では、「④大谷公民館（33.5%）」に次いで「③小山城南市民交流センター（31.4%）」を、「9. 穂積地区」では、「⑨穂積公民館（46.2%）」に次いで「①中央公民館（25.6%）」を利用している割合が高くなっている。

【問4-1】市内12の公民館等のうち利用したことがある施設〈最も利用する公民館等〉



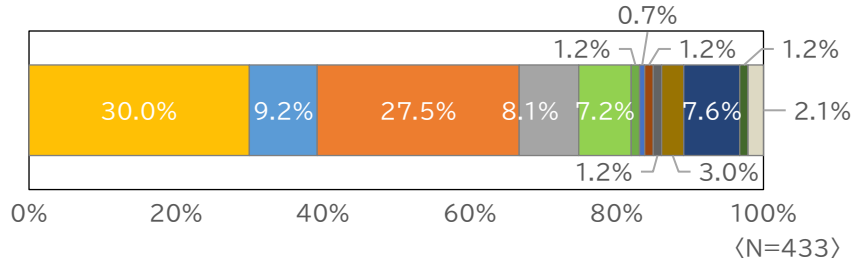
〔居住エリア別・最も利用する公民館等〕



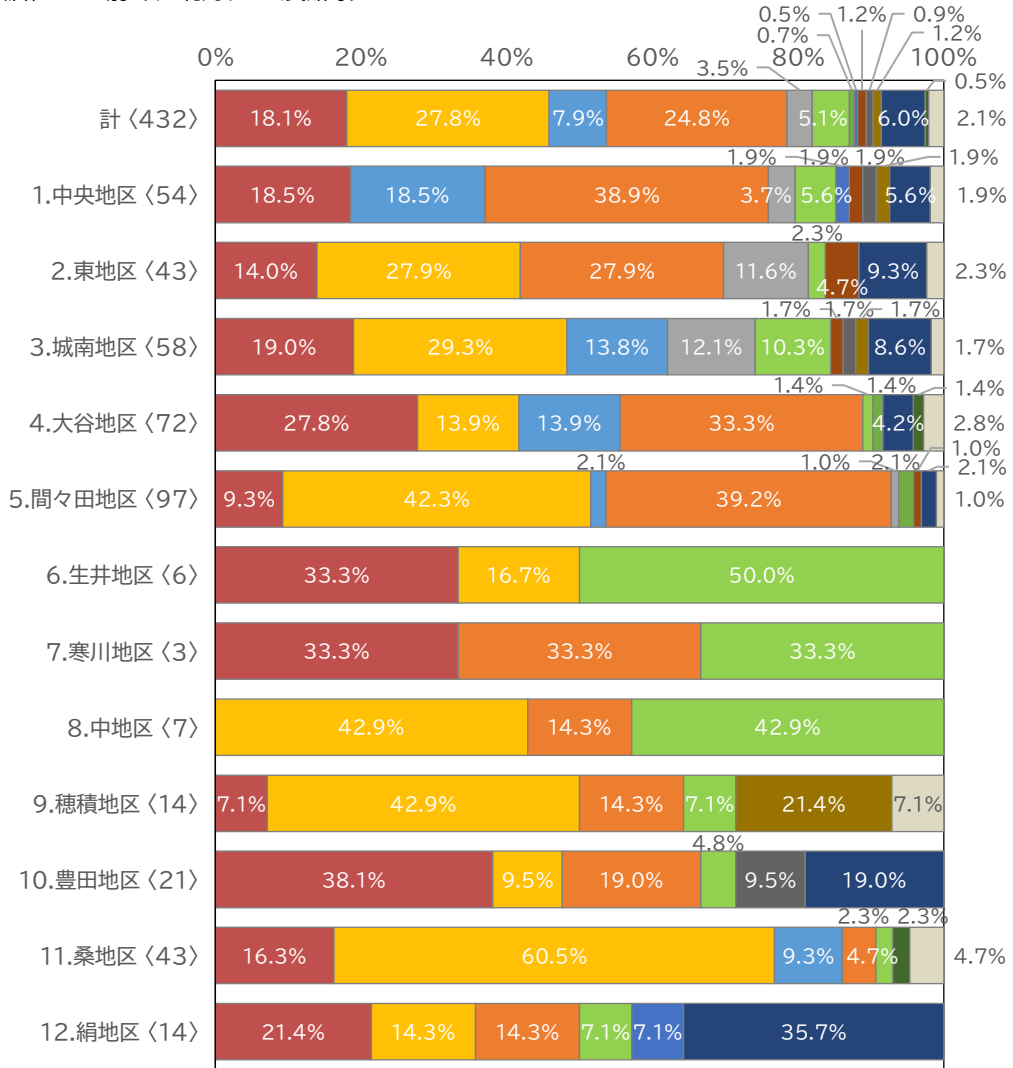
- 地区内の公民館等
- ①中央公民館
- ②小山東出張所
- ③小山市城南市民交流センター
- ④大谷公民館
- ⑤間々田市民交流センター
- ⑥生井公民館
- ⑦寒川公民館
- ⑧中公民館
- ⑨穂積公民館
- ⑩豊田公民館
- ⑪桑市民交流センター
- ⑫絹公民館
- 無回答

(N=824)
【問3】利用したことがある、居住エリア「無回答」を除く

【問4-2】市内12の公民館等のうち利用したことがある施設（次に利用する公民館等）



【居住エリア別・次に利用する公民館等】

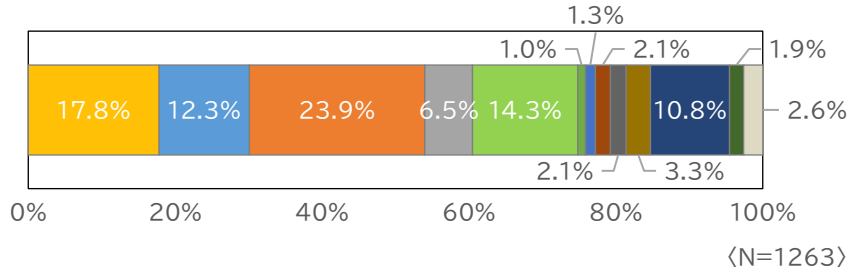


- 地区内の公民館等
- ①中央公民館
- ②小山東出張所
- ③小山城南市民交流センター
- ④大谷公民館
- ⑤間々田市民交流センター
- ⑥生井公民館
- ⑦寒川公民館
- ⑧中公民館
- ⑨穂積公民館
- ⑩豊田公民館
- ⑪桑市民交流センター
- ⑫絹公民館
- 無回答

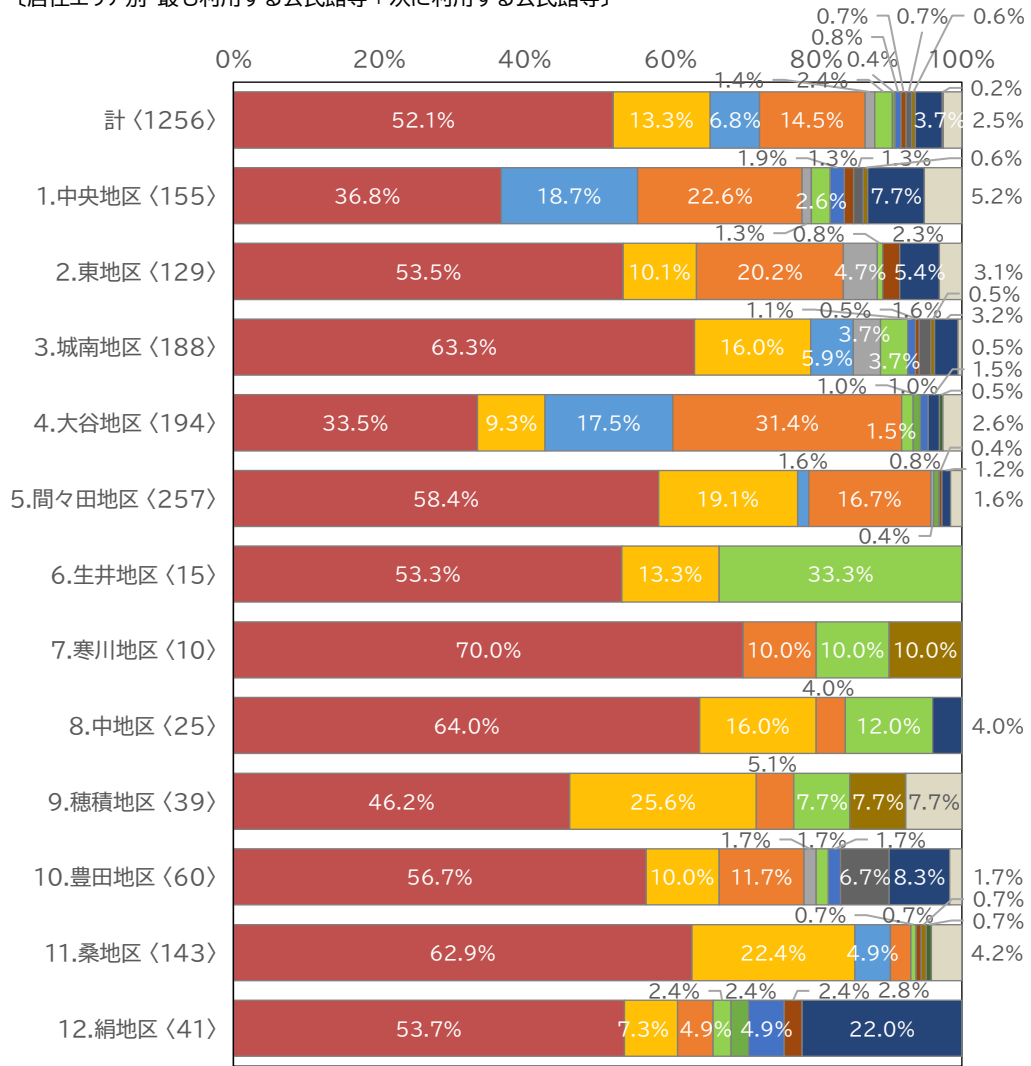
(N=432)

【問3】利用したことがある、居住エリア「無回答」、次に利用する公民館等「無回答」を除く

【問4-3】市内12の公民館等のうち利用したことがある施設〈最も利用する公民館等〉+〈次に利用する公民館等〉



【居住エリア別・最も利用する公民館等+次に利用する公民館等】



- 地区内の公民館等
- ①中央公民館
- ②小山東出張所
- ③小山城南市民交流センター
- ④大谷公民館
- ⑤間々田市民交流センター
- ⑥生井公民館
- ⑦寒川公民館
- ⑧中公民館
- ⑨穂積公民館
- ⑩豊田公民館
- ⑪桑市民交流センター
- ⑫絹公民館
- 無回答

(N=1256)
 【問3】利用したことがある、居住エリア「無回答」、次に利用する公民館等「無回答」を除く

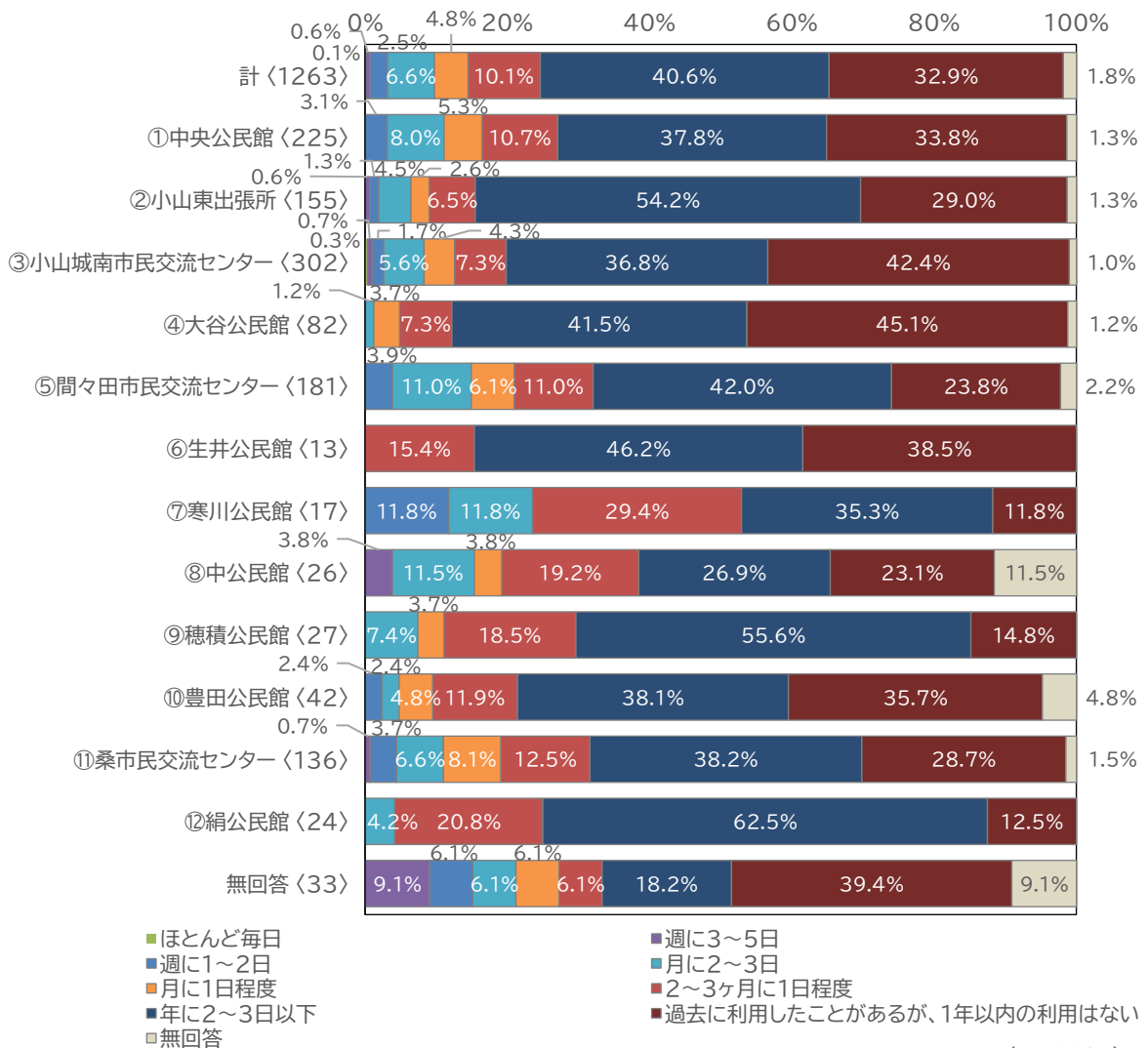
〈公民館等の利用頻度〉

●「年に2～3日以下」が4割を超え、「過去に利用したことがある」が約3分の1であり、年に1日以上利用している割合は65.3%、週に1日以上利用している割合は3.2%となっている。

●〈最も利用する公民館等〉の利用頻度では、年に1日以上利用している割合は74.8%、週に1日以上利用している方は4.4%となっている。

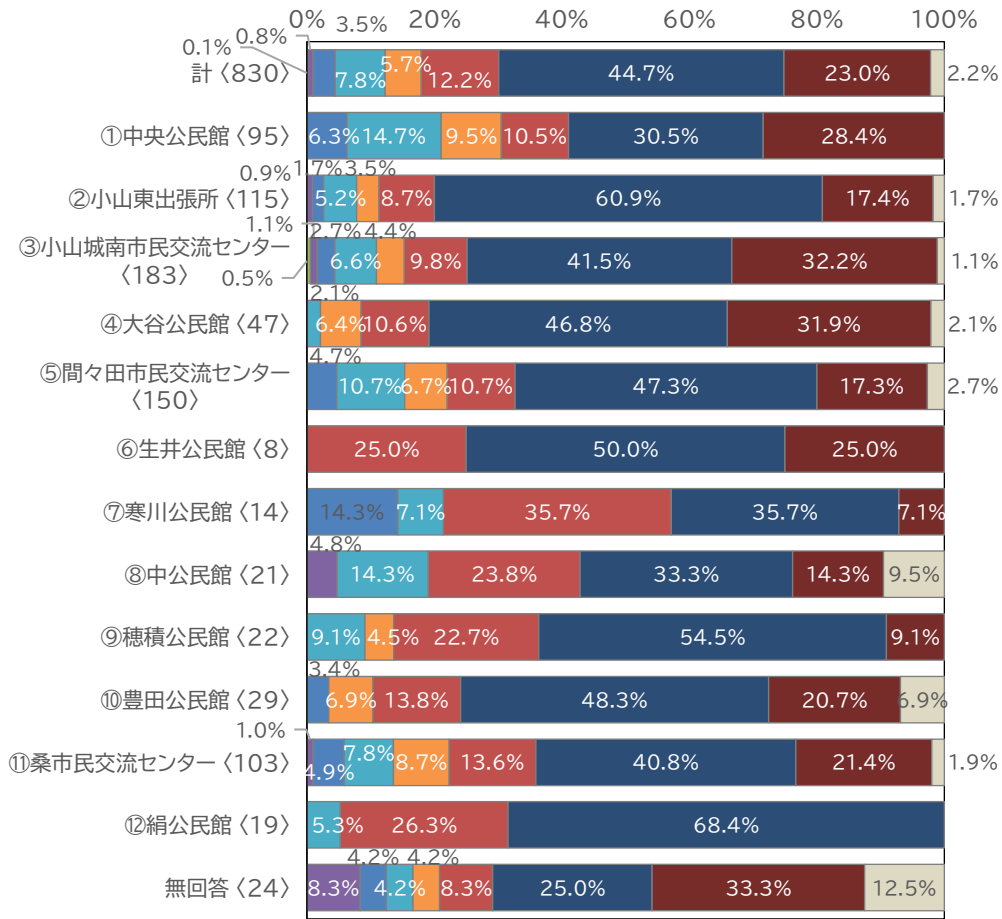
- ・「年に2～3日以下」が40.6%で最も多く、「過去に利用したことがあるが、1年以内の利用はない」が32.9%となっている。「ほとんど毎日」から「年に2～3日以下」を合計した年に1日以上利用している割合は65.3%、「ほとんど毎日」から「週に1～2日」を合計した週に1日以上利用している割合は3.2%となっている。
- ・利用する公民館等別にみると、年に1日以上利用している割合が8割を超えている公民館等は「⑦寒川公民館（88.2%）」「⑫絹公民館（87.5%）」「⑨穂積公民館（85.2%）」となっている。

【問4-3】〈最も利用する公民館等〉+〈次に利用する公民館等〉 ①利用頻度

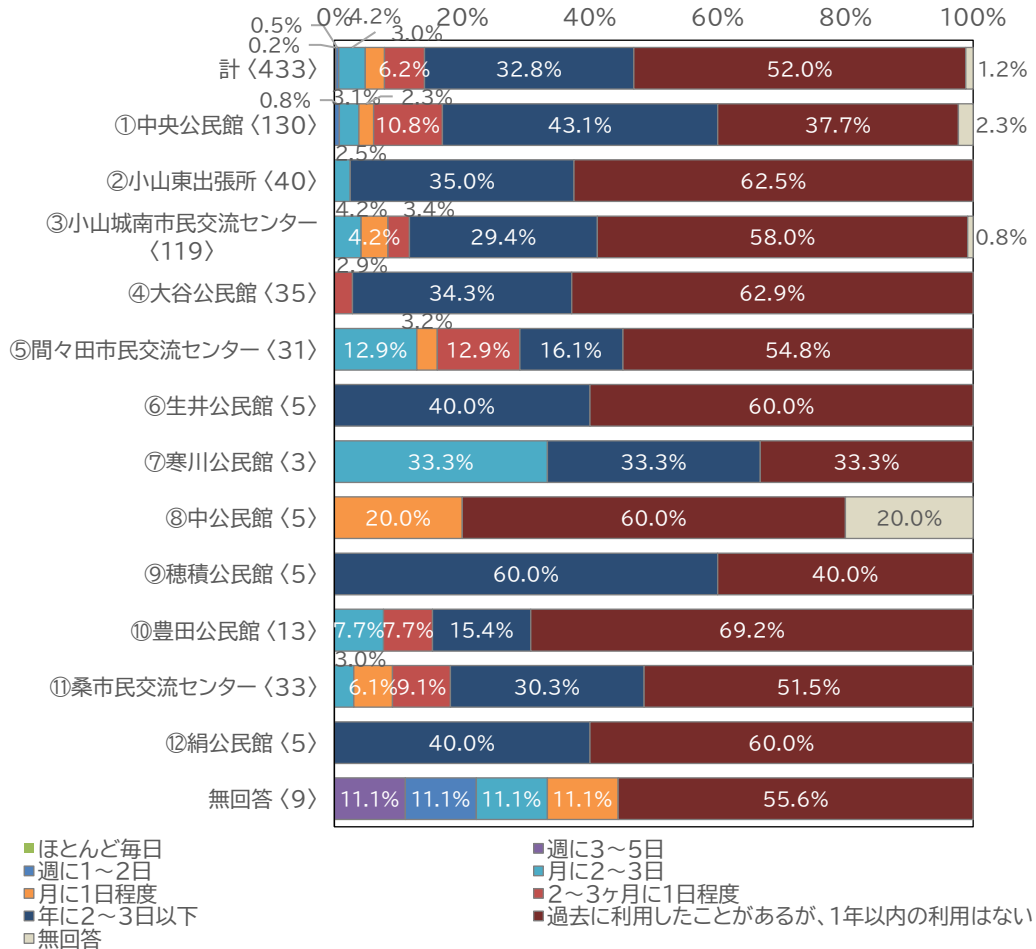


〈N=1263〉

【問4-1】〈最も利用する公民館等〉 ①利用頻度



【問4-2】〈次に利用する公民館等〉 ①利用頻度



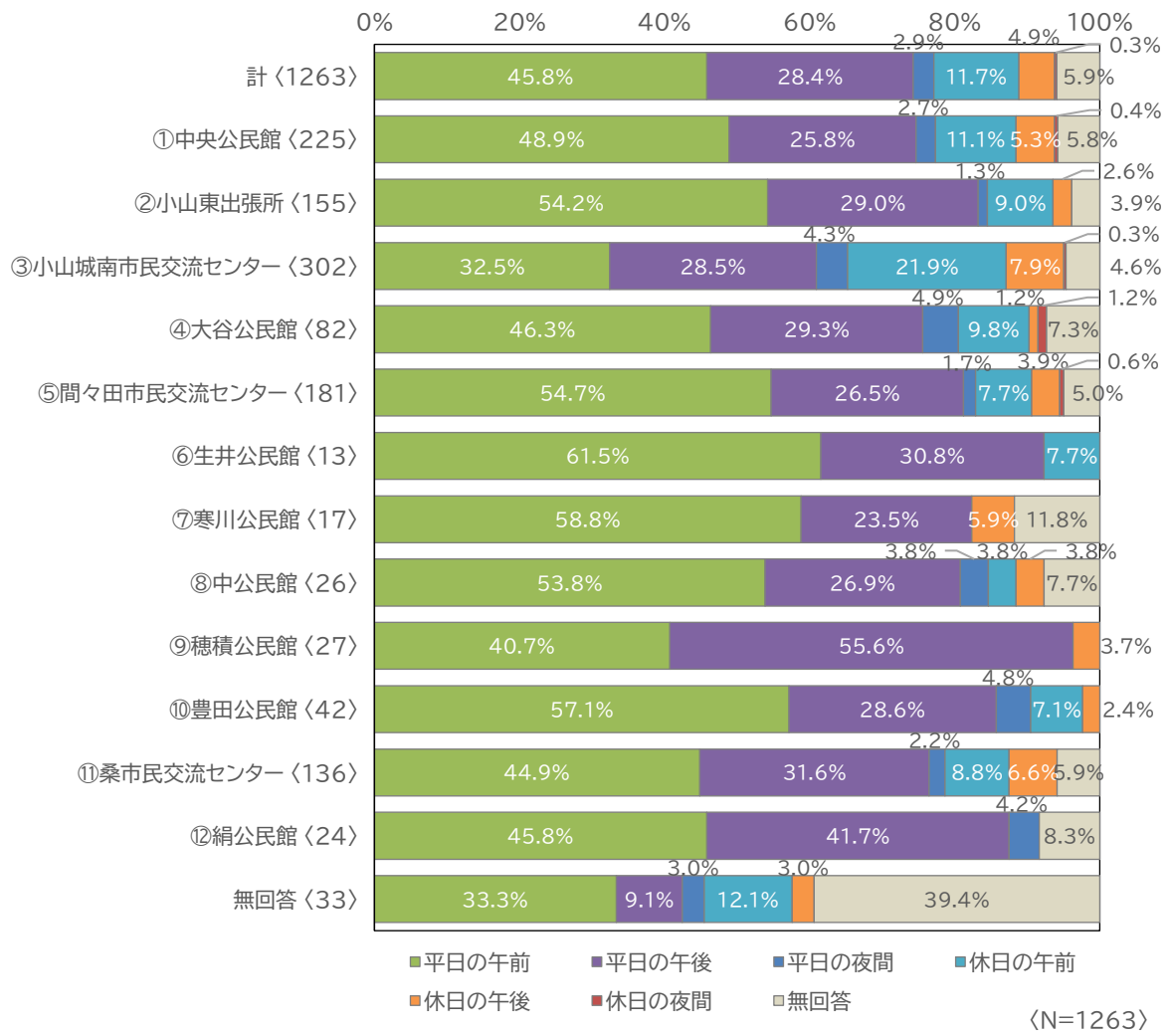
〈公民館等の利用時間帯〉

●「平日の午前」が約半数、「平日の午後」が約3割と、平日の利用者が約8割を占め、休日の利用者は2割未満となっている。

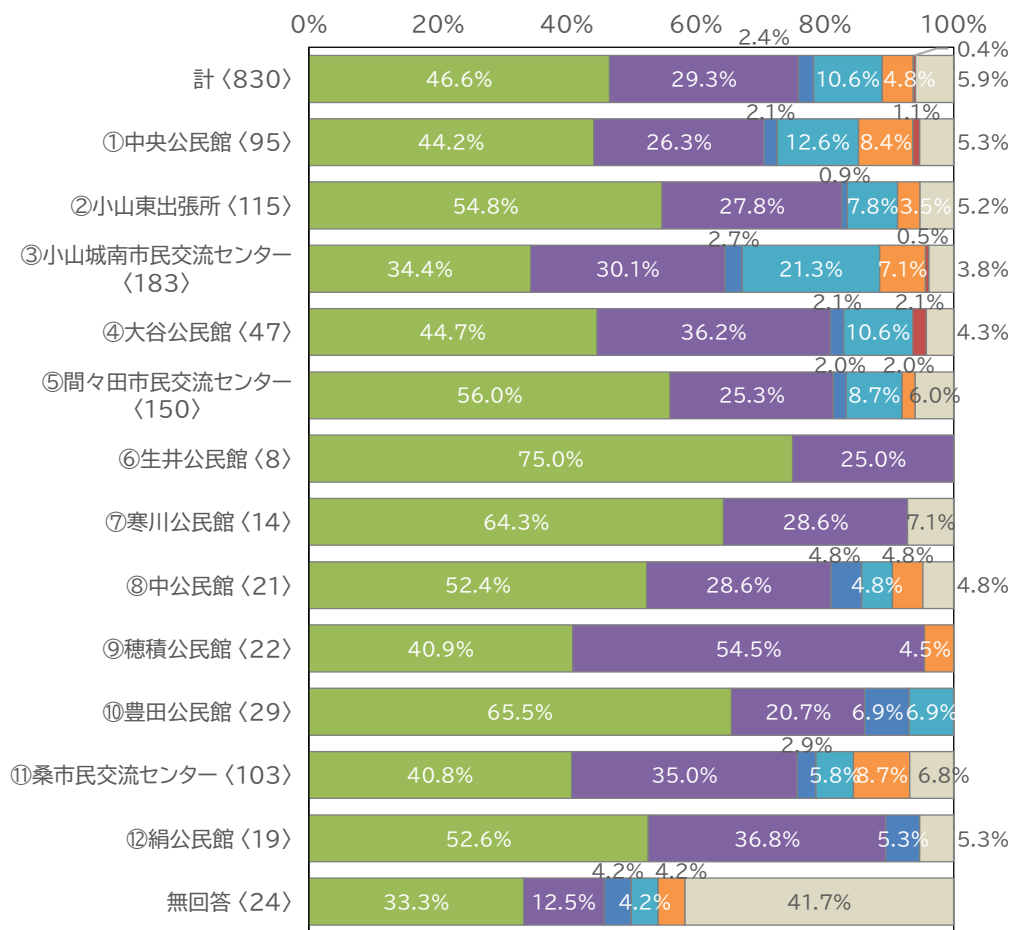
●他の公民館等に比べて、「③小山市城南市民交流センター」では休日の利用者が多い傾向が読み取れる。

- ・「平日の午前」が45.8%で最も多く、「平日の午後」の28.4%が続き、これに「平日の夜間」の2.9%を加えた平日に利用されている割合が77.1%となっている。一方、休日に利用されている割合は17.0%となっている（「休日の午前（11.7%）」＋「休日の午後（4.9%）」＋「休日の夜間（0.3%）」）。
- ・利用する公民館等別にみると、平日に利用されている割合が9割を超えているのが「⑨穂積公民館（96.3%）」「⑥生井公民館（92.3%）」「⑫絹公民館（91.7%）」「⑩豊田公民館（90.5%）」であり、「③小山市城南市民交流センター」では休日に利用されている割合が約3割（30.1%）であり、他の公民館等に比べて高くなっている。

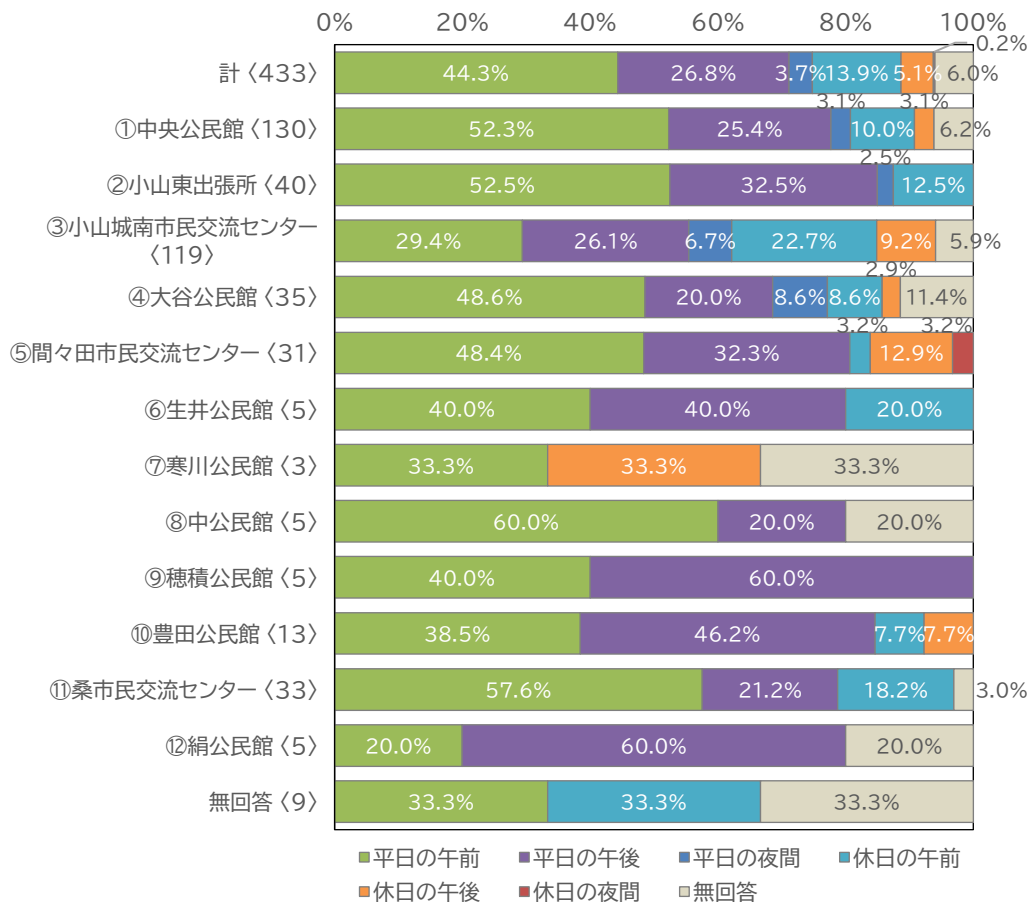
【問4-3】〈最も利用する公民館等〉＋〈次に利用する公民館等〉 ②利用時間帯



【問4-1】〈最も利用する公民館等〉 ②利用時間帯



【問4-2】〈次に利用する公民館等〉 ②利用時間帯

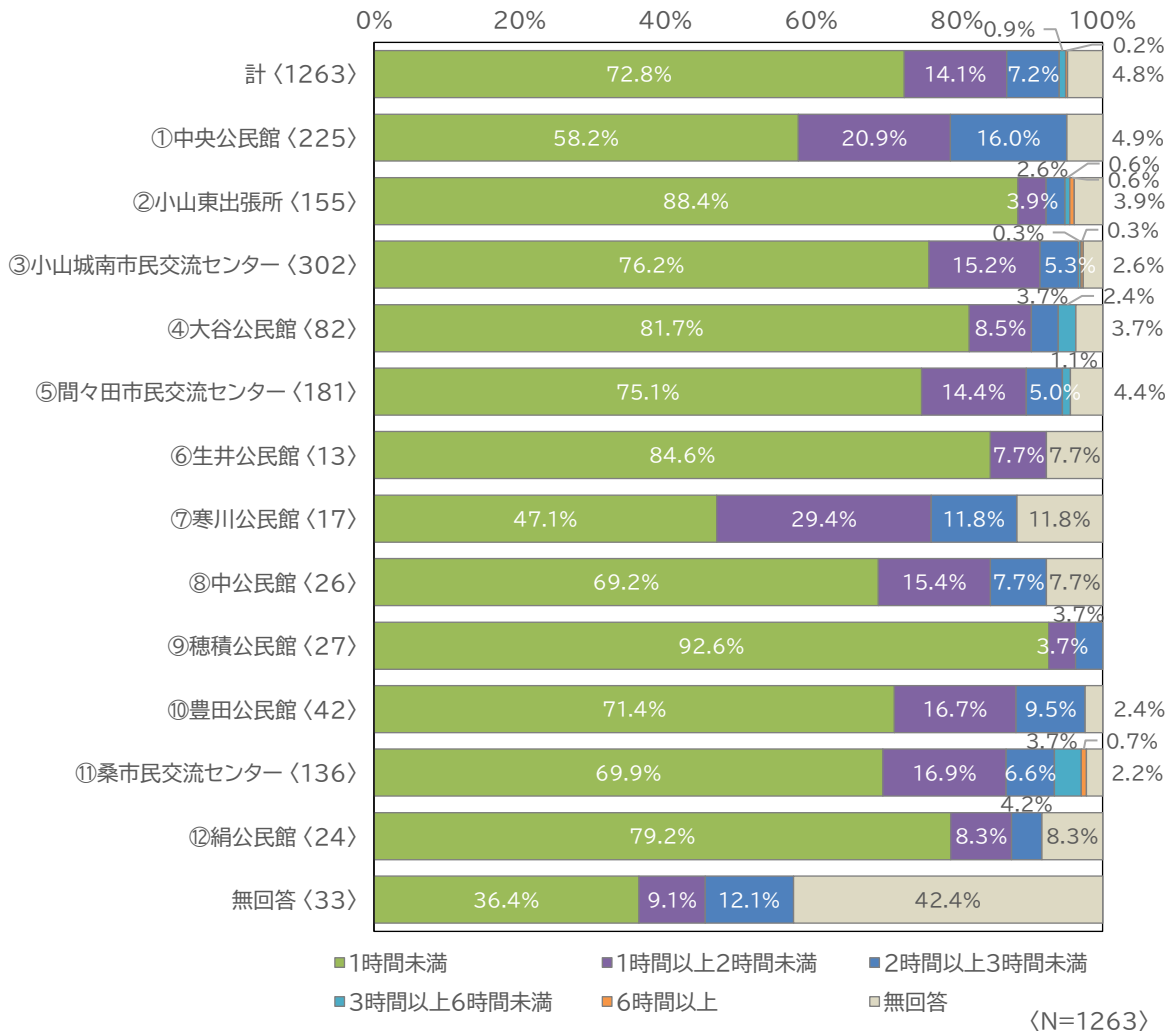


〈公民館等の利用時間〉

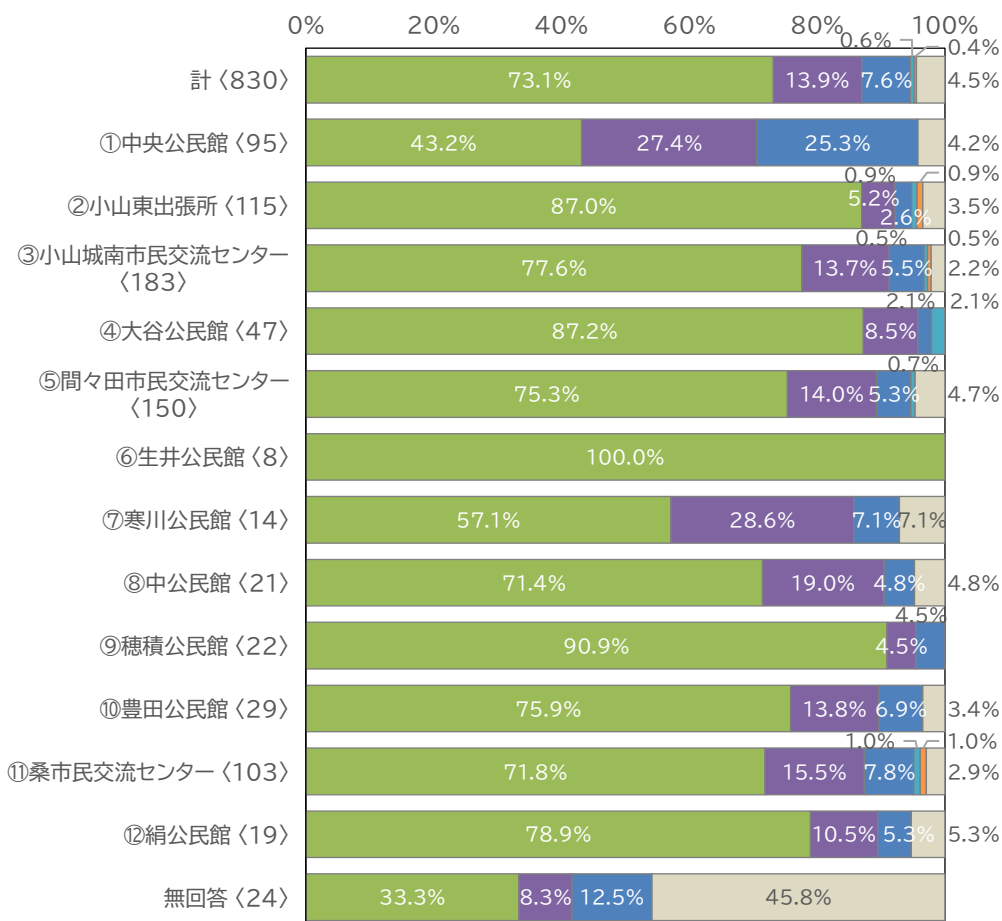
- 「1 時間未満」が約4分の3を占め、3時間未満の利用者が9割以上を占めている。
- 他の公民館等に比べて、「⑦寒川公民館」や「①中央公民館」等では比較的長時間利用されている方が多い傾向が読み取れる。

- ・「1 時間未満」が72.8%で最も多く、「1 時間以上2 時間未満」の14.1%、「2 時間以上3 時間未満」の7.2%と続き、これらを合計した3時間未満の利用者が94.1%を占めている。
- ・利用する公民館等別に1 時間以上の利用者の割合をみると、「⑦寒川公民館（41.2%）」「①中央公民館（36.9%）」「⑪桑市民交流センター（27.9%）」「⑩豊田公民館（26.2%）」が他の公民館等に比べて1 時間以上の利用者が多くなっている。

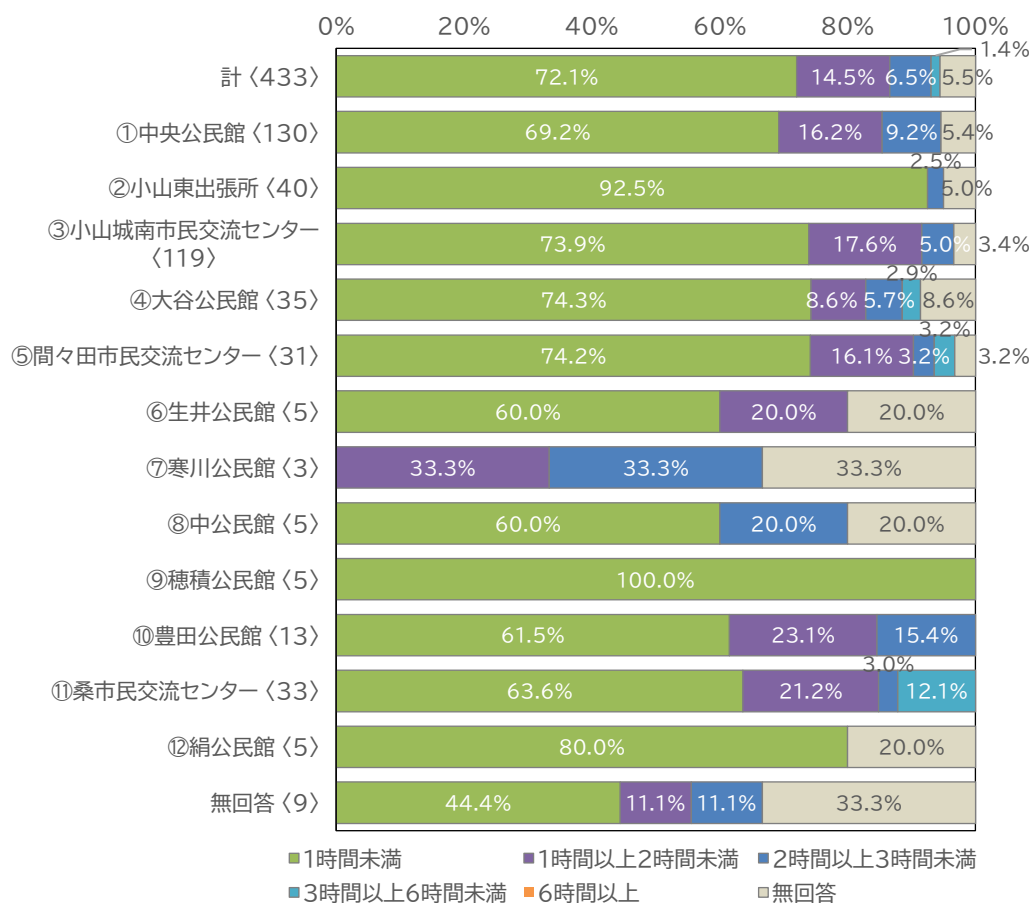
〔問4-3〕〈最も利用する公民館等〉+〈次に利用する公民館等〉 ③利用時間



【問4-1】〈最も利用する公民館等〉 ③利用時間



【問4-2】〈次に利用する公民館等〉 ③利用時間

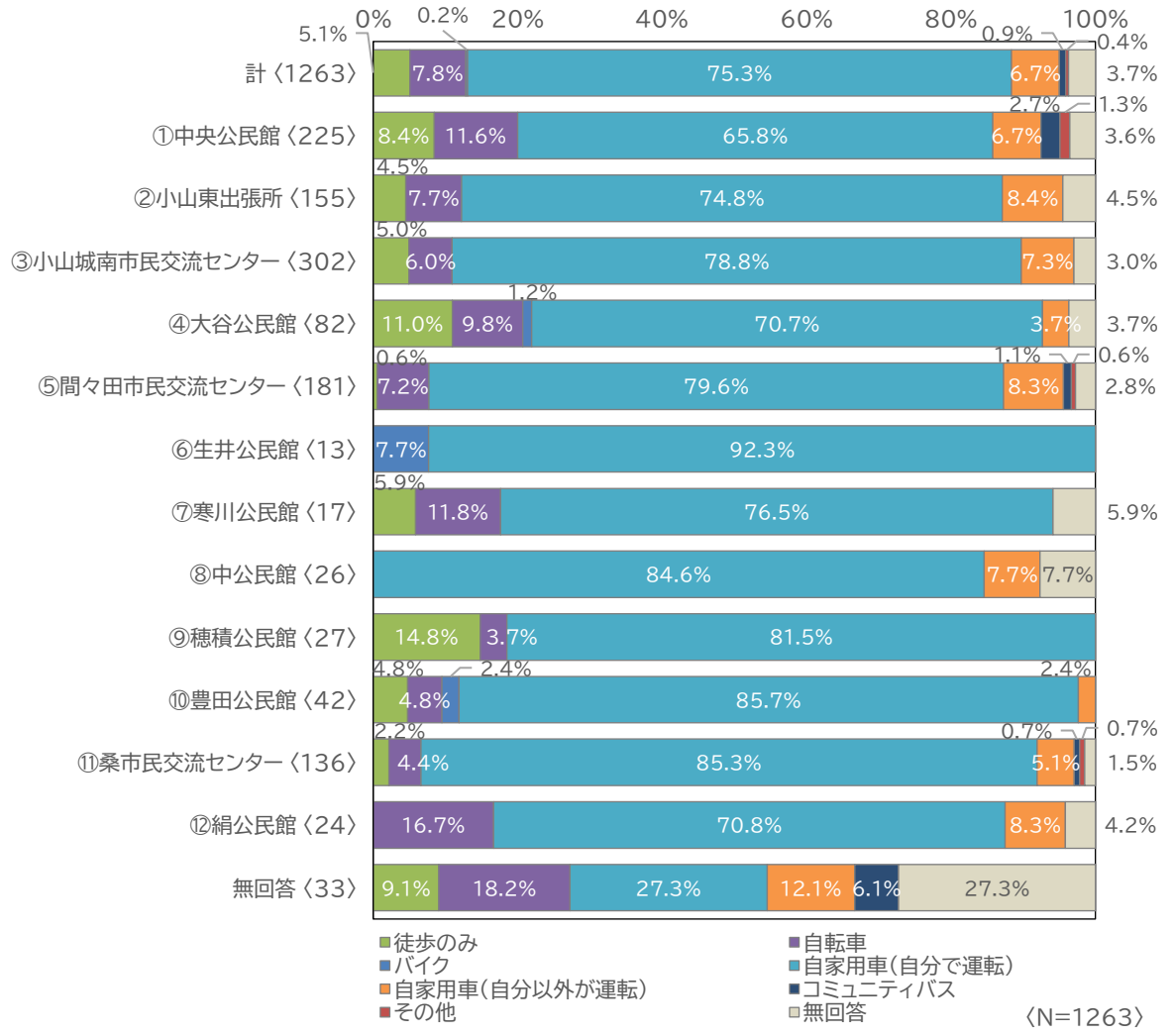


〈公民館等を利用する際の主な交通手段〉

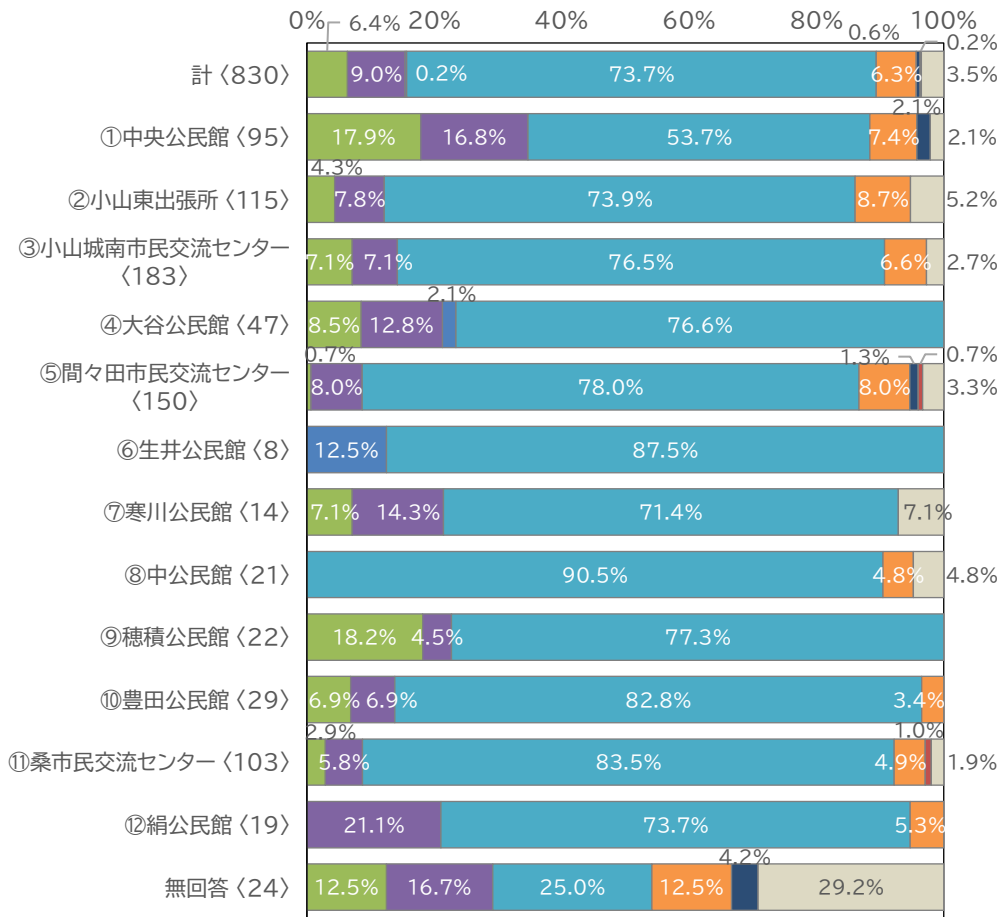
●「自家用車(自分で運転)」が約4分の3を占め、自家用車で公民館等へ行っている方が8割を超える。「徒歩のみ」「自転車」「バイク」「コミュニティバス」の割合はそれぞれ1割に満たない。
 ●他の公民館等に比べて、「①中央公民館」や「④大谷公民館」等では自家用車以外の方法で公民館に行っている方が多い傾向が読み取れる。

- ・「自家用車(自分で運転)」が75.3%で最も多く、「自転車」の7.8%、「自家用車(自分以外が運転)」の6.7%、「徒歩のみ」の5.1%と続いており、自家用車で公民館等へ行っている方が82.0%を占めている。
- ・利用する公民館等別に自家用車以外で公民館等へ行っている方の割合をみると、「①中央公民館(24.0%)」「④大谷公民館(22.0%)」「⑨穂積公民館(18.5%)」「⑦寒川公民館(17.6%)」「⑫絹公民館(16.7%)」が他の公民館等に比べて多くなっている。

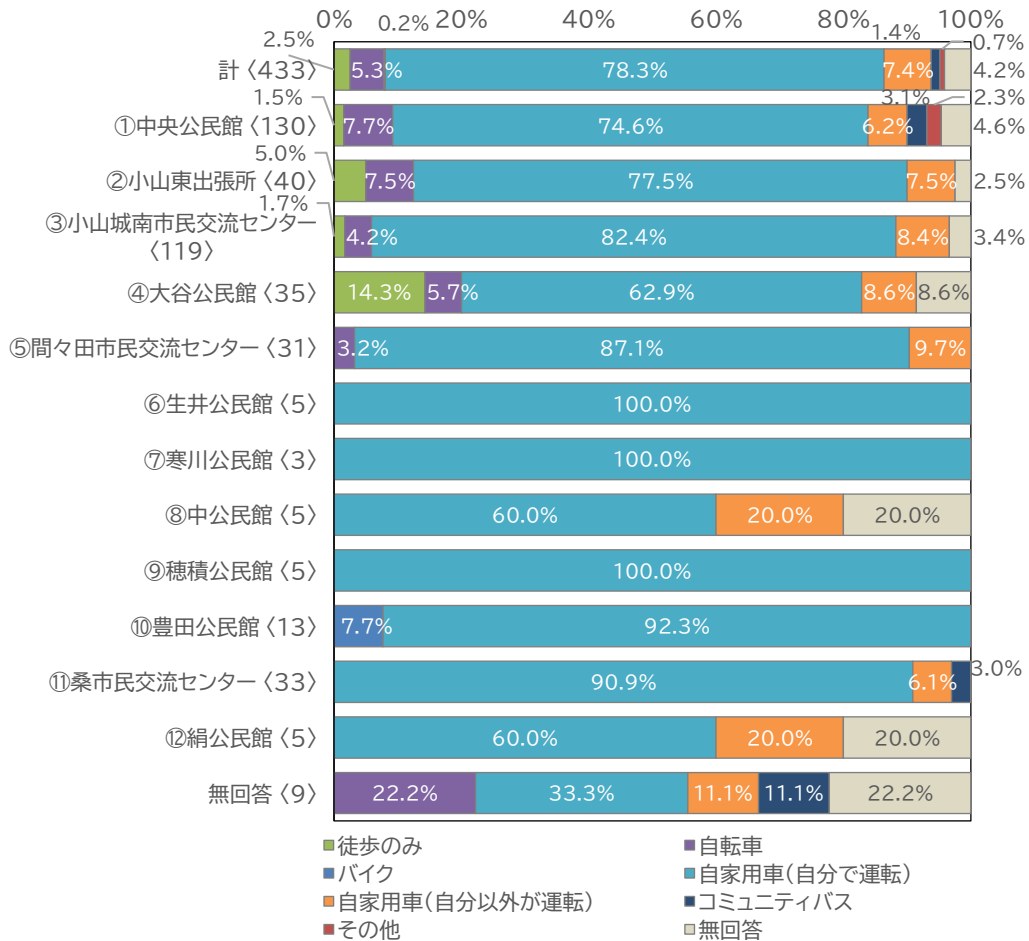
【問4-3】〈最も利用する公民館等〉+〈次に利用する公民館等〉 ④主な交通手段



【問4-1】〈最も利用する公民館等〉 ④主な交通手段



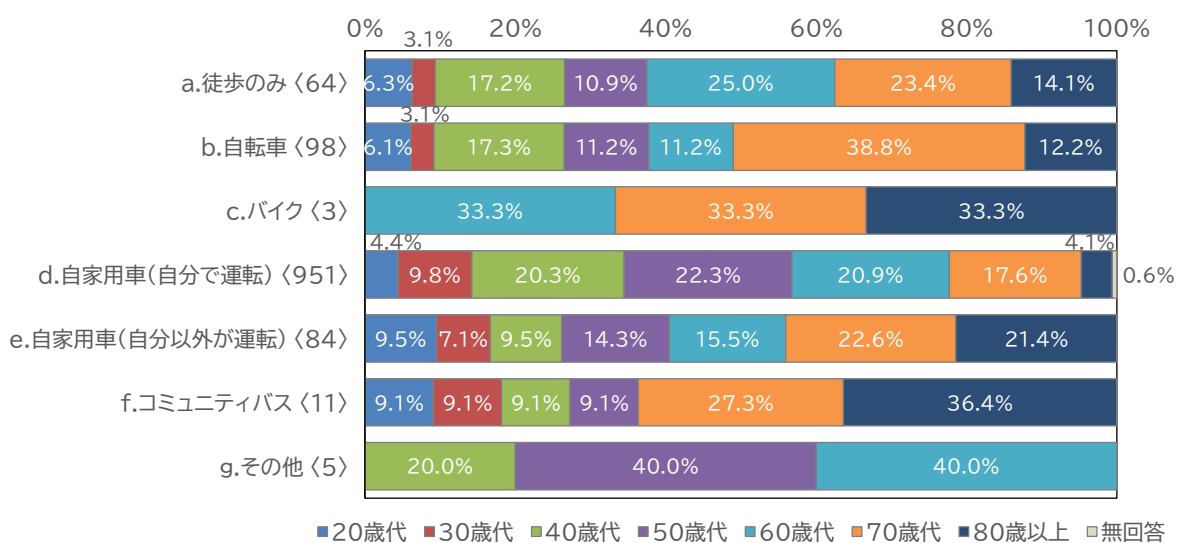
【問4-2】〈次に利用する公民館等〉 ④主な交通手段



●利用する主な交通手段別に回答者の年代をみると、「自家用車(自分で運転)」は比較的若い世代が利用し、70 歳以上の世代では、「バイク」や「コミュニティバス」、「自転車」を利用する方が多い傾向が読み取れる。

- ・「d. 自家用車（自分で運転）」を利用している方の年代別割合をみると、「50 歳代」までの世代が 56.8%となり過半数を超えている。
- ・「70 歳代」以上の世代が利用している主な交通手段では、「c. バイク」が 66.6%、「f. コミュニティバス」が 63.7%、「b. 自転車」が 51.0%で、これらの交通手段を利用している方が多くなっている。

【問4-3】〈最も利用する公民館等〉+〈次に利用する公民館等〉 ④主な交通手段 ×【問1】2)年代

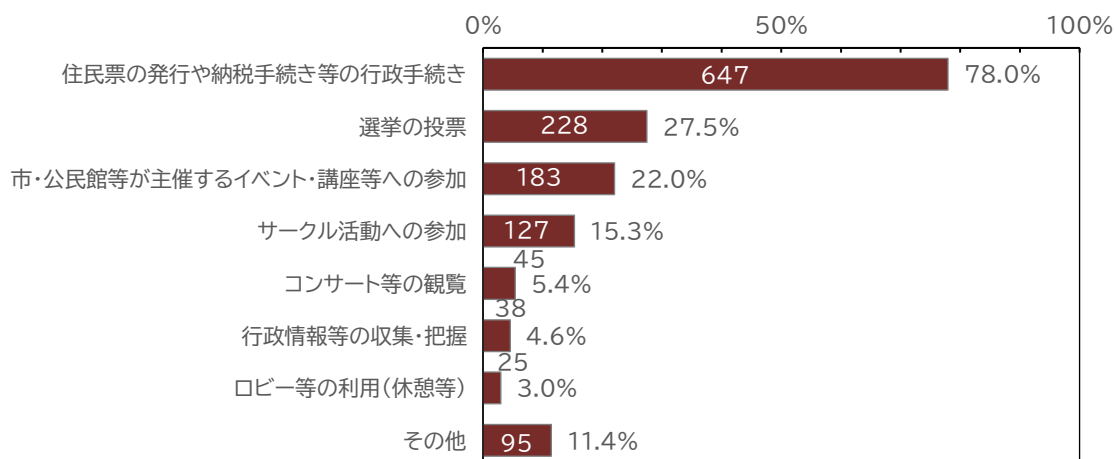


(4) 公民館を利用したことがある方の公民館等の利用目的 【問5】

●公民館等の利用目的は、「住民票の発行や納税手続き等の行政手続き」が約8割で最も多く、「選挙の投票」、「市・公民館等が主催するイベント・講座等への参加」、「サークル活動への参加」と続いている。

・「住民票の発行や納税手続き等の行政手続き」が 78.0%で最も多く、「選挙の投票 (27.5%)」、「市・公民館等が主催するイベント・講座等への参加 (22.0%)」、「サークル活動への参加 (15.3%)」と続いている。

【問5】 公民館等を利用する目的



《複数回答》 〈N=830〉

「その他(95)」の回答

- ・図書館 (30)
- ・健康診断・検診 (15)
- ・会議等 (6)
- ・学校行事・学校関係の集まり (5)
- ・自治会協議会・自治会班の集会 (5)
- ・医療費控除の申請 (5)
- ・趣味・習い事の会合(集会)、マンションの総会、確定申告、公的機関が開催する会議(民生員の例会等)、廃棄物の処理(小型家電の廃棄、廃油処理)(以上、それぞれ(2))
- ・地区の集い、多人数でイベント準備等をする際に借りる、研修会参加(仕事)、個人が主催する講座、粗大ゴミの手続き、ゴミカレンダーもらいに行った、広報を取りに行く等、コピー等、銀行、パスポート、スポーツ(卓球練習)、中学校の野球部の練習、福祉相談、いきいきふれあい、子育てひろば、子ども食堂、子どもの作品を見に行く・学童の申し込み説明会等、城南公園で遊ぶため、刃物研ぎ、身体不自由のため用事は息子が、年齢で参加することがあまりない(以上、それぞれ(1))

① 利用する公民館等別の利用目的 【問4】 × 【問5】

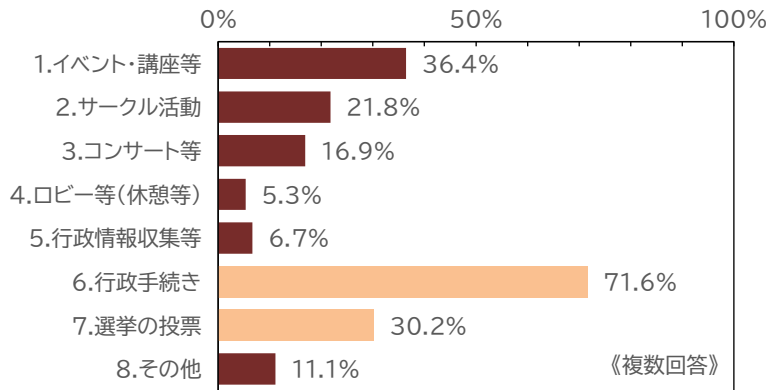
●利用する公民館等別に、その利用目的をみると、すべての公民館等で「住民票の発行や納税手続き等の行政手続き(6.行政手続き)」の割合が多くなっている。

●他の公民館等に比べて、「④大谷公民館」「⑥生井公民館」「⑫絹公民館」では、公民館機能の利用割合が低い傾向が読み取れる。

※)グラフでは、便宜上、次のように表記している。

「市・公民館等が主催するイベント・講座等への参加」	→「1.イベント・講座等」
「サークル活動への参加」	→「2.サークル活動」
「コンサート等の観覧」	→「3.コンサート等」
「ロビー等の利用(休憩等)」	→「4.ロビー等(休憩等)」
「行政情報等の収集・把握」	→「5.行政情報収集等」
「住民票の発行や納税手続き等の行政手続き」	→「6.行政手続き」
「選挙の投票」	→「7.選挙の投票」
「その他」	→「8.その他」

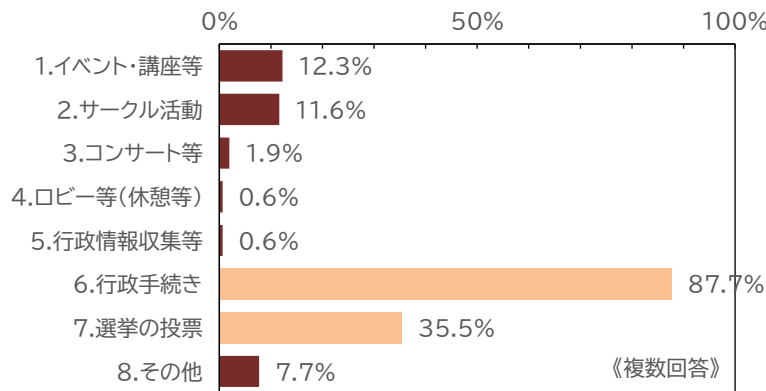
①中央公民館 〈N=225〉



・①中央公民館では、「6. 行政手続き」が71.6%で最も多く、「1. イベント・講座等」が36.4%で続く。

※)実際には、中央公民館は公民館機能のみを提供している。

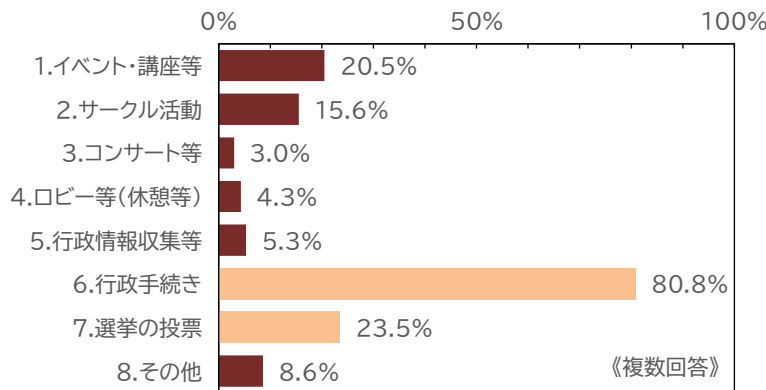
②小山東出張所 〈N=155〉



・②小山東出張所では、「6. 行政手続き」が87.7%で最も多く、「7. 選挙の投票」が35.5%で続く。

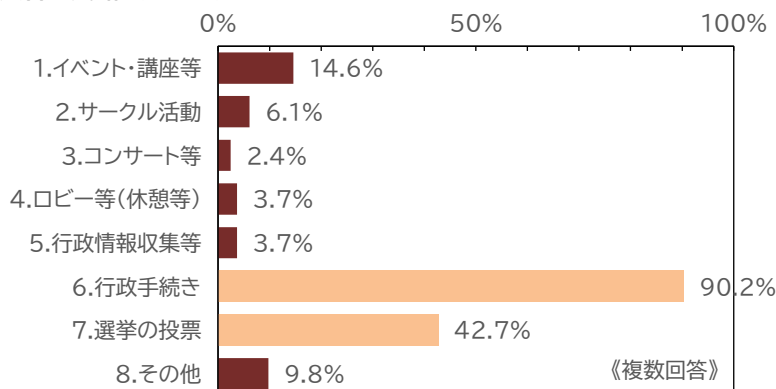
※)実際には、小山東出張所は行政サービス(出張所)機能のみを提供している。

③小山城南市民交流センター 〈N=302〉



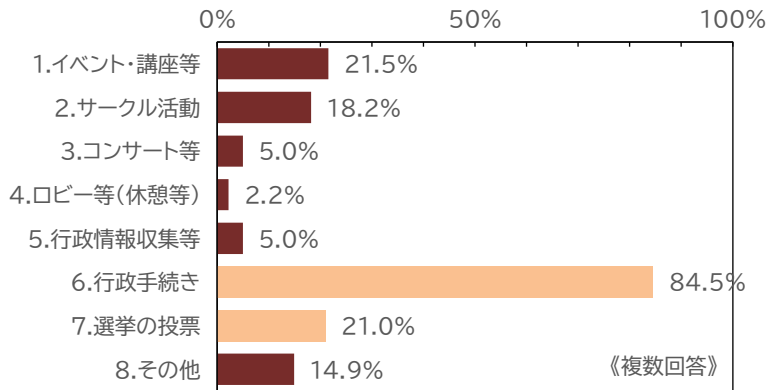
・③小山城南市民交流センターでは、「6. 行政手続き」が80.8%で最も多く、「7. 選挙の投票」の23.5%、「1. イベント・講座等」の20.5%と続く。

④大谷公民館 〈N=82〉



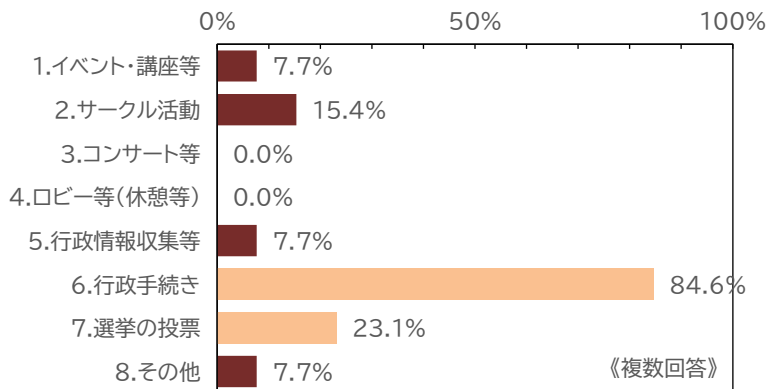
・④大谷公民館では、「6. 行政手続き」が90.2%で最も多く、「7. 選挙の投票」が42.7%で続き、公民館機能の利用割合は低い。

⑤間々田市民交流センター 〈N=181〉



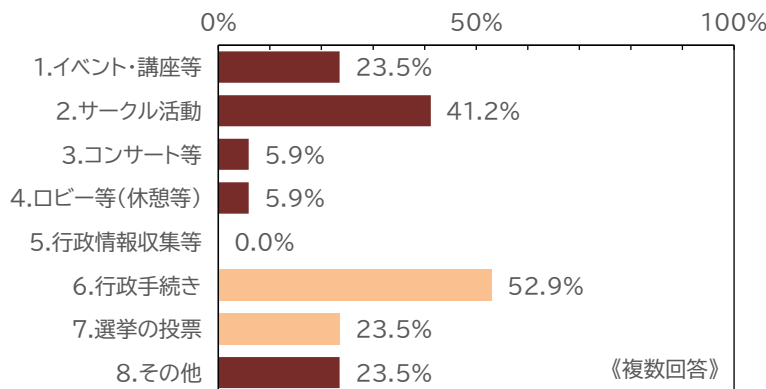
・⑤間々田市民交流センターでは、「6. 行政手続き」が84.5%で最も多く、「1. イベント・講座等」の21.5%、「7. 選挙の投票」の21.0%と続く。

⑥生井公民館 〈N=13〉



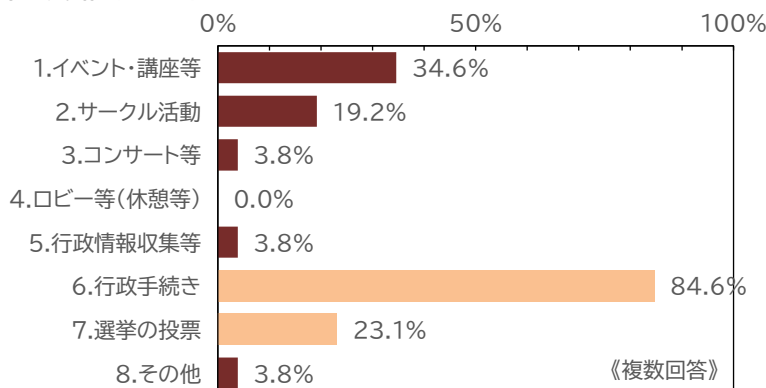
・⑥生井公民館では、「6. 行政手続き」が84.6%で最も多く、「7. 選挙の投票」が23.1%で続き、公民館機能の利用割合は低い。

⑦寒川公民館 〈N=17〉



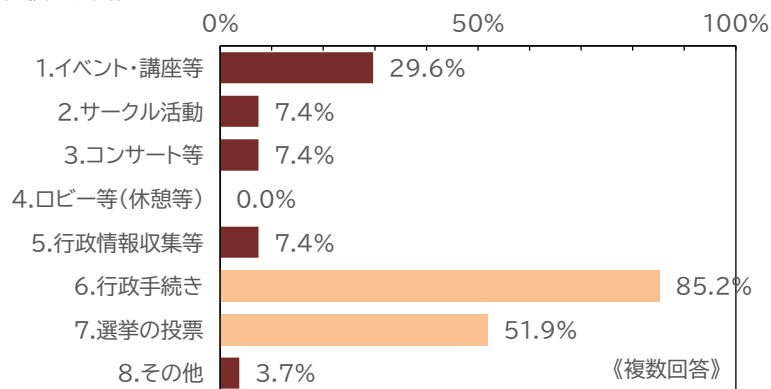
・⑦寒川公民館では、「6. 行政手続き」が52.9%で最も多いものの、「2. サークル活動」が41.2%で続き、他の公民館等に比べて「6. 行政手続き」の割合が低い。

⑧中公民館 〈N=26〉



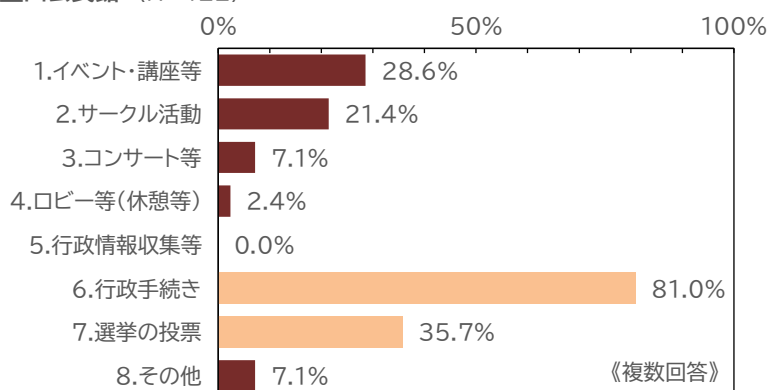
・⑧中公民館では、「6. 行政手続き」が84.6%で最も多く、「1. イベント・講座等」が34.6%で続く。

⑨穂積公民館 〈N=27〉



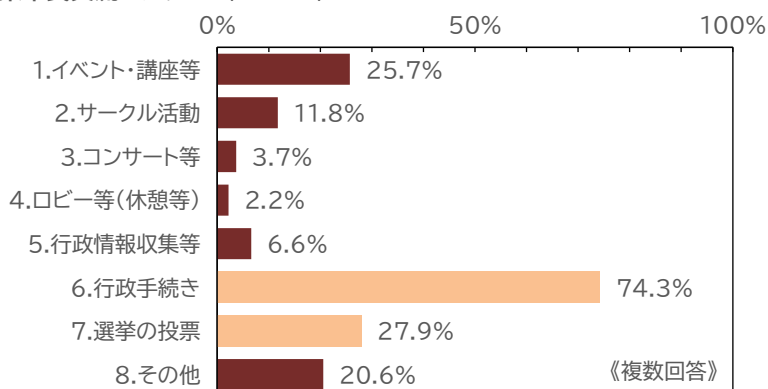
・ ⑨穂積公民館では、「6. 行政手続き」が85.2%で最も多く、「7. 選挙の投票」が51.9%で続く。

⑩豊田公民館 〈N=422〉



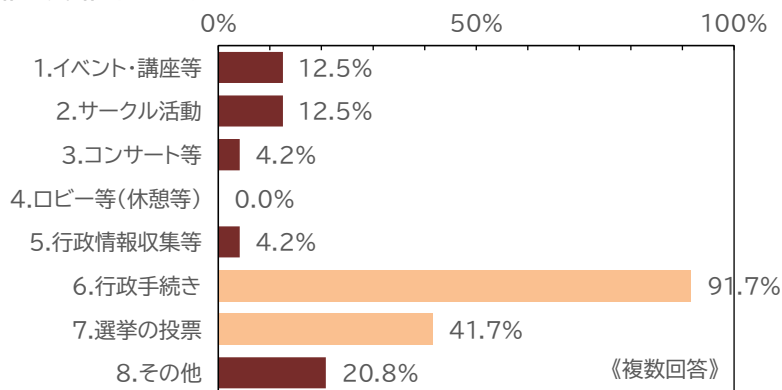
・ ⑩豊田公民館では、「6. 行政手続き」が81.0%で最も多く、「7. 選挙の投票」の35.7%、「1. イベント・講座等」の28.6%と続く。

⑪桑市民交流センター 〈N=136〉



・ ⑪桑市民交流センターでは、「6. 行政手続き」が74.3%で最も多く、「7. 選挙の投票」の27.9%、「1. イベント・講座等」の25.7%と続く。

⑫絹公民館 〈N=24〉



・ ⑫絹公民館では、「6. 行政手続き」が91.7%で最も多く、「7. 選挙の投票」が41.7%で続き、公民館機能の利用割合は低い。

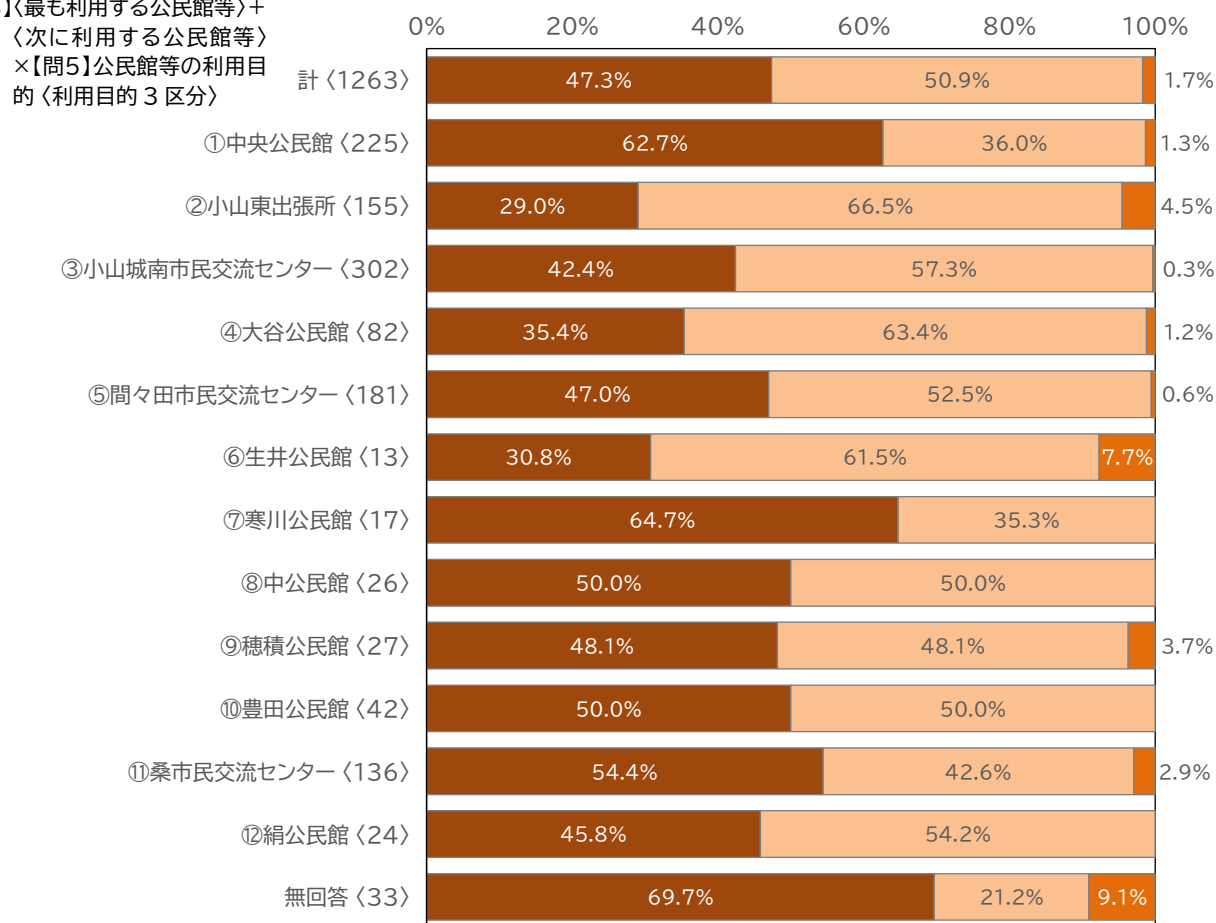
●公民館等の利用目的を「公民館機能の利用」「行政サービス機能のみ利用」「選挙のみ利用」の3区分に分けてみると、「公民館機能の利用」と「行政サービス機能のみ利用」が概ね半数ずつとなっている。

●これを利用する公民館等別にみると、「⑦寒川公民館」と「①中央公民館」では「公民館機能の利用」が6割を超えているのに対して、「⑥生井公民館」と「④大谷公民館」では、その割合は3割程度となっている。

※「公民館機能の利用」 …… 行政サービス機能、選挙の利用以外の目的での利用を含む利用
 「行政サービス機能のみ利用」 …… 行政サービス機能(選択肢「6.行政手続き」)のみ利用、行政サービス+選挙のみ利用
 「選挙のみ利用」 …… 選挙(選択肢「7.選挙の投票」)のみの利用

- ・最も利用する公民館等と次に利用する公民館の利用目的を合計した公民館等の利用目的を「公民館機能の利用」「行政サービス機能のみ利用」「選挙のみ利用」に分けて、それぞれの割合をみると、「公民館機能の利用」が47.3%、「行政サービス機能のみ利用」が50.9%とほぼ半数ずつとなっており、「選挙のみ利用」は1.7%と少ない。
- ・「公民館機能の利用」を公民館等別にみると、「⑦寒川公民館(64.7%)」と「①中央公民館(62.7%)」では6割を超えているのに対して、「⑥生井公民館(30.8%)」と「④大谷公民館(35.4%)」では3割程度であり、「行政サービス機能のみ利用」の割合が高い。

【問4-3】(最も利用する公民館等) + (次に利用する公民館等) ×【問5】公民館等の利用目的(利用目的3区分)



※) 中央公民館は公民館機能のみ、小山東出張所は行政サービス(出張所)機能のみを提供している。

■ 公民館機能の利用 (行政サービス機能、選挙の利用以外の目的での利用を含む) □ 行政サービス機能のみ利用 (行政サービス機能のみ利用、行政サービス+選挙のみ利用) ■ 選挙のみ利用

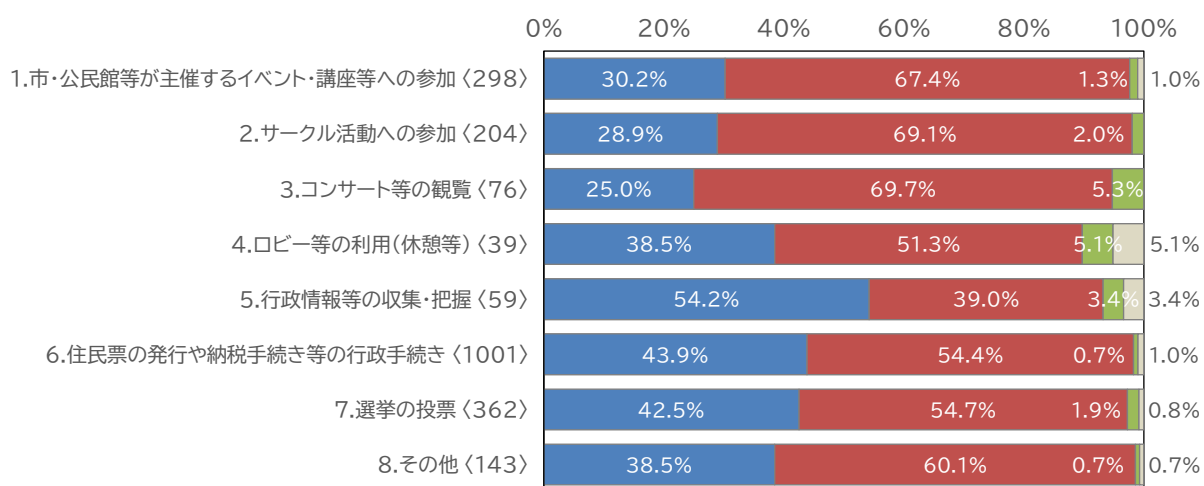
(N=1263)

② 利用する公民館等別の利用目的別・性別の割合 【問4】×【問5】×【問1】1)

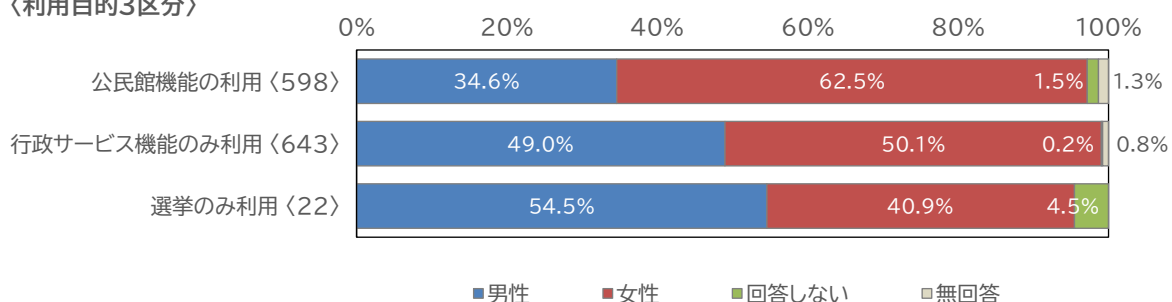
- 公民館等の利用目的別に回答者の性別をみると、「行政情報等の収集・把握」のみ、「男性」が「女性」を上回っている。
- 「公民館機能の利用」は「女性」の割合が多く、「選挙のみ利用」は「男性」の割合が多い。

- ・「5. 行政情報等の収集・把握」を目的とする公民館等利用では、「男性」が 54.2%で「女性」の 39.0%を上回っているが、その他の利用目的では、「女性」が「男性」を上回っている。
- ・公民館等の利用目的を3区分別にみると、「公民館機能の利用」では「女性（62.5%）」が「男性（34.6%）」を大きく上回っているのに対して、「行政サービス機能のみ利用」では「女性（50.1%）」と「男性（49.0%）」がほぼ同じ割合、「選挙のみ利用」では「男性（54.5%）」が「女性（40.9%）」を上回っている。

【問4-3】〈最も利用する公民館等〉+〈次に利用する公民館等〉×【問5】公民館等の利用目的 ×【問1】1)性別



〈利用目的3区分〉



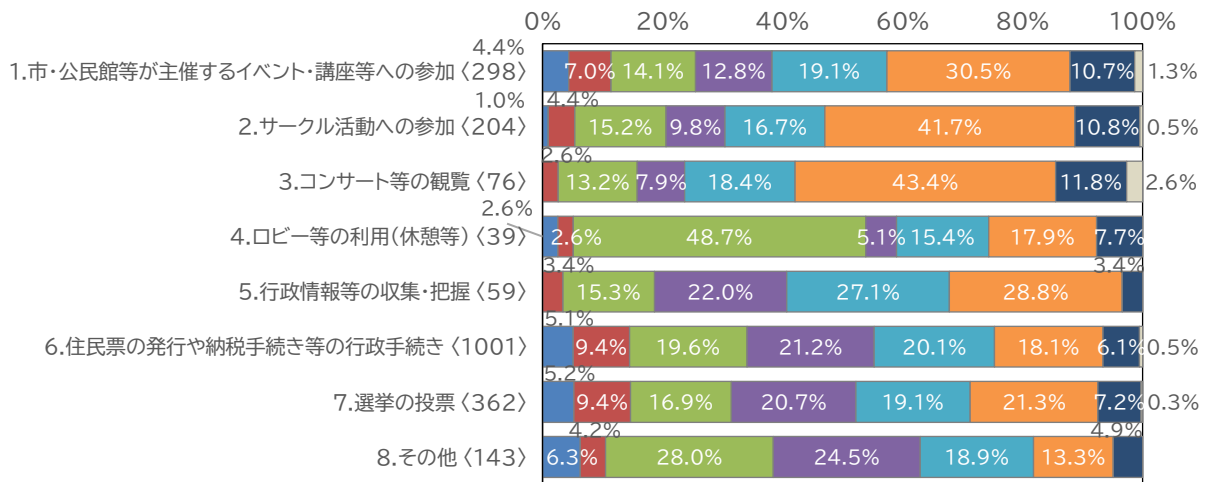
※)利用目的3区分
 「公民館機能の利用」 …行政サービス機能、選挙の利用以外の目的での利用を含む
 「行政サービス機能のみ利用」 …行政サービス機能のみ利用、行政サービス+選挙のみ利用
 「選挙のみ利用」 …選挙のみ利用

③ 利用する公民館等別の利用目的別・年代の割合 【問4】×【問5】×【問1】2)

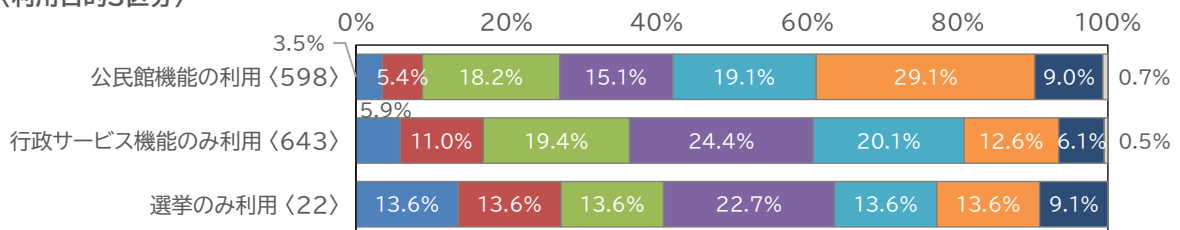
- 公民館等の利用目的別に回答者の年代をみると、「ロビー等の利用(休憩等)」で40歳代の利用が多くなっている。「3.コンサート等の観覧」や「2.サークル活動への参加」、「1.市・公民館等が主催するイベント・講座等への参加」で「70歳代」以上の世代の利用が多くなっている。
- 「公民館機能の利用」は高齢の方の利用割合が多く、「行政サービス機能のみ利用」と「選挙のみ利用」は若い世代の利用が多くなっている。

- ・「4.ロビー等の利用(休憩等)」で公民館等を利用している方の年代別割合をみると、「40歳代」が48.7%で他の世代に比べて多くなっている。
- ・「70歳代」以上の世代の利用目的では、「3.コンサート等の観覧」が55.2%、「2.サークル活動への参加」が52.5%、「1.市・公民館等が主催するイベント・講座等への参加」が41.2%で多く、他の世代に比べて多くなっている。
- ・公民館等の利用目的を3区分別にみると、「公民館機能の利用」では「70歳代」が29.1%で最も多く、「70歳代」以上の世代で38.1%を占めている。一方、「行政サービス機能のみ利用」と「選挙のみ利用」では、「50歳代」までの世代の割合が約6割となっている(「行政サービス機能のみ利用」で60.7%、「選挙のみ利用」で63.5%)。

【問4-3】〈最も利用する公民館等〉+〈次に利用する公民館等〉×【問5】公民館等の利用目的 ×【問1】2)年代



〈利用目的3区分〉



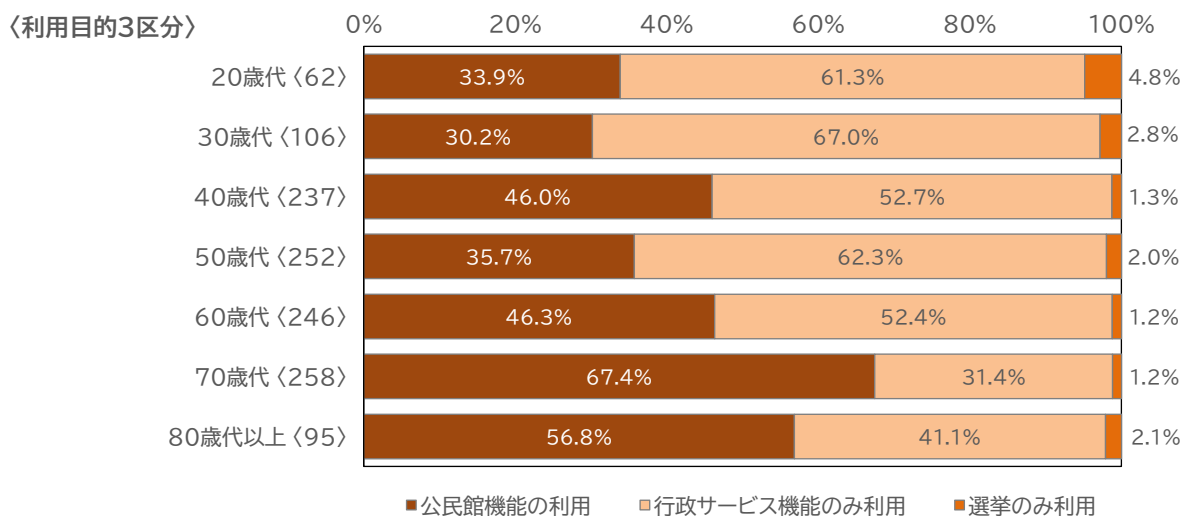
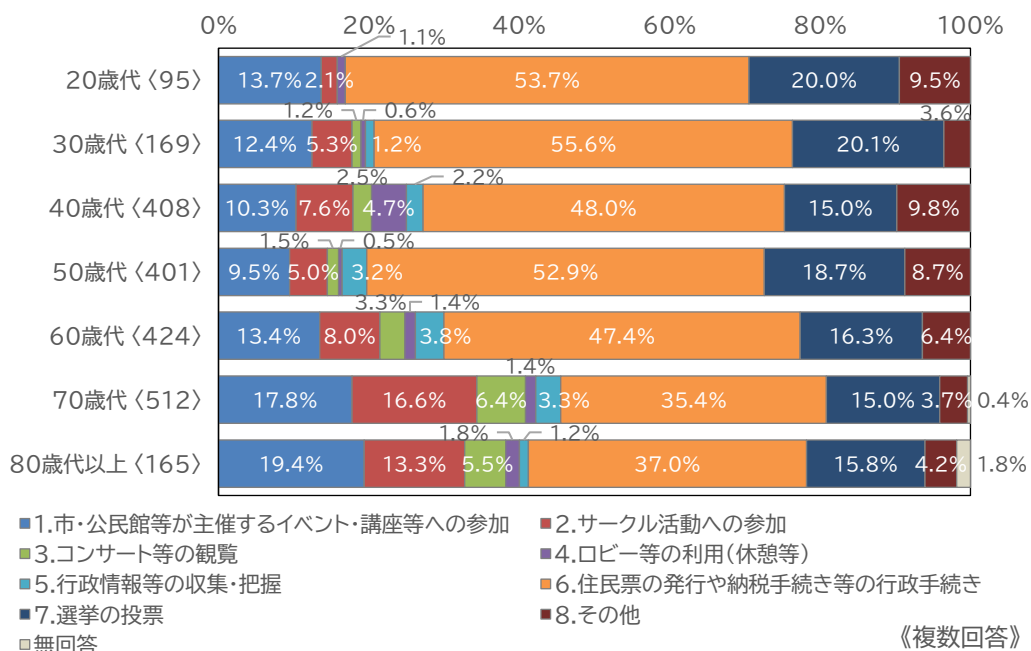
■20歳代 ■30歳代 ■40歳代 ■50歳代 ■60歳代 ■70歳代 ■80歳以上 ■無回答

※)利用目的3区分
 「公民館機能の利用」 ……行政サービス機能、選挙の利用以外の目的での利用を含む
 「行政サービス機能のみ利用」 ……行政サービス機能のみ利用、行政サービス+選挙のみ利用
 「選挙のみ利用」 ……選挙のみ利用

●回答者の年代別に公民館等の利用目的をみると、すべての年代で「住民票の発行や納税手続き等の行政手続き」が最も多くなっており、60歳代までの年代では半数程度を占めている。

- ・年代別に公民館等の利用目的をみると、すべての年代で「6. 住民票の発行や納税手続き等の行政手続き」が最も多くなっており、「30歳代（55.6%）」「20歳代（53.7%）」「50歳代（52.9%）」で過半数を占め、「40歳代（48.0%）」「60歳代（47.4%）」でも約半数を占めている。
- ・これを公民館等の利用目的を3区分別にみると、「70歳代」では「公民館機能の利用」が67.4%を占めており、「70歳代」以上の世代で、他の年代に比べてその割合が高い傾向が読み取れる。

【問4-3】〈最も利用する公民館等〉+〈次に利用する公民館等〉×【問1】2)年代×【問5】公民館等の利用目的



※)複数回答をまとめて集計しているため、上下のグラフで各年代の母数は一致しない。

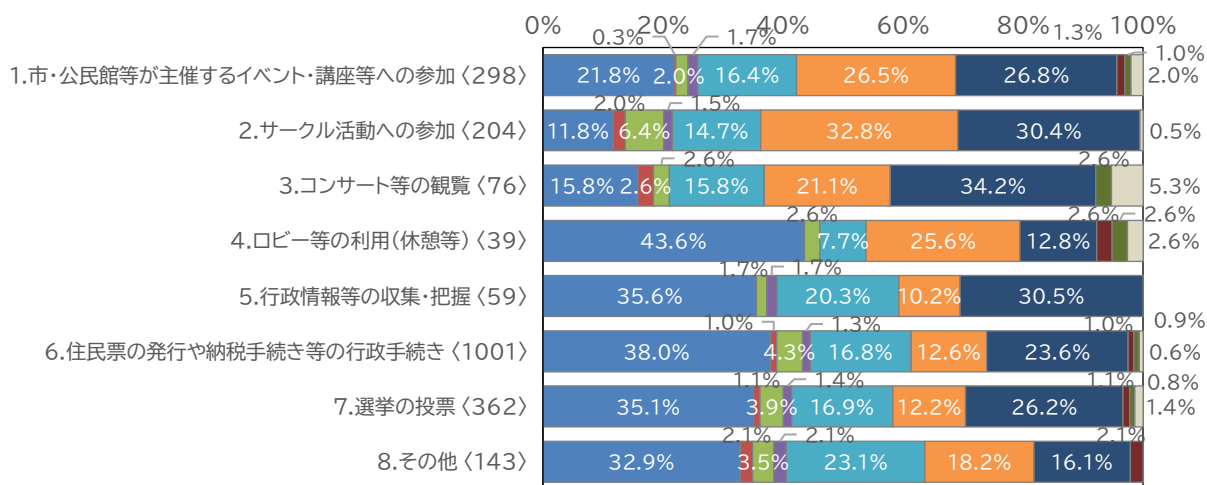
※)利用目的3区分
「公民館機能の利用」 ……行政サービス機能、選挙の利用以外の目的での利用を含む
「行政サービス機能のみ利用」 ……行政サービス機能のみ利用、行政サービス+選挙のみ利用
「選挙のみ利用」 ……選挙のみ利用

④ 利用する公民館等別の利用目的別・職業の割合 【問4】×【問5】×【問1】3)

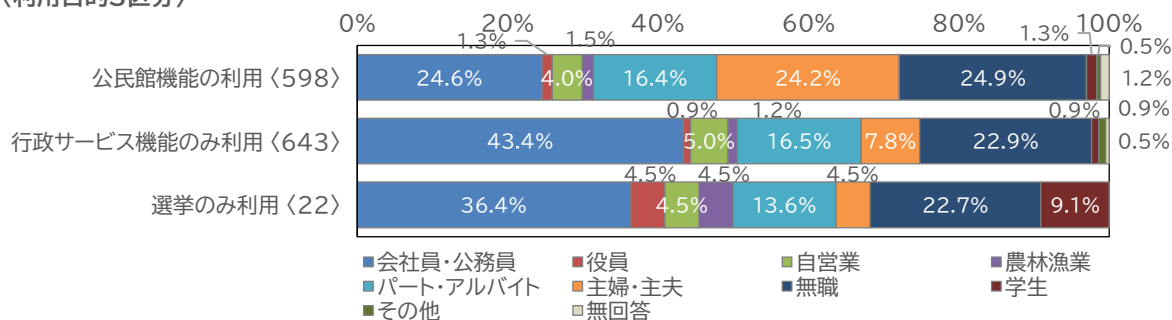
- 公民館等の利用目的別に回答者の職業をみると、「4.ロビー等の利用(休憩等)」や「6.住民票の発行や納税手続き等の行政手続き」、「5.行政情報等の収集・把握」、「7.選挙の投票」で「会社員・公務員」の利用が多く、「2.サークル活動への参加」や「3.コンサート等の観覧」、「1.市・公民館等が主催するイベント・講座等への参加」では、「主婦・主夫」や「無職」の方の利用が多い。
- 「公民館機能の利用」は地域で生活されている方(主婦・主夫、無職)の利用割合が多く、「行政サービス機能のみ利用」と「選挙のみ利用」は働いている方の利用が多くなっている。

- ・「4.ロビー等の利用(休憩等)」や「6.住民票の発行や納税手続き等の行政手続き」、「5.行政情報等の収集・把握」、「7.選挙の投票」で「会社員・公務員」の方の利用が多くなっている。一方、「2.サークル活動への参加」や「3.コンサート等の観覧」、「1.市・公民館等が主催するイベント・講座等への参加」では、「主婦・主夫」や「無職」の方の利用が多くなっている。
- ・公民館等の利用目的を3区分別にみると、「公民館機能の利用」では「主婦・主夫」や「無職」の方の利用が多く、「行政サービス機能のみ利用」と「選挙のみ利用」では「会社員・公務員」の方の利用が多い。

【問4-3】〈最も利用する公民館等〉+〈次に利用する公民館等〉×【問5】公民館等の利用目的×【問1】3)職業



〈利用目的3区分〉



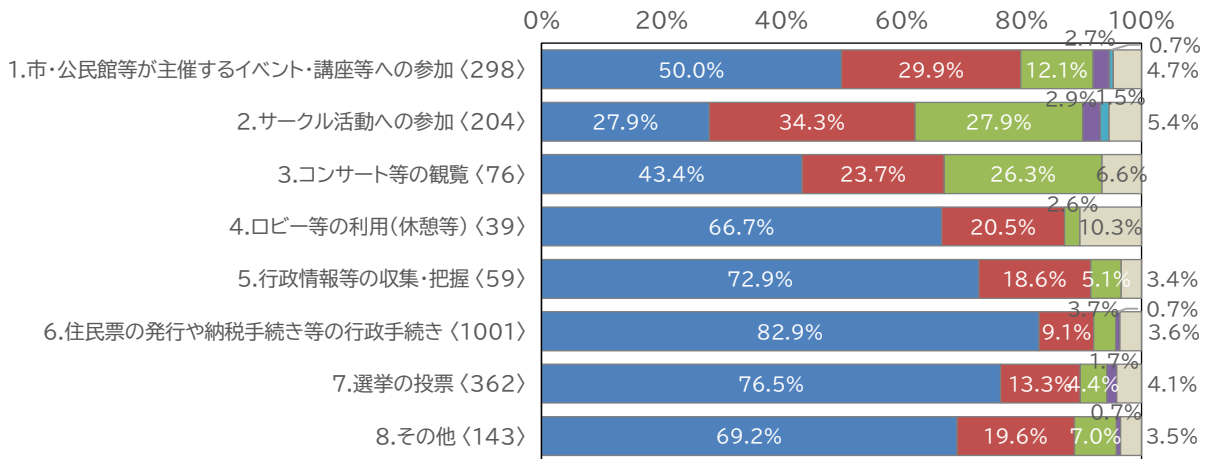
※)利用目的3区分
 「公民館機能の利用」 …行政サービス機能、選挙の利用以外の目的での利用を含む
 「行政サービス機能のみ利用」 …行政サービス機能のみ利用、行政サービス+選挙のみ利用
 「選挙のみ利用」 …選挙のみ利用

⑤ 利用する公民館等別の利用目的別・利用時間の割合 【問4】×【問5】×【問4】③

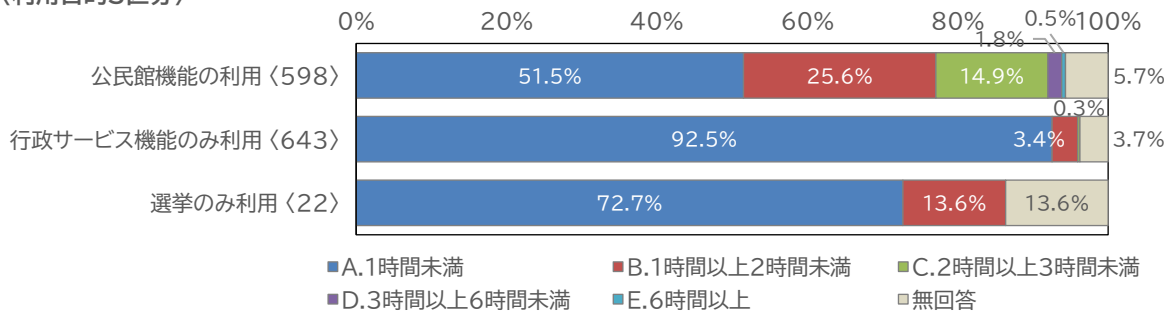
- 公民館等の利用目的別の利用時間をみると、「2.サークル活動への参加」や「3.コンサート等の観覧」、「1.市・公民館等が主催するイベント・講座等への参加」では1時間以上の利用が多く、「6.住民票の発行や納税手続き等の行政手続き」や「7.選挙の投票」、「5.行政情報等の収集・把握」では1時間未満の利用が7割を超えている。
- 「公民館機能の利用」は1時間以上の利用が4割を超えているのに対して、「行政サービス機能のみ利用」と「選挙のみ利用」で1時間未満の利用が7割～9割程度となっている。

- ・「2.サークル活動への参加」や「3.コンサート等の観覧」、「1.市・公民館等が主催するイベント・講座等への参加」では1時間以上の利用が多く（「2.サークル活動への参加」で66.6%、「3.コンサート等の観覧」で50.0%、「1.市・公民館等が主催するイベント・講座等への参加」で45.4%）、「6.住民票の発行や納税手続き等の行政手続き」や「7.選挙の投票」、「5.行政情報等の収集・把握」では1時間未満の利用が7割を超えている（「6.住民票の発行や納税手続き等の行政手続き」で82.9%、「7.選挙の投票」で76.5%、「5.行政情報等の収集・把握」で72.9%）。
- ・公民館等の利用目的を3区分別にみると、「公民館機能の利用」では42.8%が1時間以上の利用となっているのに対して、「行政サービス機能のみ利用」では1時間未満の利用が92.5%、「選挙のみ利用」では1時間未満の利用が72.7%を占めている。

【問4-3】〈最も利用する公民館等〉+〈次に利用する公民館等〉×【問5】公民館等の利用目的 ×【問4】③利用時間



〈利用目的3区分〉



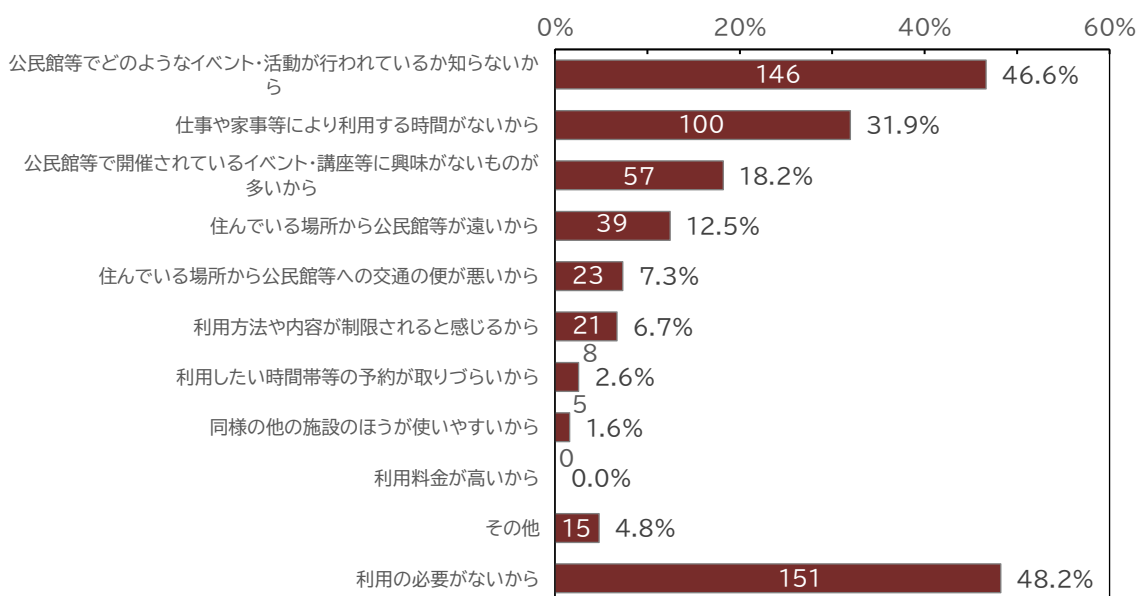
※)利用目的3区分
 「公民館機能の利用」 ……行政サービス機能、選挙の利用以外の目的での利用を含む
 「行政サービス機能のみ利用」 ……行政サービス機能のみ利用、行政サービス+選挙のみ利用
 「選挙のみ利用」 ……選挙のみ利用

(5) 公民館を利用したことがない方の公民館等を利用しない理由 【問6】

●公民館等を利用しない理由として、約半数の方が「利用の必要がないから」「公民館等でどのようなイベント・活動が行われているか知らないから」を挙げており、約3割の方が「仕事や家事等により利用する時間がないから」を挙げている。

・「利用の必要がないから」が 48.2%で最も多く、次いで「公民館等でどのようなイベント・活動が行われているか知らないから」の 46.6%となっており、「仕事や家事等により利用する時間がないから (31.9%)」、「公民館等で開催されているイベント・講座等に興味がないものが多いから (18.2%)」、「住んでいる場所から公民館等が遠いから (12.5%)」が続いている。

【問6】 公民館等を利用していない理由



《複数回答》 〈N=313〉

「同様の施設のほうが使いやすいから(5)」の回答

- ・あかつか児童センター、新橋児童館、小山市立中央図書館
- ・小山市役所
- ・喜沢集会所
- ・喜沢北部公民館
- ・駅東公園の施設での活動に時々参加させていただきます

「その他(15)」の主な回答

- ・公民館の場所がわからない。
- ・健康上の理由で利用できない（車を運転しない、歩行が困難等）。
- ・公民館が何をする場所かわからない。
- ・仕事で忙しい。
- ・別の地区で興味のあるイベントがあっても参加してもいいのかわからない。
- ・自治会に入っていないためゴミは自分の車で処理場に持って行っている。
- ・自治会長の要請がある時のみ利用している。
- ・自治会からイベント等のお知らせをいただくが、個人的に年齢的に不参加になる。
- ・本人は利用歴が無いが家内がよく利用している。

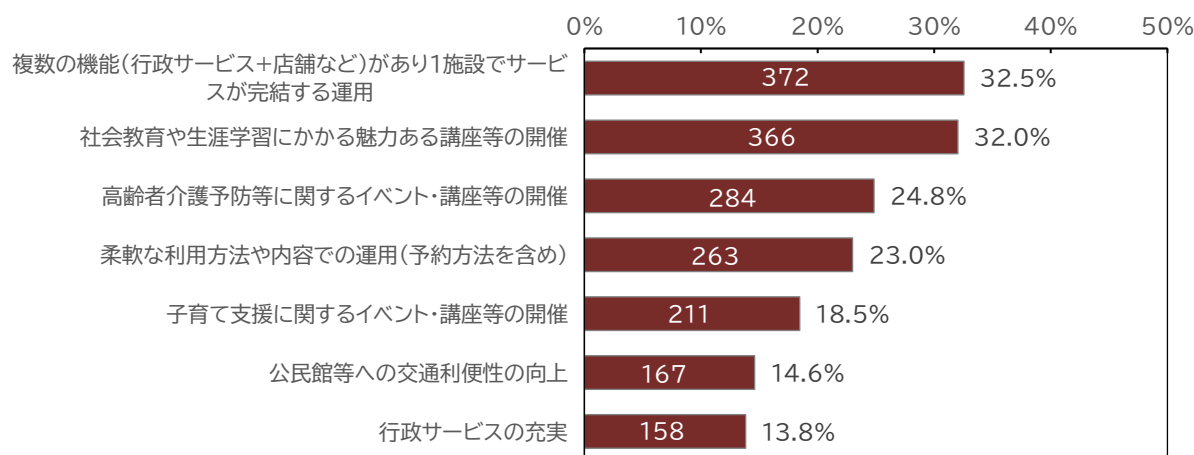
など

(6) 公民館等に対する要望 【問7】

●公民館に対して望むこととして、約3分の1の方が「複数の機能(行政サービス+店舗など)があり1施設でサービスが完結する運用(32.5%)」や「社会教育や生涯学習にかかる魅力ある講座等の開催(32.0%)」を望んでおり、「高齢者介護予防等に関するイベント・講座等の開催(24.8%)」や「柔軟な利用方法や内容での運用(予約方法を含め)(23.0%)」も約4分の1の方が望んでいる。

・「複数の機能(行政サービス+店舗など)があり1施設でサービスが完結する運用」が32.5%で最も多く、「社会教育や生涯学習にかかる魅力ある講座等の開催(32.0%)」、「高齢者介護予防等に関するイベント・講座等の開催(24.8%)」、「柔軟な利用方法や内容での運用(予約方法を含め)(23.0%)」、「子育て支援に関するイベント・講座等の開催(18.5%)」と続いている。

【問7】 公民館等に対して望んでいること



《複数回答》 (N=1143)

「行政サービスの充実(158)」の主な回答

- ・証明書等のスムーズな処理。
- ・土日も住民票等の発行手続きができるようになると平日に仕事をしている人は便利になると思う。
- ・市役所本庁舎でしかできない手続き等が、ある程度公民館・出張所でできたら便利だと思う。
- ・市役所で必要な事務手続きを土日に実施できるとよい。
- ・市役所と同等の機能(書類の取得等)ができるとよい。
- ・公民館で納税や申告、介護保険の申請、保育園入所申込み手続きなどができるとよい。
- ・対応窓口・相談窓口の増設(税金、健康、年金、土地、家屋など)。
- ・待ち時間が長い。係の人が足りない。内容によっては市役所に電話で聞くことも多くスムーズにいかない。
- ・12箇所もある必要はないと思うので、数を減らした上でリソースを集約し、サービスを向上させてほしい。
- ・職員の質の向上。
- ・パスポートの発行。
- ・閉館時間の延長(例:19時や20時まで延長、24時間利用可能な自動化)
- ・仕事の都合上、利用したい時が、休日や時間外になってしまうことが多い。なので、休日や時間外にも対応できる機械の導入を進めてほしい。
- ・発達障害のある児童への支援(スクールや相談・カウンセリングの場所)や不登校生のためのスクール、自主学習スペース。
- ・乳幼児や高齢者ばかりが重視されますが学生にも目を向けてほしい。
- ・子どもの遊び場(特にまだ歩けない子は公園に連れて行くのがむずかしい)。
- ・高齢者だけではなく、若い世代が興味あるサービスを充実させてほしい。高齢者世代の閉鎖感、我が物顔のイメージを一掃してほしい。
- ・ゴミの回収:中央清掃センターなどに持っていかなければならない物があるが、なかなか行けないから、近くで

回収してくれたら便利だと思う。

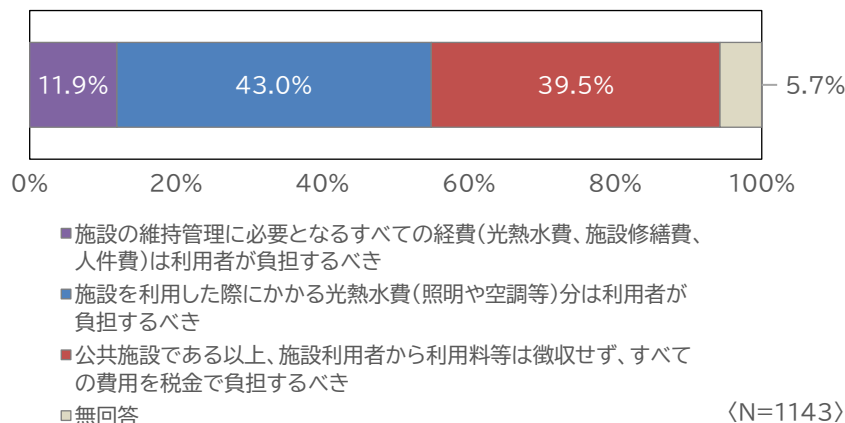
- ・公民館に ATM や薬局、道の駅の一部商品の販売など近くにあると便利な設備を設けて利用者を増やす。廃止や縮小ではなく、利用者が増え利益も上がればよいと思う。
- ・イベントや講座に参加したいが、やっているかなどがわかりづらいため、小山市アプリなどでわかりやすく広報するとよい。
- ・小山市でアプリを作ればもっと簡単に情報にアクセスでき、回覧板を次の家に持って行く手間も省ける。
- ・市、公民庁舎が主催するイベント増やしてください。
- ・介護者(ヤングケアラー含む)の交流会や勉強会。
- ・回覧板のみの PR では何をやっているのか知らない人が大多数だと思う。個別の講座等以外に多くの人を公民館に呼び、市政側の努力を知ってもらうことが大事ではないか。公民館等を知ってもらい、身近に感じてもらう人を3倍に増やす。
- ・行政情報の提供(国・県・近隣市町含む)。
- ・他人との関わりを避ける傾向にある現代において、公民館という存在は不要な存在ではないだろうか。公共の場を必要とするなら、時間貸しの施設を利用しても良いのではないかと思う。
- ・公民館の維持管理の費用を申請された催しに対する補助として活用するのもしよいかも。など

(7) 公民館等を利用する際の負担に対する考え方 【問8】

●公民館等利用時の負担について、約4割の方が「施設を利用した際にかかる光熱水費(照明や空調等)分は利用者が負担するべき」、「公共施設である以上、施設利用者から利用料等は徴収せず、すべての費用を税金で負担するべき」としており、「施設の維持管理に必要となるすべての経費(光熱水費、施設修繕費、人件費)は利用者が負担するべき」は約1割となっている。

- ・「施設を利用した際にかかる光熱水費(照明や空調等)分は利用者が負担するべき」が43.0%で最も多く、「公共施設である以上、施設利用者から利用料等は徴収せず、すべての費用を税金で負担するべき」が39.5%、「施設の維持管理に必要となるすべての経費(光熱水費、施設修繕費、人件費)は利用者が負担するべき」が11.9%となっている。

【問8】 公民館等を利用する際の負担(利用料や使用料等)に対する考え方

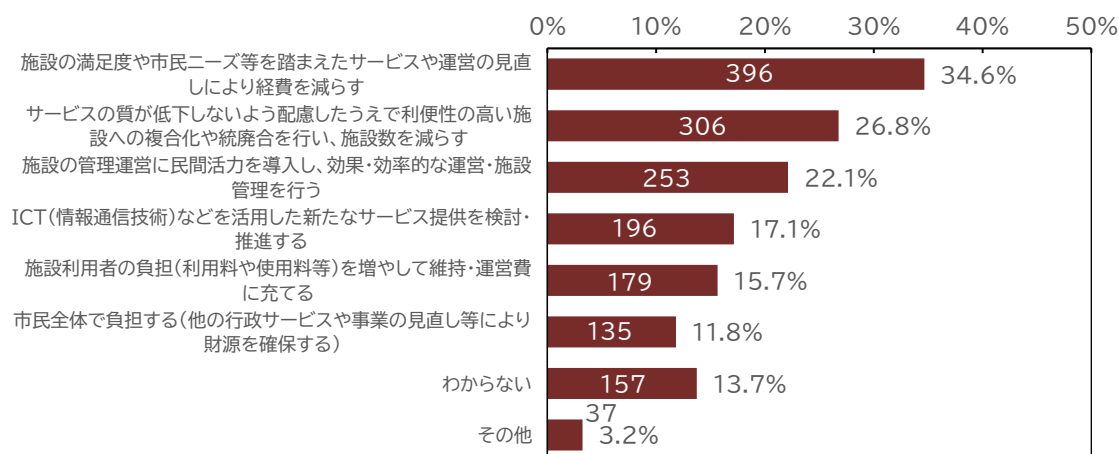


(8) 今後の公民館等の維持に向けて考えられる取り組み 【問9】

●今後の公民館等の維持に向けた取り組みとして、約3分の1の方が「施設の満足度や市民ニーズ等を踏まえたサービスや運営の見直しにより経費を減らす」ことが、約4分の1の方が「サービスの質が低下しないよう配慮したうえで利便性の高い施設への複合化や統廃合を行い、施設数を減らす」ことが必要と考えている。

- ・「施設の満足度や市民ニーズ等を踏まえたサービスや運営の見直しにより経費を減らす」が 34.6%で最も多く、「サービスの質が低下しないよう配慮したうえで利便性の高い施設への複合化や統廃合を行い、施設数を減らす (26.8%)」、「施設の管理運営に民間活力を導入し、効果・効率的な運営・施設管理を行う (22.1%)」、「ICT (情報通信技術) などを活用した新たなサービス提供を検討・推進する (17.1%)」が続いている。

【問9】 今後限られた財源の中で公民館等を維持していくために必要な取り組み



《複数回答(2つまで)》 〈N=1143〉

「その他(37)」の主な回答

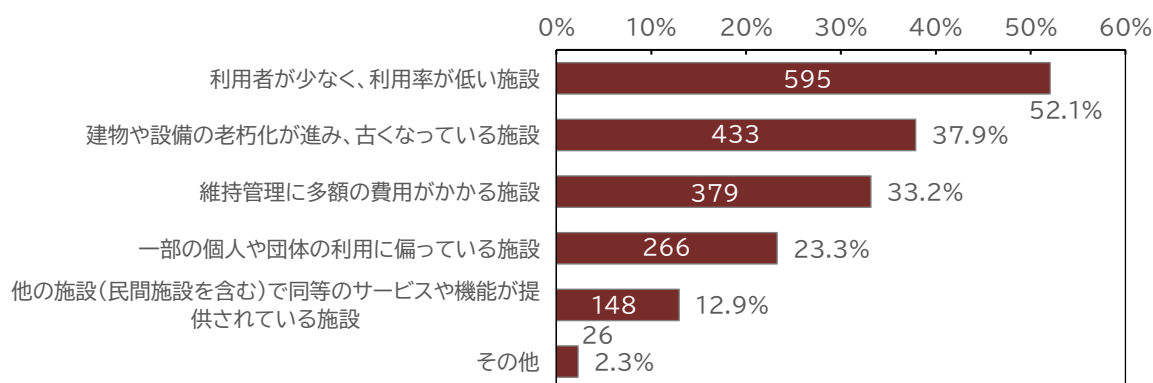
- ・収益イベントなどを行い、収益で維持管理を行う。
- ・民間企業にも利用してもらい、使用料を負担してもらおう (スポーツクラブ・ジム、習い事など)。
- ・文化センターの小ホールの利用 (発表会、成人式、展示会等) を図る。
- ・①信頼性の高い、利益率も見込めるイベントや講座の開催、②カフェや物販等、民間企業と連携し利用料で運営資金を賄い、かつ、人が集まる仕組みづくり。
- ・安いコストで参加できるイベントや教室を増やし、市民が多く利用できる公民館として存続してほしい。
- ・バザーを開催したらどうでしょうか？以前は幼稚園や学校でやっていましたがコロナのため開催されなくなってしまったので、無償で提供したいものが各家庭にはたくさんあるのではと思います。その売り上げを運営に使っていただければありがたいです。
- ・一つの施設に交通手段 (バスなど) を週 1、2 回各地区から送迎するなどして利用率を上げる。
- ・施設を利用した人が多少負担してもよいと思う (イベントや学習は公民館等を利用者に限られるもの等)。
- ・選挙など公的利用時に税金を使い、他の講座などは利用者の負担を増やす。
- ・利用者が少ない施設の運用を停止すべき。
- ・利用率が低い施設を税金で維持する理由がわからない。学校を利用すればいいのではないか。
- ・墨田区や江東区辺りの区で幼稚園や学童など老人福祉関連の施設を同じコミュニティセンター内に併設し相互交流しているところが報道されていたため、参考にするとよい。
- ・存続に必要な最低限の費用は市負担とし、施設の劣化、損傷 (雨漏り、錆び、亀裂) は高額になる前に補修すべき。
- ・財源分配の見直し、過剰人員や人件費の見直し・削減を進めるべき。
- ・財源が確保できるよう小山市の取り組みの見直し、子育て世代への社会復帰、参入しやすい環境作りにより住民増等を目指す。

(9) 公民館等の統廃合を検討する際の対象施設 【問10】

●公民館等の統廃合等を検討する場合に、その対象とするべき施設として、過半数の方が「利用者が少なく、利用率が低い施設」を挙げ、「建物や設備の老朽化が進み、古くなっている施設」や「維持管理に多額の費用がかかる施設」も3割を超える方が対象とするべきと考えている。

- ・「利用者が少なく、利用率が低い施設」が 52.1%で最も多く、「建物や設備の老朽化が進み、古くなっている施設 (37.9%)」、「維持管理に多額の費用がかかる施設 (33.2%)」、「一部の個人や団体の利用に偏っている施設 (23.3%)」が続いている。

【問10】 公民館等の統廃合等を検討するとした場合、その対象にするべき施設



《複数回答(2つまで)》 〈N=1143〉

「その他(26)」の主な回答

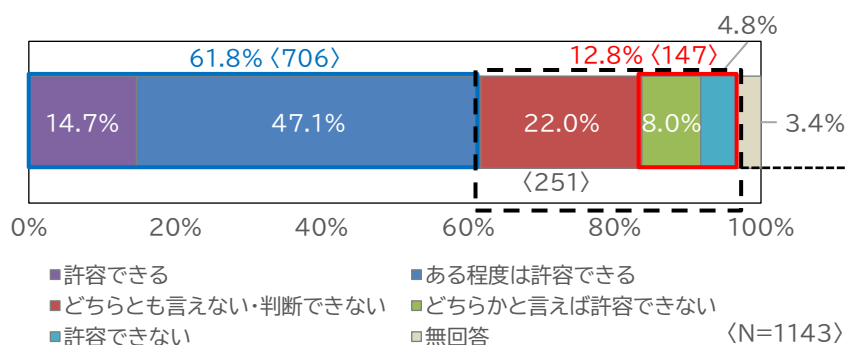
- ・ 検討をするのであればまずは、統計を市民に出した上で決定すべき。
- ・ 現状がわからず、情報の開示がないため答えようがない。
- ・ 統廃合ありきのアンケートではないか。もっと具体的な廃止方針等を提示してアンケートをすべき。
- ・ 統廃合は考えるべきではない。高齢者に不便になる。
- ・ 何かあった時、集まれる場所として残しておくべき。
- ・ 利用者が少なくても建物や設備の老朽化があっても、地域によっては公民館を残すべき。
- ・ 過疎化している地域こそ廃止してはいけないと思う。
- ・ 郊外の公民館は存続し、魅力あるサービス・機能向上を図るべき。むしろ、中心部をサービス別や用途別に異なるタイプの運営にするとよいのではないか。
- ・ 出張所機能を利用しているため、公民館等の統廃合を望まない。
- ・ 高齢化により必要な時に利用できないことを避けるため、立地等を考慮する必要がある。
- ・ 地域間の距離等も考慮すべき。
- ・ 利用者が少ない施設は、他の施設の機能と一緒に運営する等の方法を考えるべき。 など

(10) 公民館等の統廃合等に対する意向 【問 11】

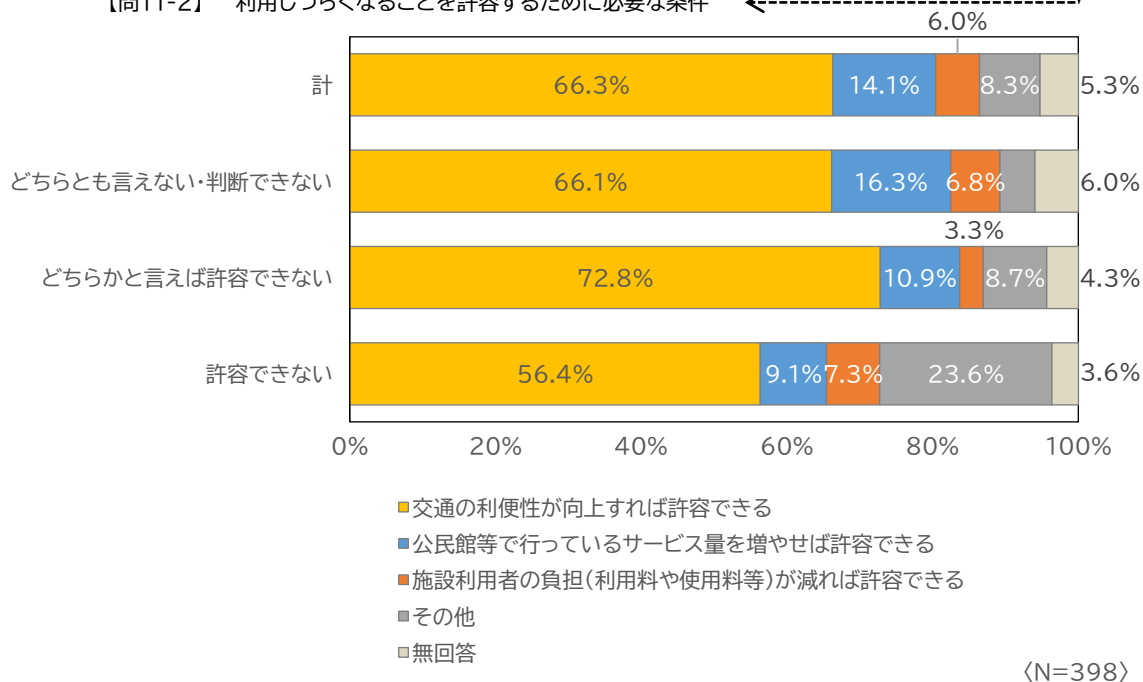
- 公民館等の統廃合等により、現在に比べて公民館等が利用しづらくなる場合に対して、許容できる方が約6割、許容できない方が約1割、判断できない方が約2割となっている。
- 利用しづらくなることに対して許容できる条件としては、約 3 分の 2 の方が「交通の利便性が向上すれば許容できる」と考えている。

- ・「ある程度は許容できる」が 47.1%で最も多く、これに「許容できる (14.7%)」を加えた 61.8%が〈許容できる〉との意向を示している。一方、「許容できない」は 4.8%であり、これに「どちらかと言えば許容できない (8.0%)」を加えた 12.8%が〈許容できない〉との意向を示し、「どちらとも言えない・判断できない」は22.0%となっている。
- ・「どちらとも言えない・判断できない」「どちらかと言えば許容できない」「許容できない」と答えた方に対して、利用しづらくなることを許容するための条件をたずねると、「交通の利便性が向上すれば許容できる」が 66.3%で最も多く、「公民館等で行っているサービス量を増やせば許容できる」が 14.1%、「施設利用者の負担 (利用料や使用料等) が減れば許容できる」が 6.0%となっている。

【問11-1】 公民館等の統廃合等により、公民館等が利用しづらくなる場合に対する考え



【問11-2】 利用しづらくなることを許容するために必要な条件



「その他」の主な回答

【3. どちらとも言えない・判断できない】回答者 (12)

- ・住民票を取りに行くと、本庁は待ち時間が長いから改善してほしい。駐車場が遠い。
- ・予約サービスの活用。
- ・同じ人しか利用しないものを必要とする理由とは？
- ・利用率の低いところを廃止し、その地区で反対が出なければそれでいい。
- ・私は利用していないのでどちらでもよい。答えられない。

【4. どちらかと言えば許容できない】回答者 (8)

- ・高齢者が困らない仕組み（代行や訪問など）が作られるとよい。
- ・IT化を進め自宅のパソコンやスマホ等で各申請ができるようにするとよい。
- ・交通に関する問題を解決するため、無料シャトルバスあるいは無料シャトルカー（乗用車）があるとよい。
- ・自転車、歩きで行ける範囲に公民館はあってほしい。
- ・運転免許を返納したら、公民館まで行けなくなるのが困る。
- ・施設が存在することで、その地域の安心や安全の担保になると考えているため、許容できない。

【5. 許容できない】回答者 (13)

- ・他地区はわからないが、自分の地区の統廃合は許容できない。
- ・統廃合しないで近くにあるとよい。
- ・身障者（軽度の人含む）や高齢者等の弱者が不便になってはいけない。
- ・年齢的に30分以上自転車をこぎ続けるのは大変。
- ・高齢者でも気軽に行ける距離になれば公民館の意味がない。統廃合を行うなら思いきって全廃し、中央に資源を集中させたほうがよいと思う。
- ・高齢者、若者、中年層すべてに対応するというのは難しいが、役所に向かうためには年齢に関係なく交通手段が必要である。それを解決していくのが先決であり、アンケートで決定すべき内容ではないと考える。高齢だから公民館に行けないというのは不平等である。それなら高齢者は小山市にいらないと明記して追い出すことがベスト。そんなことはできるわけもなく、してほしい。これはアンケートで検討する事案ではなく、公民館を継続するために市がどうしていくかの問題。何のために市議や市長がいるのですか？市民になすりつけないでほしい。

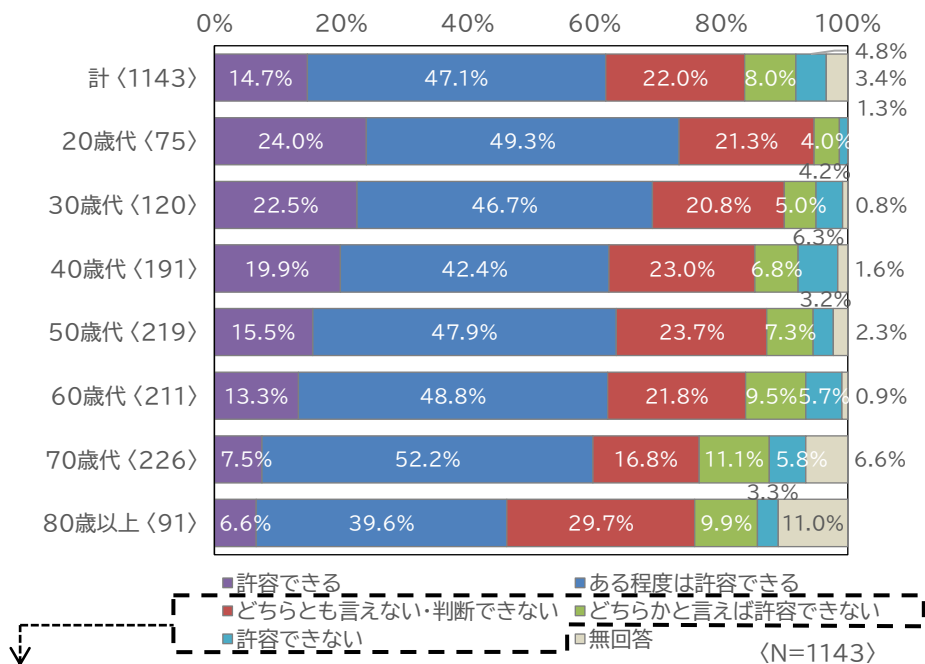
など

〈年代別・公民館等の統廃合等に対する意向〉

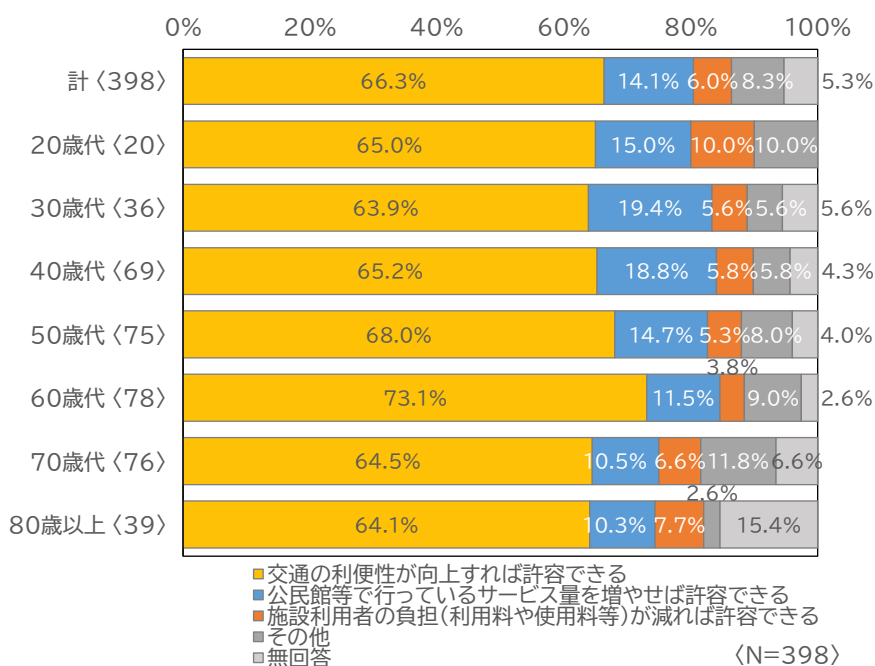
- 回答者の年代別に公民館等の統廃合等に対する意向をみると、年代が高くなるにつれて許容できる方の割合が小さくなっている。
- 利用しづらくなることに対して許容できる条件では、50～60歳代では「交通の利便性が向上すれば許容できる」が他の年代に比べてやや多く、30～40歳代では「公民館等で行っているサービス量を増やせば許容できる」が他の年代に比べてやや多くなっている。

- ・年代別に公民館等の統廃合等に対する意向をみると、すべての年代で「ある程度は許容できる」が最も多くなっており、これに「許容できる」を加えた〈許容できる〉との意向を示す方の割合は、「20歳代」が73.3%で最も多く、年代が高くなるにつれて、その割合が小さくなり、「80歳代以上」では46.2%となっている。
- ・「利用しづらくなることを許容するための条件」を年代別にみると、どの年代においても「交通の利便性が向上すれば許容できる」が最も多いが、その割合は「60歳代」が73.1%で最も多く「50歳代」の68.0%が続いている。一方、「公民館等で行っているサービス量を増やせば許容できる」は、「30歳代」が19.4%で最も多く「40歳代」の18.8%が続いている。

【問1】2)年代 × 【問11-1】公民館等の統廃合等の意向



【問1】2)年代 × 【問11-2】利用しづらくなることを許容するために必要な条件



〈居住エリア別・公民館等の統廃合等に対する意向〉

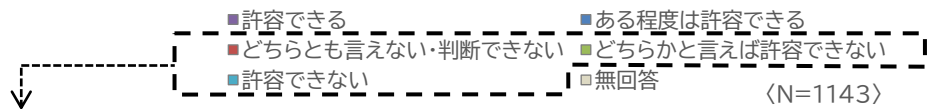
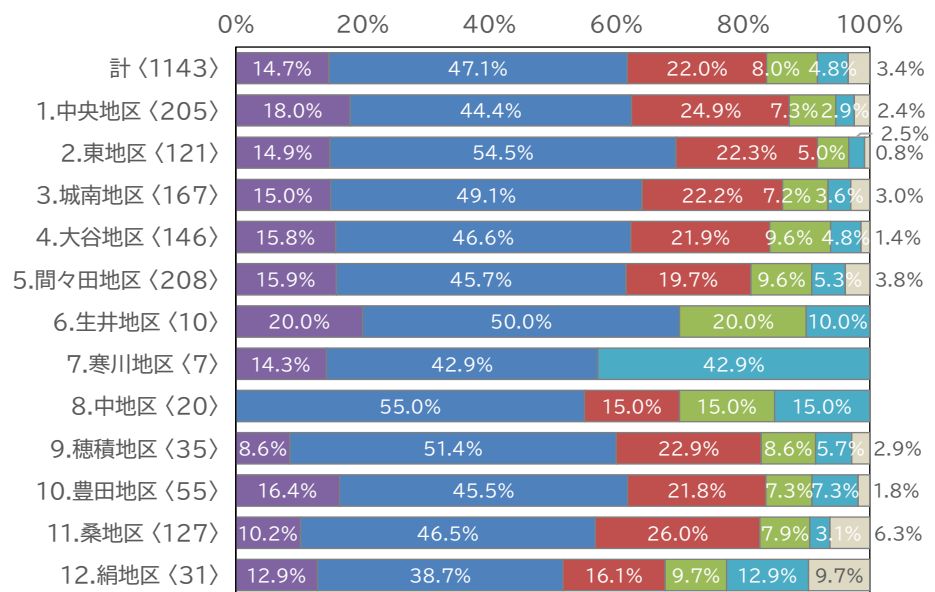
- 回答者の居住エリア別に公民館等の統廃合等に対する意向をみると、生井地区、中地区で許可できない方の割合が大きくなっている。
- 利用しづらくなることに対して許可できる条件では、絹地区、桑地区、穂積地区では「交通の利便性が向上すれば許可できる」が、東地区、中地区では「公民館等で行っているサービス量を増やせば許可できる」が他のエリアに比べて多くなっている。

・居住エリア別に公民館等の統廃合等に対する意向をみると、すべてのエリアで〈許可できる = 「許可できる」 + 「ある程度は許可できる」〉が過半数を超えているものの、「6.

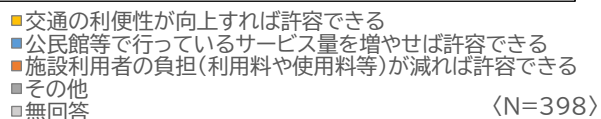
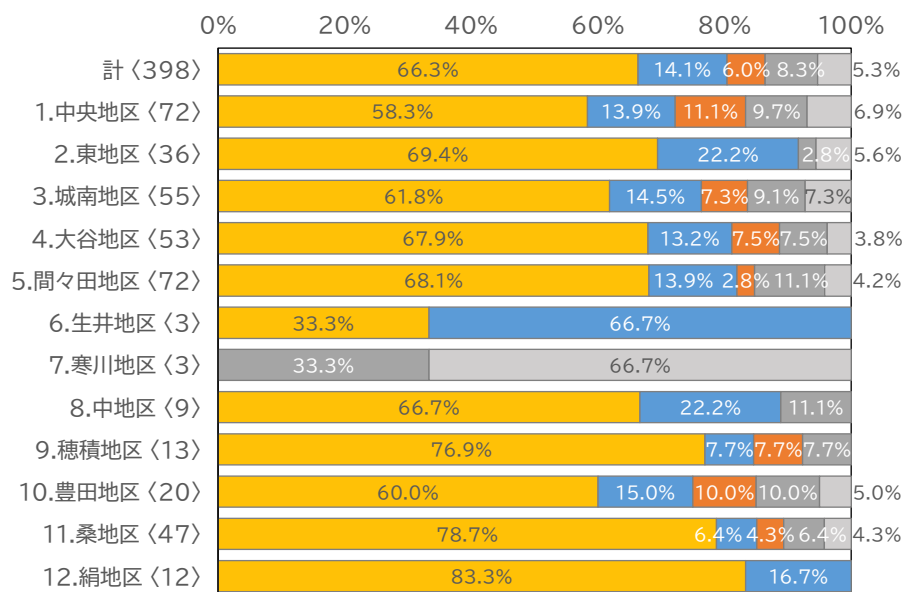
生井地区」と「8. 中地区」では〈許容できない＝「どちらかと言えば許容できない」＋「許容できない」〉が3割を占めている。

- ・「利用しづらくなることを許容するための条件」を居住エリア別にみると、「12. 絹地区 (83.3%)」「11. 桑地区 (78.7%)」「9. 穂積地区 (76.9%)」では「交通の利便性が向上すれば許容できる」が7割を超え、「2. 東地区 (22.2%)」「8. 中地区 (22.2%)」では「公民館等で行っているサービス量を増やせば許容できる」が2割を超え、他の地区に比べてその割合が多くなっている。

【問1】6) 居住エリア × 【問11-1】 公民館等の統廃合等の意向



【問1】6) 居住エリア × 【問11-2】 利用しづらくなることを許容するために必要な条件



(11) 公民館等に対する意見 【問 12】

- ・ 公民館等に対する主な意見（自由回答）は次のとおり。

■現在の公民館等に対する意見・要望

〔満足している意見等〕

- ・ 今は楽しく利用させてもらっています。
- ・ いつも丁寧な対応で好感が持てます。
- ・ 現在利用している公民館の皆様には親切にいただいている。
- ・ サークル等で利用させていただき大変助かっている。
- ・ 常に清掃が行き届いていて感謝している。
- ・ 市役所まで遠いため、近くで手続きすることができて便利ですし、市民の活動の場や図書（図書館も離れているので）など、すごく癒やされている。ありがたいです。
- ・ 活動は市報に入ってくるので見たことはあると思う。車がないため、よく見ていなかった。今近所のところで週一いろいろなことがあり自由参加なので時々利用させていただいている。その方が高齢者には便利です。
- ・ 近くに児童館がないため、子育て広場はよく利用した。月に 2 回程度しかなかったのもっと自由に行けるとさらに嬉しいと思う。
- ・ よい講座があれば参加してみたい。
- ・ すぐ近くに地区の公民館があるので便利だが、個人が借りる際の利用料がかなり高い。

〔サービスに関する要望等〕

- ・ 毎月決まった日に長年利用しているにもかかわらず、2 か月あるいは 3 か月前に予約をしに窓口に向かなければならず、その日に市役所の行事が入っているとそちらが優先され利用できない日があり不便している。
- ・ 施設（公民館の会議室など）を借りるため予約開始日前に空きの確認をしたら、すでに埋まっている状況がある。なぜ、予約開始前なのに埋まっているのか不明。常に利用する人が優先になっているようにも感じられる埋まり方となっている。
- ・ 対応をよくしてもらいたい。
- ・ 窓口での対応。記載漏れに注意してください。
- ・ 対応が悪い。昔より親切に教えてくれない。暗い雰囲気がある。
- ・ 利用回数は少ないですが、職員さんの活気がないように思った。
- ・ 間違えた手続きの仕方を教える係員がいる（係員も知らない）。

〔施設・利用方法に関する要望等〕

- ・ 駐車場が狭い。
- ・ 駐車場が狭い。駐車スペースを広げてほしい。
- ・ 何かしらサークルが利用しているようで、入口付近に駐車が集中していて短時間の証明書を受け取りだけの用で利用している身としては不満に思う。サークル活動の跡立ち話をされていて、車の横とか数人で入り口に一番近い駐車場を独占している。
- ・ すごくキレイに建て直していた公民館があまり使われず、そのまま汚くなっていた。
- ・ 外観からの判断になるが建物が古く、暗いイメージを持っている。もっと環境に配慮した明るいものにすれば利用者も増えるのではないか。
- ・ 備品等が粗末に扱われているのが散見される。市民の大切な財産ですので大切にすべきだと思う。

〔施設・サービスの利用に関する要望等〕

- ・ 気軽に使える施設ではない。制限が多い。
- ・ 魅力ある講座が少ない。
- ・ 講座等は資金の流れや内容をよく精査してください。
- ・ 個人情報指指導者たちで話が広がるのがイヤですね（サークルに行って感じたことです）。
- ・ 高齢者が多いイメージがあって何となく行きづらい。

- ・子ども・家庭向けよりは、年配の方向けの利用が多いイメージがある。
- ・お年寄りの人や年齢の高い人が使用しているイメージがある。
- ・年寄りだけの公民館となっている。平日の講座やイベントと言う時点で利用者は限られる。
- ・高齢者向けの娯楽というイメージしかない。若い人は公民館にわざわざ出向こうとしないため、工夫すべきかもしれない。
- ・公民館で開催される講座等は、高齢者向けに思われて参加しにくい。(だんだん OK な年齢に近づいていきます)
- ・一部の人間、特にお年を召した方々の我が物顔が目立ち、若い世代はとても近寄れない。このご時世に昭和の考えは古い。若い人も利用したくなるようにしないとならない。
- ・子どもが高校に進学して公民館に行く機会がなくなった。
- ・今までも利用したことがない。今後も利用することはないと思う。
- ・今は専業主婦で丸一日家にいる人はほとんどいない。公民館に行く時間をわざわざつくらないと利用できない。ましてや講座なんて興味すら持てない。自分の地区を今回初めて知った。

〔広報に関する要望等〕

- ・公民館等で行われているサービスやイベント等の情報を知る術がわからない。ホームページもわかりにくい。
- ・公民館を利用される内容の実例を挙げて教えていただきたい。利用してみたいと思うが曖昧なため、自分の中で選択肢に入らずに今日に至っている。
- ・なかなか公民館の施設利用方法などについて市民全員が知らないと思う。
- ・公民館で何をしているのかが、そもそも分からない。ニーズに合ったものなら利用したいと思うが、敷居をまたぎづらい。
- ・公民館の役割がわからない。地域の連帯感を醸成するなどの目的があるかもしれないが、実態は高齢者の集まりの場になっているのではないか。若い世代に公民館とは？と聞いても何のためのものかもわからない。無駄なものはコスト削減してもよいのではないかと思う。

〔具体的施設に対する意見・要望等〕

- ・新しい市役所は駐車場が坂道で遠いため、以前の時より不便な上、時間（利用が終わるまで）がかかるため、出張所や各公民館は減らさないでほしい。
- ・中央公民館を主に利用しているが、老朽化していてもきれいに管理されているので不便は感じない。利用料金も安くありがたく思っている。
- ・中央公民館について、建物の老朽化を感じる。図書館やホール等を利用する際に、特に感じる事が多く、コンサート等他市町村の方が音響や設備などが整っていると思う。また駐車場の整備も利用しやすいようにしていただきたい。
- ・中央公民館は、喫煙スペースが入口に近く、撤去してほしい。
- ・小山東出張所は行政手続きで年に数回は利用している。外壁を塗り替えてほしい。
- ・城南地区には小山城南市民交流センターがあり重宝している。
- ・ゆめまち（小山城南市民交流センター）やマルベリー館（桑市民交流センター）などを使用させていたでている。とてもきれいで働く方々も気持ちよく接してくださり大変ありがたく、感謝している。今後ともたくさん利用させていただければ嬉しい。
- ・ゆめまち（小山城南市民交流センター）は、他の公民館とは運営方法が違うので他との比較は難しいと思う。
- ・大谷公民館はとても立派だが、市民が集まるようなイベントなどを企画してほしい。30代の私たちはあまり縁のない場所だと感じており、一部の市民に偏らない運営を望む。
- ・市役所の市民課はすごく混むため、住所移動などの手続き時にしらさぎ館（間々田市民交流センター）があつて助かった。
- ・いつも息子に車を運転してもらって、「しらさぎ館（間々田市民交流センター）」を利用させてもらっている。何でも親切に教えてくださって助かっている。本庁は待ち時間が長く、体の悪い私としてはとてもつらい。
- ・間々田地区や城南地区に市の様々な施設が偏って設置され、(公的機関、病院、美術館、警察、消防署) その他の地域から利用するにはバスは乗り換えや交通費がかさみ、その他のエリアのものには負

担が大きい。

- ・しらすぎ館（間々田市民交流センター）の広場に子ども用の遊具があるとうれしい。
- ・三峯地区は中央公民館まで徒歩 10 分、城南市民交流センターまでは徒歩 35 分かかります。なのに、三峯が城南地区に入っているのか？おかしいです。
- ・現在、犬塚青少年ホーム体育館で卓球をやっているが、高齢者が多いため、自己負担等は難しいのではと思う。24 年間卓球を続けられたことに感謝いたします。
- ・結城市駅前の子育て支援センターみたいなものがあればうれしいです。

など

■公民館等の再編に関する意見等

〔主に統廃合等の検討に慎重な意見等〕

- ・いつまでも市民とともにあり続ける施設であってほしい。
- ・公民館は皆が利用しやすく開放され、できるだけ維持してほしい。
- ・公民館がひとつでも多く残るよう願う。
- ・できれば減らさないでほしい。
- ・統廃合などと摩擦が必ず起きることを考えずに、今までの施設を最低限の費用にしぼって存続することが望ましい。
- ・財政難は理解できるが、行政サービスの低下はできるだけ避けたい。
- ・公共サービスは必需であり、充実を図り存続を望む。
- ・公民館の統廃合により行き場のない方が増える。
- ・公民館は、市民にとって便利に使われている。近くなくなると、年寄りには不便に感じる。
- ・身近にある公民館は便利で効率もいい。また、何か相談事も相談しやすい。市役所に相談となると、少し躊躇してしまうが、その一手手前に身近に存在する、という公民館の立場がいいのかな、と思う。実際に、市役所ほど混んでなく、ゆっくり親身になって詳しく丁寧に教えてくれたりアドバイスもしてくれる。周りにたくさんの方がいたら気まずいこともある。
- ・公民館を利用する方は、お年寄りの方が多いと思う。統廃合するならば、他の公民館に行く利便性もよくしないと、お年寄りの方々の交流の場所がなくなり、ボケなどにつながるような気がする。実際、母は老人会などでご近所の方々と集まって、お茶して、おしゃべりして…楽しく過ごしているようです。
- ・地区の公民館は短時間で用件を済ませることができ、またサークル、イベントなど地元の人に利用しやすいため必要だと思う。
- ・私もいつか介護などのサービスを受けることとなるため、近くに施設があるとよいと思う。
- ・今後、更に高齢化が進む中、人と人との交流の場が重要となってくると思う（各地域の公民館の有効活用）。
- ・高齢者が増えてくるため、高齢者も活用できるサービス等を増やしてほしい。高齢者への参加呼びかけなどを積極的に。
- ・高齢化が進む中、行政サービスはもちろんのこと、身近な公民館の活用は不可欠である。
- ・高齢者が多い地域は公民館の廃止は行うべきではない。
- ・利用したくとも交通手段がなかったり、身体の自由が思わしくない人等が多くいると思う。私もその一人です。
- ・若い人は車で行けばいいが、歩きや自転車のお年寄りの方のことを考えると、公民館で行っているサービス料を増やせば統廃合等については許容できる。もっと使用する人が増えてくれば変わると思う。それを生きがいにしている人もいるし、地域とのつながりも大切だし、若い人たちがより自分たちの住む場所に興味をもつことで将来の人口、お金が代わると思う。若い人たちがもっと身近に利用できるようになってほしい。
- ・市役所から遠いところは公民館等を残してほしい。
- ・窓口での手続きが福祉課など本庁へ行かないとできないことが多いから。
- ・人口比や利用率、維持管理費の負担増などを理由に地方の公民館を統廃合するのには反対。上下水道も整備されず、中心部と地方の生活の差が広がる。中里集会所の廃止が決まっており、公民館まで廃

止になってしまうことには反対したい。

- ・間々田地区は現状のままで良いと思っている。
- ・絹地区は小山市の一番北の端で過疎地。絹農協がなくなり、絹公民館がなくなると絹地区の人たちは本当に不便になり、私達年寄りも勿論、そして絹地の住民は困ることになる。絹公民館は残していただきたい。
- ・現在は50代ですが、いずれ60、70、80歳と年をとると、自宅から遠い施設でのサービスが受けられなくなる。小さくても近くに公民館があってほしいと思う。
- ・今は都内に働きに出ており、利用する時間はないが、定年後に利用したいと思っているため、うまく存続できるようにしていただきたい。
- ・40代である現在はあまり使う機会がないですが、自分がもう少し上の世代になったときに利用することが増えるかもしれないので、減りすぎてしまうと困るのかもしれないと感じた。

〔主に統廃合等の検討に前向きな意見等〕

- ・公民館は不要だと思う。
- ・公民館等の維持の前に必要性から見直すことが重要ではと考える。
- ・社会状況の変化により、統廃合はやむなし。
- ・現代社会において過剰な公民館等は不要である。
- ・昔の常識を捨てる勇気を持っていただきたい。
- ・古いしきたりは削除して良いと思う。公園にした方が良いと思う。
- ・現状の公民館にあまり魅力を感じてない。個人的には公民館は必要と思ってない。
- ・運営費を考えると、整理して新たな活動を取り組むべきだと思う。時代におけるあり方を見直す必要がある。
- ・12カ所もあることを知らなかった。エリアを広くとって少なくしてもよいと思う。
- ・出張所は時々利用するが、公民館利用は個人的に全くない。大谷地区に関しては、住民と公民館の接点はほとんどないように思われ、公民館の存在意義が不明瞭と実感している。
- ・学校が各地域にあるのだから、わざわざ税金をかけてまで公民館を維持しないといけないとは思わない。市役所等を使えばよいと思う。
- ・行政代行窓口としてコンビニがある。公民館の施設利用について、必要性の低下は重要視されていない。その利用価値の評価は低いと思う。
- ・書類の発行だけならばコンビニでもできるようになったため、普段の利用頻度はそこまで高くないのも事実。経費がかかってしまうのが税金を圧迫するのであれば、統合や廃止もやむを得ないと思う。
- ・平日は働いている私としては、公民館数が減少しても、休日対応してくれる施設が増えればよいと思う。
- ・災害時（水害時など）に使用できない公民館は廃止すべき。
- ・昔と違い交通の利便性は上がっているため、古くなった公民館等、減らしていても問題ないと考えられる。
- ・公民館までの行く手段があれば、ある程度集約して充実した施設になればよいと思う。
- ・老朽化、利用者の低下、維持コストに問題があるのであれば、公民館の必要性を感じない。
- ・お金をかけても使われない、使わないなら土地もムダだと思う。駐車場（コインパーキングなど）のほうがまだ良いと思う。
- ・必要があれば行くのが当たり前。必要がないのならば新しくつくる必要はないと思う。市民に責任を押し付けすぎ。老朽化し、必要ないなら壊してください。
- ・公民館はだんだん利用する人が少なくなっていると思う。人が集まる機会もなく、お金もかかると思われ、減らしていったほうがよいと思う。
- ・行政書類の取得にはしっかり対応していただき、施設を利用している個人・団体は偏っているので統廃合してください。
- ・ニーズがなければ廃止してください。利用者負担がよいと思う。「あれば便利」は負担増になる。
- ・利益率や使用率の悪い施設はなくしたほうがよい。
- ・利用者数の少ない施設は統合・廃止していくべき。その分の予算・人員を利用者数の多い施設に充て、そちらのサービスを充実させてほしい。

- ・働き手等を考えると統廃合するのは仕方ないと思う。
- ・維持費用等の観点から、あまり使われない公民館や公共施設であれば廃止・統合などを検討していいのではないかと。
- ・統合などを行い、空いた施設は改修して学童などに利用すればよいと思う。施設は広く、駐車場もあり送迎などもしやすい。改修費はかかるかと思うが、多少の費用は保護者らの月謝から回収する。多少の出費があっても保護者は安全な場所での児童預かりを望んでいると思う。
- ・施設を複数持つ必要はなく統合したほうがよい。その代わり、スペースを広げて、高齢者や子どもが利用できるように公共交通手段を充実させる。なるべく自動化して人件費は抑える。維持費のかかるマシンなどは置かない。外国人も気を遣わなくてよいような使用の仕組みにしてほしい。
- ・人口が少ない地区などの公民館は近くの公民館と統合し、お年寄りや身体の不自由な人には、職員がサービス送迎するなど今までよりもよりよいやさしい対応をしてほしい。
- ・統廃合で近くにサービス提供施設がなくなり利用しづらくなるということについては、一個人が年におそらく数回しか利用しないであろう施設に対して「なくなったら不便だ！」という意見は無視すべき。
- ・若い世代が産むことを強要され、増税で苦しみ、さらに使用する暇もないのに施設の維持費を払わされるのは納得できない。
- ・税金の負担も大きく、加えて物価高の影響もあり、手取りが減っている状況も踏まえれば致し方ない。
- ・基本的には不要と思っているため、逆に必要である根拠を示してほしいと思う。
- ・公民館を残すなら根拠を示してください。

〔統廃合等の検討の必要性を判断できないとの意見等〕

- ・正直、私はあまり利用しないのでわかりません。
- ・公民館は利用したことがないので、本来の公民館の役割や意味づけが自分にははっきりわからない。

〔検討を行うにあたっての留意事項等に関する意見等〕

- ・統廃合や規模の縮小はやむを得ないが、最低でも行政の機能は残してほしい。
- ・公民館は地域住民の交流の場でもあり、地震や洪水等の自然災害でも重要な役割を持つ場所でもあるため、施設の充実および更新を進めるべき。しかし、必要以上に効率性を求めるべきではない。
- ・老朽化した建物の改築を進めるとよい。
- ・行政サービスの出張所は必要だが、公民館にそれほど税金を使う必要はないと思う。
- ・現状 12ヶ所ある公民館の利用頻度の中身を把握し、その地域の費用対効果を考え、行うべきだと思う。利用客数、駐車場、建物の周り、管理状況など最低限のチェックをしてください。
- ・今は会社に属さず活動される方が増えているが、埋もれてしまっている。その力がうまく発揮できる場があると市に還元され、外からも人が来るようになるのではないかと。そして、それが税源になれば皆にとってよいと思う。皆が得意分野を発揮すると幸福度も上がる。栃木第2の都市の小山市ってすごい！とモデル都市になってほしい。
- ・仕事をしている時はあまり利用できないが、退職後、高齢になった時に生活を支えてくれる場であってほしい。
- ・所詮全員から満点をもらえる解決策はあり得ないため、現実的にできる案を丁寧に利用者全体に説明していくことが大事だと思う。
- ・皆で知恵をしばり、いかにコストをかけずに利便性も損なわない公民館のあり方を考えていくべきだと思う。住民も自らの便利さだけの追及ではなく市の将来を考えてうえで本当のあり方を考えなければならぬと思います。

〈講座・イベント等について〉

- ・公民館を利用している状況を精査し、住民のための利用がどれだけあり、その必要性がどれだけ価値ある利用かを見極めるべきだと思う。公民館の本来の目的が、現代社会に合致した考え方も疑問。一方的な押しつけの講座や人集めに苦勞するレクリエーションも、公民館があるが故に誰かがやる必要があるのでは。情報化の現代、教育・文化・健康全てに手法を変えて取り組むべきかと。公民館の施設に足を踏み入れたことのない住民がどれほどいるのか。スマホで講座を開設したほうが参加者が増えることもあり得るのでは。

- ・効率化を考えた運営を望みたい。
- ・利用者の少ないイベントはやめるべき。
- ・講座関係の事業について、利用者は片寄りが見られ、すべての公民館で同じような講座もある。これらを統廃合することで各公民館の規模を見直すことは可能だと思う。
- ・社会教育・生涯教育・高齢者予防介護等のイベント講座を利用したいと思っているが、場所は公民館でなくてもよいと思う。交通利便性の高い場所をお願いしたい。図書館や社会福祉協会等との連携でもよいのではないだろうか。

〈費用負担について〉

- ・公民館の機能を明確にして自治体と利用者の費用負担を見直すことが重要だと思います。
- ・サービスの提供とあるが、提供を受けた人が対価を支払うのが当たり前であり、サービスを受けてない人や必要がない人からも徴収するような選択肢があることに驚いた。

〈行政サービス・施設運営について〉

- ・人口減少時代を見据え、これまでと同じ行政サービスを望むことは考え直さなければならないと思う。公民館は地域の社会教育への活用のため、地域又は民間で運営することも考えてはどうか。
- ・今はコンビニでも住民票等を取れる時代であり、公民館に行政サービスは不要と思う。業務を精査し、本当に必要なサービスのみ限定するべきである。このため、社会教育や生涯学習の場としての提供のみにしたほうがよいと思う。人口減少時代に行政の人数も限られる。より精査が必要であり、民間でできることは民間に任せたいと思う。
- ・民間委託を検討すると良い。必ずしも市職員を使う必要はない。とにかく人件費の無駄を省くべき。
- ・民間施設等との統廃合・移転・新設に対しては、市街地中心の空洞化・利便性がよくない状況が生じないような立地条件を満たしてほしい。
- ・公的施設という考え方ではなく、地域のニーズに応じて商業ベースに変化していく施設という方向性が必要。
- ・行政サービスは、地域のコンビニや郵便局に委託してもよいのではないかと。

〈維持管理等について〉

- ・使用してない車が多い。地域の住民が集まれる場所、交流できる場所になってほしい。
- ・維持管理に関する人員不足、コスト不足に対してはテクノロジーを活用した無人化、自動化と利用率の低い施設の統廃合を丁寧な説明とセットで行なっていくことが大事だと思う。

〈地域バランスの確保について〉

- ・(小山市においての) 公民館はあまり身近に感じられる施設とは、個人的に思わない。統廃合を行い地域バランスのとれた施設の配置を望む。
- ・利用する際の負担について、施設によって負担割合を変動させるのはどうか。城南などは施設も立派で利用者も多そうなので利用者の負担を増やしてもよいと思うが、豊田のような過疎エリアは負担がないほうが地元民の利用促進につながるのではないかと。
- ・公民館が必要な地域もあると思われるため、注意して検討を進める必要があると思う。
- ・一部の地域の方だけに、負担がかかってしまうようなことにならないようにしてほしい。
- ・統廃合する上で、できるなら地区と地区の境目くらいに公民館があるとよいと思う。

〈交通利便性の確保について〉

- ・統廃合が行われるのであれば、廃止された地域に住む人が新しい施設に行きやすくなるようバスなど公共交通機関も変えていく必要があると思う。
- ・敷地内にテナントを募集(コンビニ、食堂、喫茶)することで利便性と地代收益が見込まれる。地域住民の生活に直結するものは費用をかけても守っていくべき。

〈防災機能の確保について〉

- ・防災拠点としての存在意義を高めていただきたい。
- ・自然災害の多い昨今、災害避難場所としての公民館の機能はどう担保されるのか。公民館が統廃合された場合の災害避難場所の周知・運営は大丈夫なのか不安に思う。

など

■公民館等の運営に関する意見等

〔広報の充実等に関する意見等〕

- ・周知徹底が必要。
- ・公民館の運営、サービス内容を広く市民に情報公開する。
- ・どんな活動をしているかよくわからない。
- ・公民館で実施している活動、及び市民がどのように利用できるのか市民に発信が足りず、浸透していないように見える。部屋を間借りしてサークルなどの活動を行えることは、少なくとも公式ホームページを調べるまで知らなかった。
- ・利用できる対象者が多い施設であれば、それに気づいていない知らない人も多いため、情報を発信して知ってもらえば利用や活用が増えると思う。
- ・公民館で行われるイベントの広報活動は極めて重要だと考える。実際に、私は公民館でこういった活動が行われているのか不明であり、知るための手段もまた不明。地域の情報誌を使ってわかりやすく広報する必要があると考える。
- ・開催されるイベントの情報をわかりやすく発信してほしい。
- ・何のイベントがあるかわからないため、発信してほしい。
- ・イベント活動自体がもっと市民にわかるようにしてほしい。
- ・公民館で行われるイベントや講座・行事などを周知する力をもっと上げれば、人の目に付き利用者が増えるのかなと思う。
- ・公民館で何がいつ行われているかわからなかった。学生にはなじみのないものだと思っているので、もう少しPRしてほしいと感じた。
- ・子どもなし共働き世帯は公民館を利用する機会がないが、子どもができれば、もしくは、老後は利用頻度が上がると思う。現在そこにアンテナを張っていないだけかもしれないが、インターネット上（できれば、X（旧 Twitter）、Instagram）でイベントの発信をすると情報をキャッチしやすいと思う。
- ・住民票や納税手続きなどでしか利用したことがなく、他にどんなことで利用できるのかさえ知らない。子育て支援や高齢者支援のほか、それらに該当していない年代は他にどんな利用方法があるのか？もう少しアピールが必要ではないでしょうか？
- ・公民館の設置理由・使用等の資料が何もない、案内がないので何もわからない。アンケートの前やることあるのではと思う。
- ・他の公共施設と併せた運用について、説明・広報がほしい。サービスによっては代わりもできるのでは。

〔インターネット利用サービスの充実等に関する意見等〕

- ・インターネットから申請できるものを増やしてほしい。
- ・公民館の統廃合などにより施設数が減少し、高齢者等が利用し難くなることに備えて、出張サービスやオンライン、電話などでの活用方法を周知してほしい。現地へ赴くことなく利用できれば施設の維持コストはかからない。高齢者でもスマホ年々増えているため、便利なサービスをどんどん広め、家族がサポートできるようにしてほしい。
- ・インターネット予約ができるように統一してほしい。
- ・インターネットでの予約を検討してほしい。

〔機能・サービスの充実等に関する意見等〕

- ・市民どなたもが気軽に使用できることが望ましいと思う。
- ・通いの場、集いの場と思える施設になったらいいと思っている。
- ・若年層や高齢者が来やすい施設を目指してもらいたい。
- ・利用のしやすさを求めます。
- ・公共の施設は利用しやすいよう意外と利用しにくい面もあると思うのでハードルを下げてほしい。
- ・利用しやすい公民館であるべきと思う。総合的なサービスの提供と交通機関の充実が望まれる。

〈講座・イベントの充実について〉

- ・講座の種類を増やしてほしい。

- ・70歳以上を対象とした講座を充実させてほしい。
- ・社会教育主事による講座・イベントにしっかり取り組んでください。
- ・年寄りばかり優遇するな。つまらないイベントや企画は減らすべし。それが若者が行かない理由の一つだと思う。
- ・野外イベントなど市民が楽しめるようなイベントを行うべき。若者が楽しめる公民館づくりが必要。
- ・人を呼び利益を生むイベントの開催。例) 高齢者向け～昔の名作映画の定期上映(500円/人)、若者向け～オンラインゲーム大会(公民館を本部に)商品あり。
- ・公民館祭り等でも集客、収益となる内容を模索し、活気ある公民館となるにはどうすればよいかを検討すべき。
- ・料理教室やイベントの種類を増やしてほしい。
- ・もっと市民が楽しく参加できる活動の場を持ってほしい。料理教室は、今までは曜日が決まっておらずいずれも参加できていないが、味噌、うどん等を高齢の方から習いたい。
- ・日曜・祝日・夜間のイベントを増やす。料理教室や親子でストレッチ、リズムダンス教室等。栃木市の蕎麦打ち教室は多くの人が参加している。行政は残業したがるので、嫌なのではないか??
- ・スポーツのサークルがあるとよい。
- ・親族に寒川地区の者がいる。できれば防災・減災の講座を実施してほしい。

〈行政サービスの充実・適正化について〉

- ・近くにあつて本庁の機能を補足可能であればよいと思う。
- ・間々田市民交流センターで申請手続き等利用したことがあるが、一部の手続きは市役所まで出向かないと完結できないものがあり、中途半端な印象を受けた。
- ・主に行政サービス・情報収集で公民館を利用しているが、交通利便性が高い駅や駅ビル等で休日も含めて、行政サービス・情報収集が利用できれば助かる。
- ・住民票などはコンビニで取れる。
- ・行政サービスは郵便局に併設すればよいのではないか。
- ・地区図書館があるが、もう少し高齢者も簡単に本館の本が地区で借りられるようになるとよい。

〈ハード面の工夫等について〉

- ・避難所機能を備える。
- ・通信サービス等の拡充をすれば利用者は増えると思われる。
- ・無料で自由に勉強ができるようなスペース(机と椅子が置いてある場所)がほしい。
- ・大人も子どもも勉強できる机や椅子など増やしてほしい。
- ・子ども達が安心して遊べる施設や学生がいつでも学習できるスペースなどがあると、親も安心して仕事ができる。高齢者の集いの場としても使ってもらいたい。
- ・人が集まる場所にするためにカフェなど高齢者でも利用できる場所があるのいいと思う。バリアフリーだし駐車場もあるし。
- ・若者が運動できる場所がほしい。
- ・子どもがいる家庭は、交流の場や雨の日の遊び場などがあると助かる。他の市町村には屋内遊具が豊富な公共施設などがあって羨ましい。
- ・現在の公民館は古くて暗い印象がある。新しくなった市役所のように、明るく清潔な空間で、調理室などがあつたり、子連れ(赤ちゃん)でも集まれて、レンジなどがあり離乳食を温められたり、飲食できるスペースなどがあれば嬉しい(ママ友と赤ちゃん連れで気軽に集まれる場所が少ないため)。
- ・公民館の敷地内にコンビニやクリニック等があるとよいと思う。
- ・中央公民館のように、コンビニエンスストアや売店があると助かる。
- ・小山市の中心部とそれ以外とで利用客の年齢層やニーズが異なる場合があると思われるため、併設する場合の施設も、中心部ではカフェや物販、農村地域は高齢者が多いので介護施設や食事デリバリー等、ターゲットのニーズに合わせた施設があるとよいと思う。
- ・入館者の意見箱を置いて意見を聞くとよい。
- ・場所(受付など)がわかりやすくなるように、もう少し大きめの案内板があるとよいと思う。
- ・テーブルなど出し入れせずに使用でき、掃除などもやりやすいほうがよい。劣化が早い畳などではなく床がいいと思う。

〈若い世代・子育て世代の利用促進について〉

- ・若い世代にもっと利用していただきたい。
- ・子どもを育てている人々も利用しやすいといいのではないのでしょうか。
- ・子どもや子育て世代を対象にしたイベントを充実させてほしい。
- ・子どもと参加できるイベントがあると嬉しい。
- ・子育てイベントをたくさん開催してほしい。
- ・子ども教育（体操、音楽など）の施設利用について検討してほしい。
- ・今は仕事をしているが、辞めたら公民館などで行われている講習会などに参加してみたいと思っている。公民館と言うと、年を取った人達が集まる所みたいなイメージがあるため、若い人達が集まるイベントが増えるといいなあと思う。
- ・公民館は子どもも利用する、利用したいと思える施設にしてもらいたい。小学生から高校生までが利用できるようにすれば意義があるのでは（公民館として）。
- ・大学生をはじめとする若い人たちの自由な活動を支援する企画を進めてほしい。
- ・学童保育や放課後デイサービス、家庭での食事管理が困難な子ども達へのサービス等に公民館等を利用できればよいのではと思う。今ある「まなびの広場」等の利用も続けてほしい。
- ・外で遊ぶには寒さが厳しくなり、室内遊びの需要が高まる季節となった。カードゲームやボードゲームをはじめとしたテーブルゲーム（例：トランプやオセロ、人生ゲーム等）は複数人が部屋の中で行う遊びであり、ある程度閉鎖されたスペースを必要とする。昨今多種多様なテーブルゲームが発売され、若者の間で人気となっており、それらのユーザーは遊びの場としてボードゲームカフェ（ボードゲームの貸出及び持込を行い遊べるカフェ）やカラオケ店（歌う訳ではなく、場を借りてゲームで遊ぶ）を選んでいる場合が多い。このような場を借りたい人は潜在的に存在し、カラオケ店なども積極的に受け入れるなど需給の拡大を肌で感じている。そういった需要を満たすため、若者向けに安く利用できるスペースとしてアピールすれば、公民館の利用は増やせると感じる。

〈高齢者の利用促進について〉

- ・独居の高齢者がちょっとした居場所として気軽に利用できること。どちらかという一番子育てに大変なママたちの憩いの場、ストレス発散、子育ての仲間が会える場になればと思う。若い世代の利用が少ないように感じる。
- ・高齢者の居場所づくり。例：囲碁将棋は毎週 40 名程度参加している。シルバ大では卒業生の趣味等の集まりを楽しんでいる。
- ・麻雀（健康麻雀）などやってほしい。

〈その他の視点〉

- ・仕事に追われる割にはプライベートに回す時間も金もない現代人にとって、公民館が行う暇を持て余す老人向けや幼児向けの時間つぶしの学習講座など自分の時間を使う選択肢に入らない。これは余裕があるから普通に生活が送れている人たちができることであって、そうでない人は暇つぶしの前に生存が重要になっている。このため、公民館にはその場しのぎでもよいので、役所の専門窓口やブラック企業の情報が蔓延するハローワークより生存に直結する何らかの方法を提示できる場であってほしい。

〔運営方法の見直しに関する意見等〕

- ・存在感が薄い。維持が難しいのであれば、業務をスリム化し、本来の存在目的を必要最小限度果たせるようにすべきではないか。
- ・利用者がいない待機時間が多いと思われる。遠隔での対応等を検討してはどうか。
- ・かつて特定管理委託をしていた生涯学習センターが良かったので戻してください。

〈ニーズに対応した利用時間について〉

- ・行政手続きについては、毎日でなくても決められた日時で時間が長くやれるのであればよいと思う。
- ・もっと柔軟な対応で、17時以降も使用できるように
- ・行政手続きの平日の時間をもう延長するか、土日でも利用できる場所を増やしてほしい。仕事がカレンダーどおりの職場であるため、仕事帰りは利用時間は終わっており、土日は公民館が開いてないため仕事を半日休むしかない。

〔収益性を考慮した運営について〕

- ・健康な生活を送れている間は使うことのない市役所も、歳を取ると福祉に頼る機会が増え、色々と公民館へ手続きに行くと思う。税金だけで運用するのではなく、公民館自体がお金を生むことがあってもいいのではないのでしょうか？一般企業と同じようにサービスを提供して利益を得ることも考えるべきだと思う。
- ・これからは有償ボランティアの時代であり、市の負担のみで存続することは無理だと思う。材料費のみを払う市民講座ではなく、ある程度徴収し市へ還元するなどお金を生み出す必要がある。そんな講座のアピールをしてほしい。
- ・なしでもよいし、使う方が負担へ。老人はデイサービスを利用へ。
- ・利用料や使用料等については、市民人数や利用者人数やその時の国内経済状況により考慮すべき。
- ・公共の場所であるが、維持していくためには利用者の多少の負担は致し方ないと思う。しかしながら、現在自身が利用していないため、そのような考えに至るのかもしれない。利用者の声をよく聞いた運営をお願いしたい。
- ・使用料金を負担してでも利用可能な談話室、学習室等があればよいと思う。
- ・公民館であろうとも適正な料金を支払うのであれば、もっと小山市民が関わる民間企業であるなら自由に利用できるようにすべき。利用者が小山市民であれば、商業利用であっても結局は市民生活の質向上につながる。市民から住民税を徴収している以上、市民1人1人の所得向上に小山市として貢献するのは当然の責任である。
- ・もっとPC講習など業務関連の企業とコラボして運用できないか。

〔施設予約の利便性向上について〕

- ・市民だったら、どこの公民館でも、もっと借りやすくして頂きたい。予約がとりにくい。
- ・年間利用登録していなくても、突発的な集会でも利用できるとよい（会議室や和室）。

〔施設スタッフの適正化について〕

- ・高齢者を雇用することはよいことだと思うが、利用者に対して高圧的、横暴に感じるような態度をとる人が多い気がする。職員の教育はしているのでしょうか？
- ・公民館は地域住民の教育やコミュニケーション等、繋がりを広めていく場所です。もっと行政（市）職員が積極的に指導者として行ってほしい。特にコロナにより教育や繋がりが衰退化している。頑張ってほしい。

〔交通便利性の向上に関する意見等〕

- ・自家用車がなくても利用できる施設であるべき。赤ちゃんを連れて、杖をついて交流できるとよい。
- ・公民館の統廃合は賛成だが、高齢者に交通の利便性を向上させてほしい。オーバスの回路時間を増やしてほしい。
- ・老人のことを考えると統廃合等は厳しいと思われる。バス等の数をもっと増やすことができればと思うけれど、老人はバスに乗るのも難しい。
- ・「交通の利便性」に関して言えば、おーバスの便数をもっと思い切って増やすと良いと思う。便数が少ない→時間の無駄が発生するから利用しない→単価が高い。の悪循環ではなく、便数を増やす→時間を気にせず利用できるならひんぱんに使う人が増える→単価が安くなる→もっと利用が増える。
- ・統廃合により、交通アクセスが難しい方が多くなるかもしれないが、そのためのコミュニティバスだと思う。バス利用者は100円割引してもよいと思う。
- ・バス時間を増やしてほしい。
- ・必ず午前、午後オーバスが停まるようにする。
- ・イベント等へは送迎バスがあれば、統廃合しても高齢者は不便ではないのではないかと思う。
- ・高齢者にとっては交通の利便性が最も望まれる（2024年2月免許返納予定）。
- ・現在は車に乗れるので遠方でのイベントや講座に参加できるが、免許返納の時期になると、タクシー等を利用しなければならない。地域の公民館があると、歩いて行けるので助かります。
- ・私の住むエリアはバスもなく、タクシー利用は高額になり、自家用車がなければ何もできない。現在すでに高齢化が進んでいるが、その多くが自家用車の運転を続けているし、私たち世代も将来が不安。交通の利便性向上を対策してもらえれば、公民館の統廃合だけでなく、その他の多くのことが解決できると感じている。

- ・小山市は車を持たない人にとって住みづらい都市だと思う。公共交通機関（バス）は2時間に1本くらいしかなく、公民館まで行けない状況になっている。他の人に車の都合をつけてもらおうと利用づらい。
- ・来年より大谷公民館の移動に伴い、犬塚よりのオーバスの運行を望みます。

など

■その他の施設整備に関する意見等

- ・小さい子どもも遊べる施設をもっと増やしてほしい。
- ・公園などは、一部の意見に流された整備に感じる。犬の糞だらけ、遊具使用禁止など酷すぎ。
- ・文化センターは新しくしたほうが良いと思う。小さすぎるし、来るアーティストに限られる。あの立地なら他の地域からも客を呼べるはず。新幹線がせつかく止まるのに、宝の持ち腐れ。市役所より先に建て替えるべきだった。
- ・市で大きな収益を確保する。新幹線があるので旅先にしてもらおう工夫をする。（外から財源を確保する）いちごホテルとか市民プールをつくるとか。イチゴ好きはかなりいると思う。
- ・自治会の施設は一部の利用者だけが頻繁に利用しているのを考えると、そちらを先に統廃合などで見直したほうが良いと思う。

など

■本アンケート調査に対する意見等

- ・これは公民館の統廃合をしたいための調査ですか？
- ・このアンケートは望む答えがあるものです。サービス提供者の人達のためのアンケートです。
- ・アンケートをとっても、どうせ最初から統廃合の方向で進めているのだろう。うんざりだ。（いつものこと）もっと周りのこと（老人）を考えてくれ。いずれはあなたたちも不便になるのだから。
- ・このアンケートの意見が活かされるのはいつのことやら？何年か前の小山西口開発に関するアンケートは20年経っても何も変わらず。
- ・公民館の年間維持費がわかるような資料があると、このアンケートの回答がしやすかったかもしれない。
- ・アンケートが入っていた封筒の「担当課」部分が空欄だったので、開封するまで何の書類が届いたのかわからず、不親切だと感じた。「〇〇に関するアンケート在中」と記載したり、せめて担当課を記載してほしい。
- ・お忙しいとは存じますが、コピペした箇所は特に構成時注意した後印刷発注をお願いしたい。細かいようですが、一事が万事のたとえあり、厳しい小言といいますが皆様の業務に期待するからこそご了承ください。
- ・このようなアンケートはネットでやるべき、書面のやり取りは無駄（節税したほうが良い）。
- ・アンケートは印刷物でなくてよいと思う。印刷物が高いのを知っているため、もったいないと思う。
- ・当該アンケート用紙の紙質が良すぎる。
- ・アンケートの紙も無駄。サービスの提供よりも税金を安くしてくれたほうが助かります。
- ・このアンケートを作成するのにどのぐらいの費用がかかっていますか？人件費や紙のお金、送料考えてください。それならばその分の費用を市民税減税や商品券配布に使ってください。小山市はそういうものがなさすぎる。将来的に人口が減るのではないかと不安になる。

など

■その他の意見等

- ・調査対象の公民館（①～⑫）以外の自治会単位の公民館の維持管理費にも今まで以上の補助がほしい。
- ・公民館に限らず、公的な連絡や団体など正しい日本語をお願いします。略したり、わかっているだろうの外国語の使用はやめてほしい。
- ・確定申告は現在市役所会議室で行っているが（21、22、23年）、係員が少なく待ち時間が長すぎて気分が悪くなる。中央公民館で行っていたときは係員も多く待ち時間が少ない状況だったため、広い場

所の利用を願う。高齢者には現状ではつらい。

- ・小山市は周囲の市町村に比べ住民税が高い。サービス向上もよいが、偏った一部の利権者のために公費を使用し、住民に負担を求める行政の考え方は、再検討の必要があると考える。
- ・税金を40年以上払っている60代。体調不良により働けない場合もあります。税金を緩和してほしい。
- ・生きていくのに水は必要！水道代は無料にすべき。
- ・以前、窓口で説明してもたった時に対応してくれた人から「めんどくさい」と言われたことがあり、それからは市役所の人を見下す人がいるんだと思うようになった。
- ・絹地区は、交通の便が悪いため人の出入りが悪いが、絹には良いところは多くある（高崎神社、料理の祖神、千年の池、結城袖指導所（繭）、結城袖の反物を着物に）。絹地区へ多くの人が足を運べる様に町お越しをしてください。
- ・若い人たちの中には、世間体を気にして自治会に加入してはいるものの積極的に祭事に参加しようと思ったこともなく、班長だから仕方なく参加している人たちが大勢いる。
- ・地域の人達と交流する暇もなく、興味もない。
- ・年間の自治会費が地域によって高い（特に乙女地区）。
- ・今回のアンケートの対象だった公民館や施設が、そもそも身近な存在ではなく、内容もピンと来ないものばかりで、あまりお役に立てる解答ができませんでした。申し訳ありません。これを機にもう少し興味を持ってみようかと思う。

など